令和６年度

人権と暮らしについての意識調査

集　計　表

東　　御　　市

は　じ　め　に

（作成中）

東御市長　　花岡　利夫

― 目　次 ―

調査の概要 ……2
調査結果 ……4
質問1　日本の社会では、女性、子ども、高齢者、障がい者、LGBTQ(LGBT)などの性的マイノリティ、インターネット問題、部落差別などの様々な人権問題がありますが、あなたはこうした人権問題に関心を持っていますか。……4
質問2　あなたは、今の東御市は人権が尊重される社会になっていると思いますか。 …… 5
質問3　あなたは、人権問題について学校の授業で学んだことがありますか。 ……6
質問4　どのような人権問題について学びましたか。……7
質問5　あなたは、人権問題についての学習会や講演会に参加したり、研修を受けたりしたことがありますか。……10
質問6　どのような人権問題の学習会や研修会に参加しましたか。 ……13
質問7　あなたは、これまでに自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。 ……16
質問8　その人権侵害はどのようなものでしたか。 ……17
質問9　そのときどのような対応をしましたか。 ……19
質問10　現在の日本は、人権が尊重される社会だと思いますか。 ……20
質問11　あなたは、人権にかかわる次の法律や条例を知っていますか。 ……21
質問12　あなたは、今の日本には女性に対する差別・偏見があると思いますか。 ……25
質問13　どのような差別の実態があると思いますか。 ……26
質問14　あなたは、今の日本では子どもの人権が守られていると思いますか。 ……27
質問15　現在、どのような面で子どもの人権が守られていないと思いますか。 ……28
質問16　あなたは、今の日本には高齢者に対する差別・偏見があると思いますか。 ……29
質問17　現在、どのような面で差別の実態や意識があると思いますか。 ……30
質問18　あなたは、今の日本には障がいのある人に対する差別や偏見があると思いますか。 ……31
質問19　現在、どのような面に差別の実態や意識があると思いますか。 ……32
質問20　あなたは、日本に在住している外国の人やルーツを持つ人に対する差別や偏見があると思いますか。 …33
質問21　現在、どのような面で差別や偏見があると思いますか。 ……34
質問22　あなたは、「LGBTQ」または「性的マイノリティ(性的少数者)」という言葉について知っていますか。 ……35
質問23　あなたはLGBTQに関する次の言葉について聞いたことがありますか。 ……36
質問24　あなたは、LGBTQについてどのような考えやイメージをお持ちですか。 ……37
質問25　今の日本には、LGBTQに関する人権問題があると思いますか。 ……38
質問26　どのような人権問題があると思いますか。 ……39
質問27　あなたが、身近な人からLGBTQであると打ち明けられたとき、あなたはどうしますか。 ……40
質問28　あなたが、最近LGBTQに関しての情報で見聞きしたものはどれですか。 ……41
質問29　あなたは、インターネットやSNSによる人権侵害に関し、どのような問題が起きていると思いますか。……42
質問30　あなたは、今の日本のマスコミやインターネットの情報で、次のように思ったことはありますか。 ……43
質問31　東御市では、令和5年10月に「東御市犯罪被害者支援条例」を制定しましたが、ご存知ですか。 ……44
質問32　犯罪被害者への支援として、今後、どのような取り組みの充実が必要だと思いますか。 ……45
質問33　あなたは、部落差別を知っていますか。 ……46
質問34　あなたが部落差別を初めて知ったきっかけは何ですか。 ……47
質問35　あなたは、部落差別にかかわる次のことを知ってあすかか。 ……49
質問36　あなたは、部落差別についてどのように考えてあすか。 ……51
質問37　どのような面に部落差別の実態や意識があると思いますか。 ……52
質問38　あなたの結婚相手が被差別地区(同和地区)出身と分かった時、あなたはどうされますか。 ……53
質問39　あなたに次のような出来事が起きたとしたら、あなたはどう考えますか。 ……54
質問40　あなたは、部落差別を解決するにはどのようにしたら良いと思いますか。 ……56
質問41　東御市が、今後も差別のない人権尊重の社会をつくっていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。……57
質問42　人権が尊重され、差別や偏見のない明るい東御市をつくるために、あなたのご意見やご要望等がありましたらご記入ください。‥59

― 調　査　の　概　要 ―

1　調査の目的

東御市では、差別のない真に人権が尊重されるまちづくりに寄与するため、部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃と人権の擁護を図るための取り組みを推進し、一層の人権意識の普及・高揚に務めています。

この調査は、人権問題に関する市民の意識や実態を把握し、東御市のこれからの人権施策・人権教育を推進するための資料とする目的のために実施した。

2　調査の対象者

市内在住の２０歳以上の市民から、住民基本台帳を基に男女別、年代別に均等の割合で無作為に抽出

3　調査の実施期間

令和６年８月２０日～令和６年９月２４日

4　調査の方法

郵送で配布し、回答用紙郵送またはＷＥＢでの回答

5　調査項目

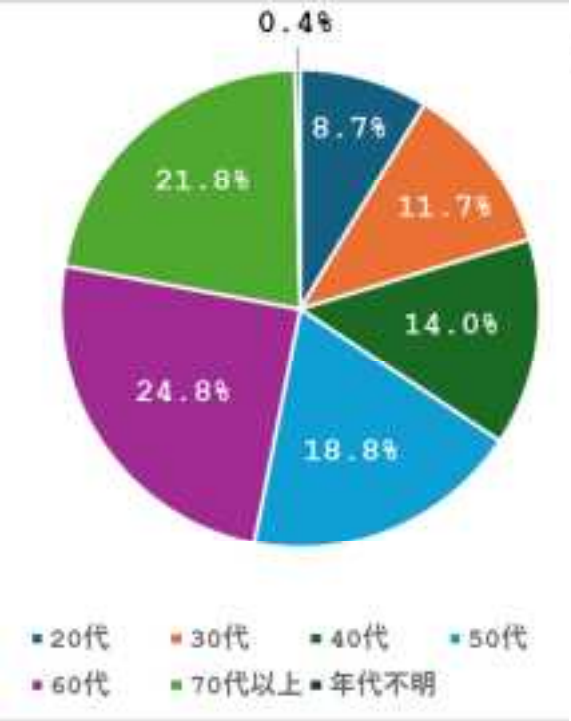
（１）回答者の属性（性別、年齢）
（２）一般意識及び経験（自身への人権侵害、現在の社会、人権に関する学習や研修の有無など）
（３）個別の人権課題に関する意識（身近な人権問題、個別の人権課題の問題について）
（４）解決のための方策（人権問題の解決方法についてなど）

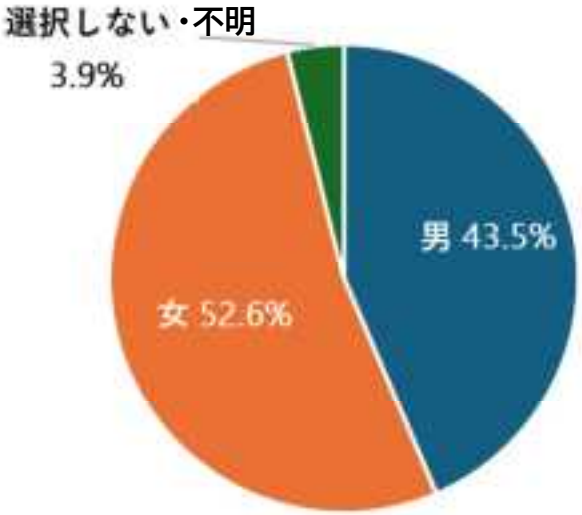
6　調査結果の集計・表示方法及び数値等の取り扱い

（１）集計は、百分比（％）は原則、小数点以下第１位までを表記している。表やグラフでは見やすくするために、％を表記していないものを多くした。
（２）複数回答の質問では、百分比（％）の合計が 100％を超えるものもある。
（３）質問においては、回答項目の「その他」に記載欄を設けているものがある。そこに記載していただいたものについては表の外に【その他】として載せた。前回は数人だけを吹き出しの形で記載したが、今回は全ての方を載せた。
（４）今回は、質問項目に複数の選択肢があったり、複数の観点によるグラフの表示をしたりしたため、数ページになっているものが多くある。
（５）集計は、「公益財団法人　身体教育医学研究所」に依頼し、人権同和教育指導委員がまとめたものと照らし合わせデータ化した。
（６）考察は、市が委託している人権同和教育指導委員の中から選出した方に依頼し、人権政策課職員で確認した。
（７）質問 42 では、寄せられたご意見やご要望を前回は肯定的・否定的に分類したが、今回は一つのご意見の中に分けづらいものも多いこと、またすべて貴重なご意見・ご要望であると捉え、人権課題ごとに性別、年代の分類に留め、すべての方を載せた。

7　回答の結果

2,000 人にお願いした結果、565 人から回答をいただき、回答率は 28.3%となりました。





【年代別】　（人）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
今回	49	66	79	106	140	123	2
前回	64	100	98	125	161	170	4

【性別】　（人）

	男性	女性	選択しない	不明
今回	246	297	20	2
前回	315	383	19	5

【考察】

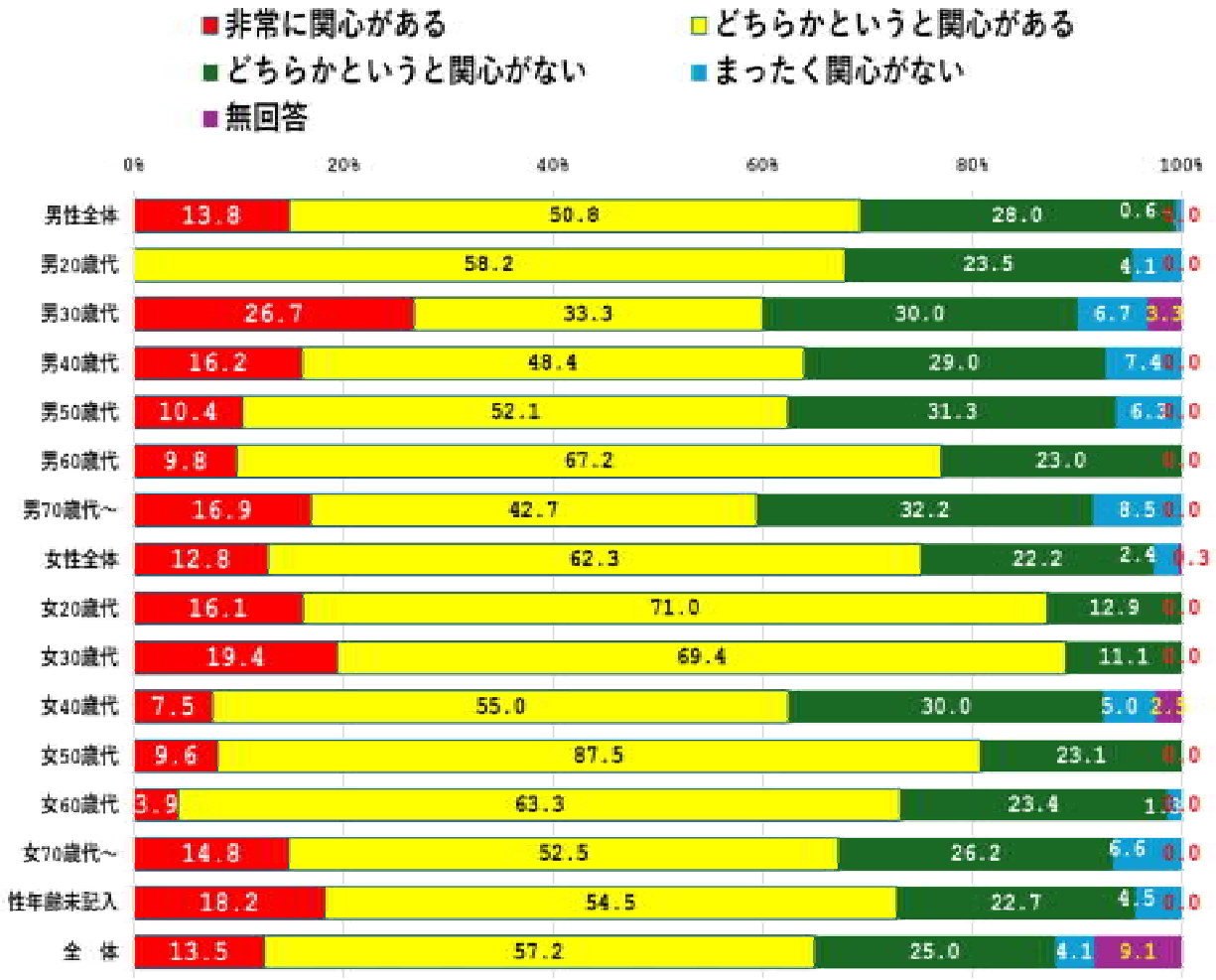
7　考察に出てくる言葉

・長野県の「人権に関する県民意識調査」（令和２年実施）・・・・・・・・・「県」と表す
・東御市の「人権と暮らしについての意識調査」（令和元年度実施）・・・・「前回」と表す
・東御市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「本市」と表す
・今回の調査で新しく加わった項目・・・・・・・・・・・・・・・「新しい選択肢」と表す
・障害者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・法律名以外は「障がい者」と表す
・「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」・・・・「障害者差別解消法」と表す
・「本邦外出者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」・・・
・・・「ヘイトスピーチ解消法」と表す
・「部落差別の解消の推進に関する法律」・・・・・・・・・「部落差別解消推進法」と表す

― 調 査 結 果 ―

質問1　日本の社会では、女性、子ども、高齢者、障がい者、LGBTQ(LGBT)などの性的マイノリティ、インターネット問題、部落差別などの様々な人権問題がありますが、あなたはこうした人権問題に関心を持っていますか。　（回答者数 563 人・無回答者 2 人）

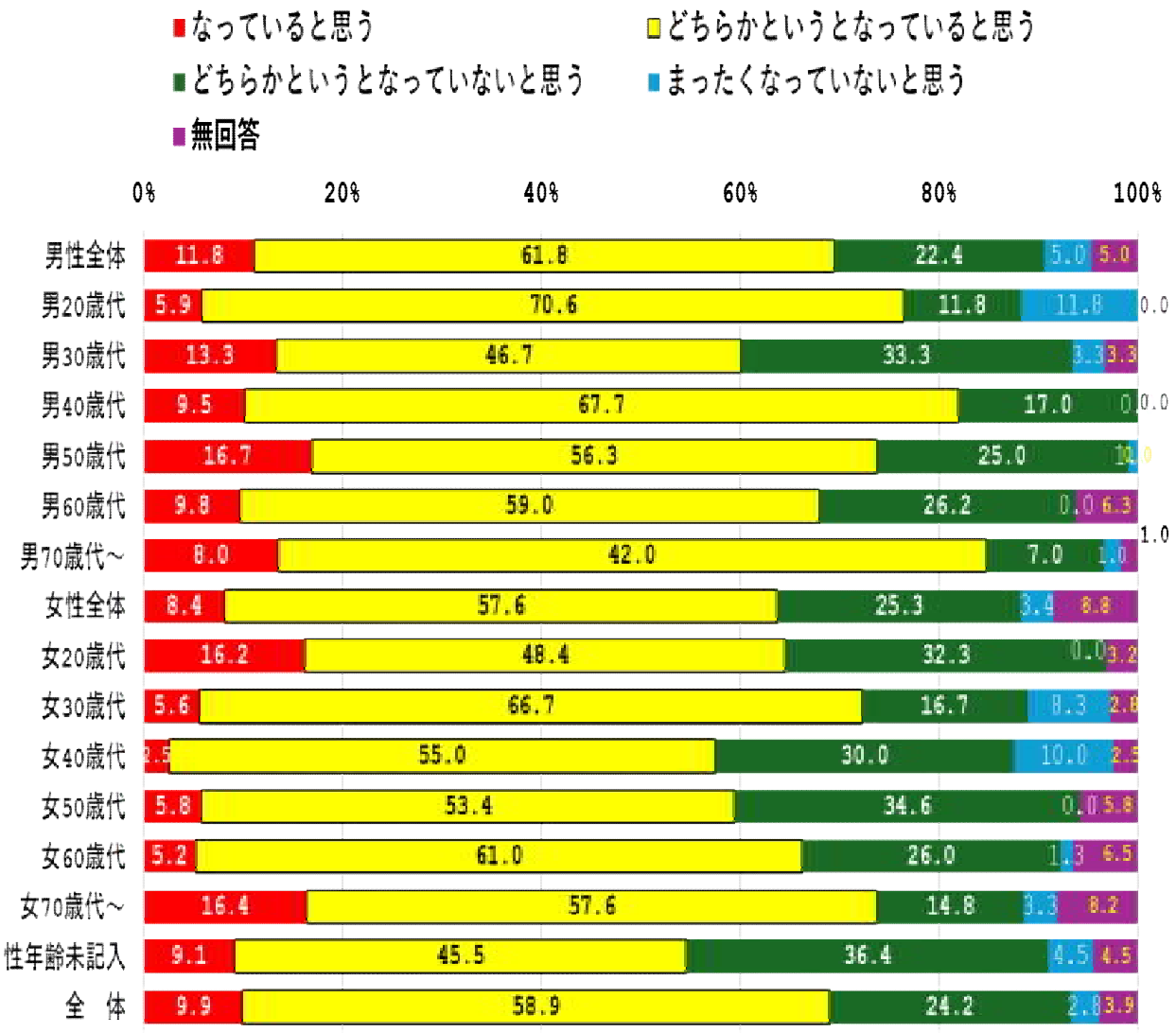
	非常に関心がある	どちらかというと関心がある	どちらかというと関心がない	まったく関心がない
全体	76	323	141	23
男性	34	126	70	7
女性	38	185	66	1
未選択	4	12	5	1



【考察】

質問2　あなたは、今の東御市は人権が尊重される社会になっていると思いますか。
（回答者数 543 人：無回答者数 22 人）

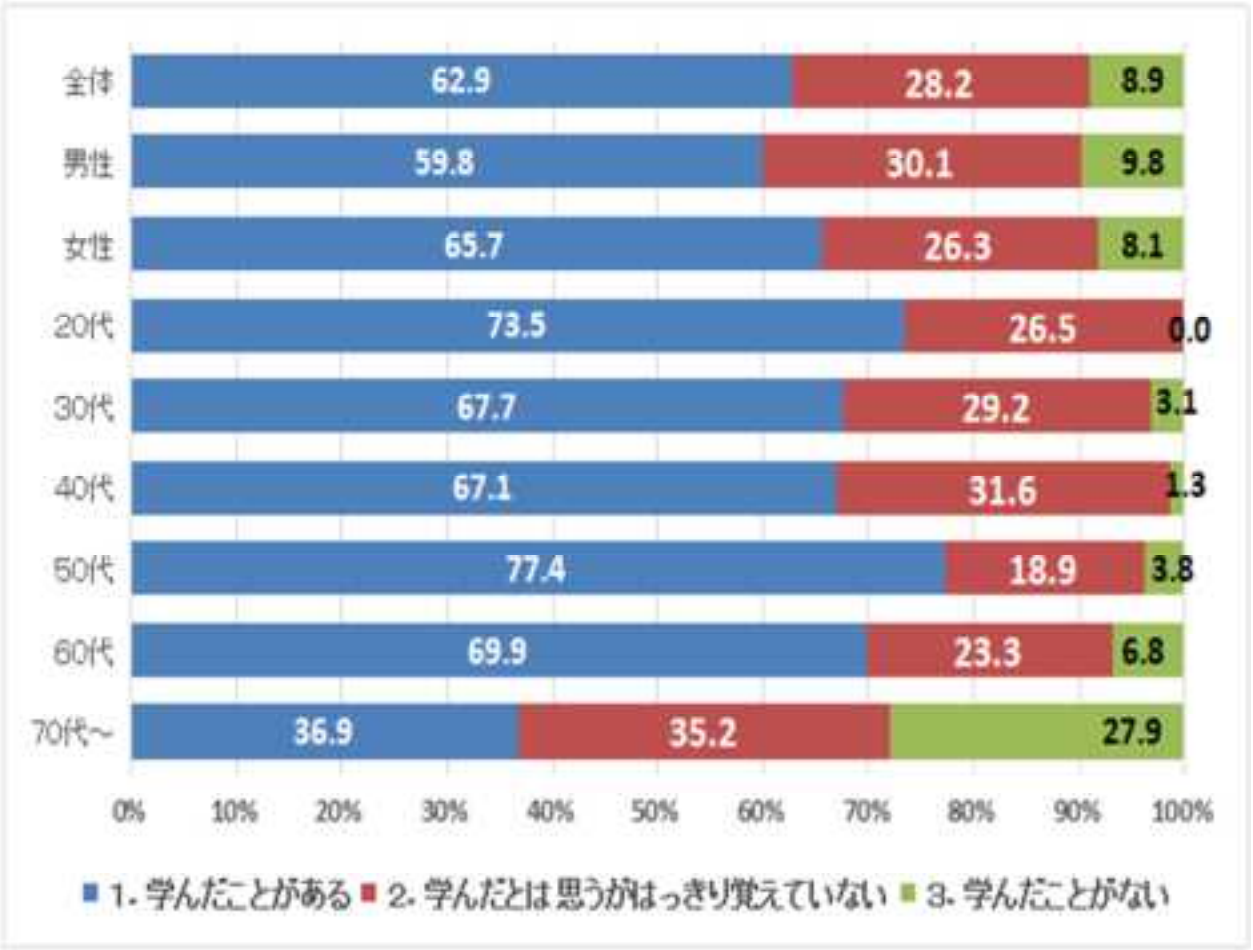
	なっていると思う	どちらかというとなっていると思う	どちらかというとなっていないと思う	まったくなっていないと思う
全体	56	333	138	16
男性	29	152	55	5
女性	25	171	75	10
未選択	2	10	8	1



【考察】

質問3　あなたは、人権問題について学校の授業で学んだことがありますか。あてはまるもの一つに○をしてください。　（回答者数563人：無回答者 2 人）

	学んだことがある	学んだと思うがはっきり覚えていない	学んだことがない
全体	355	158	50
男性	147	73	24
女性	195	78	24
未選択	13	7	2

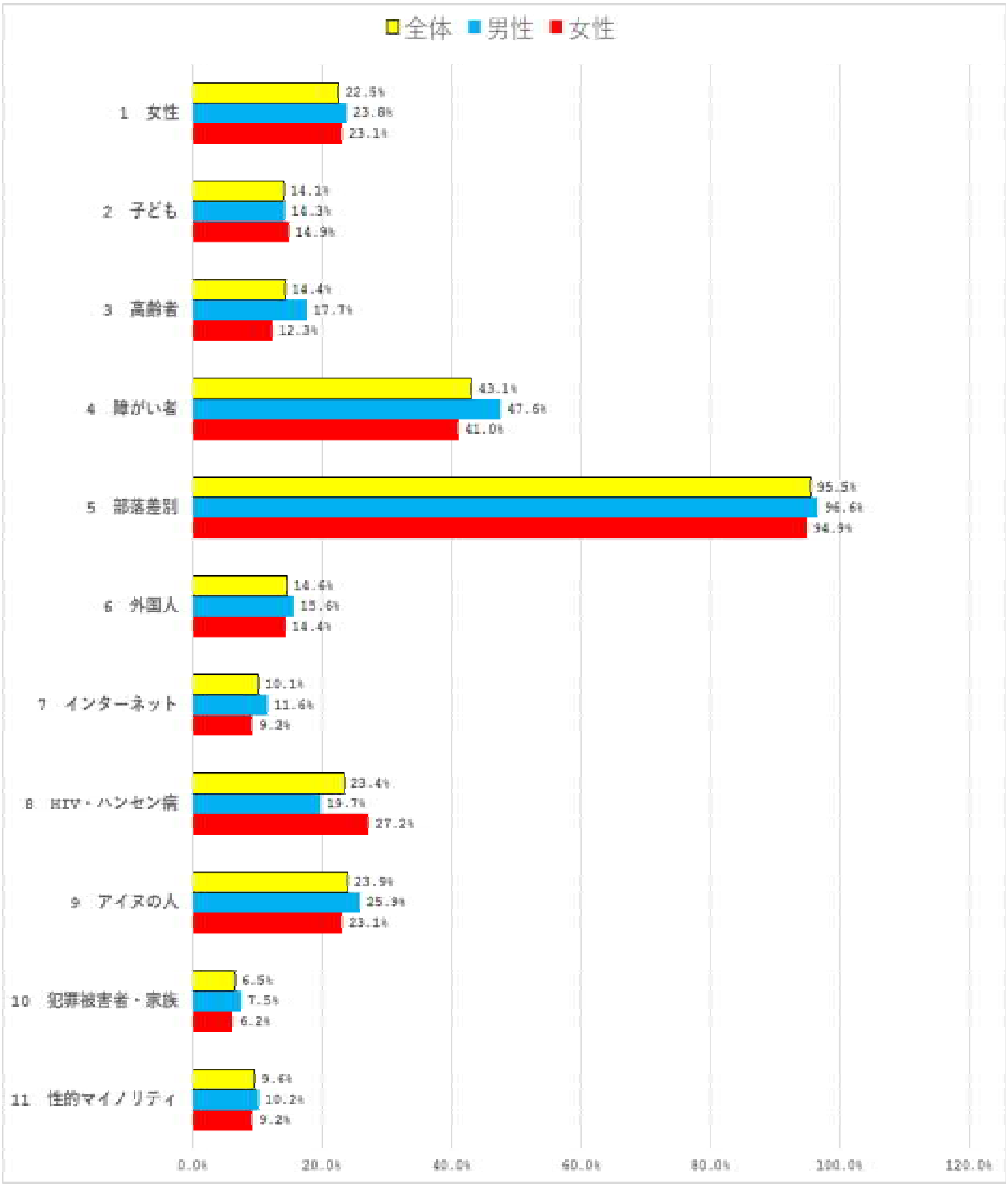


【考察】

質問4　質問3で、「1　学んだことがある」に○をされた方にお聞きします。どのような人権問題について学びましたか。あてはまるものすべてに○をしてください。（複数選択可）

（回答者数 355 人：無回答者数 3 人）

年代	回答数	①女性	②子ども	③高齢者	④障がい者	⑤部落差別	⑥外国人	⑦インターネット	⑧HIV・ハンセン病	⑨アイヌの人	⑩犯罪被害者と家族	⑪性的マイノリティ
全体	352	275	305	304	202	339	303	319	272	270	332	321



①女性
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
47.2%
31.0%
23.1%
23.2%
16.3%
9.1%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

②子ども
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
44.4%
28.6%
15.4%
8.5%
7.6%
0.0%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

③高齢者
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
30.6%
23.8%
11.5%
13.4%
12.0%
4.5%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

④障がい者
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
80.6%
66.7%
40.4%
36.6%
32.8%
34.1%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

⑤部落差別
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
95.7%
97.8%
94.2%
96.3%
100.0%
97.7%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

⑥外国人
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
30.6%
26.2%
13.5%
14.6%
7.6%
9.1%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

⑦インターネット
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
35.3%
14.3%
13.5%
7.3%
5.4%
0.0%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

⑧HIV・ハンセン病
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
66.7%
45.2%
19.2%
12.2%
17.4%
9.1%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

⑭アイヌの人
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
55.6%
38.1%
25.0%
9.8%
19.6%
22.7%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

⑮犯罪被害者と家族
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
27.8%
7.1%
11.3%
3.7%
1.1%
0.0%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

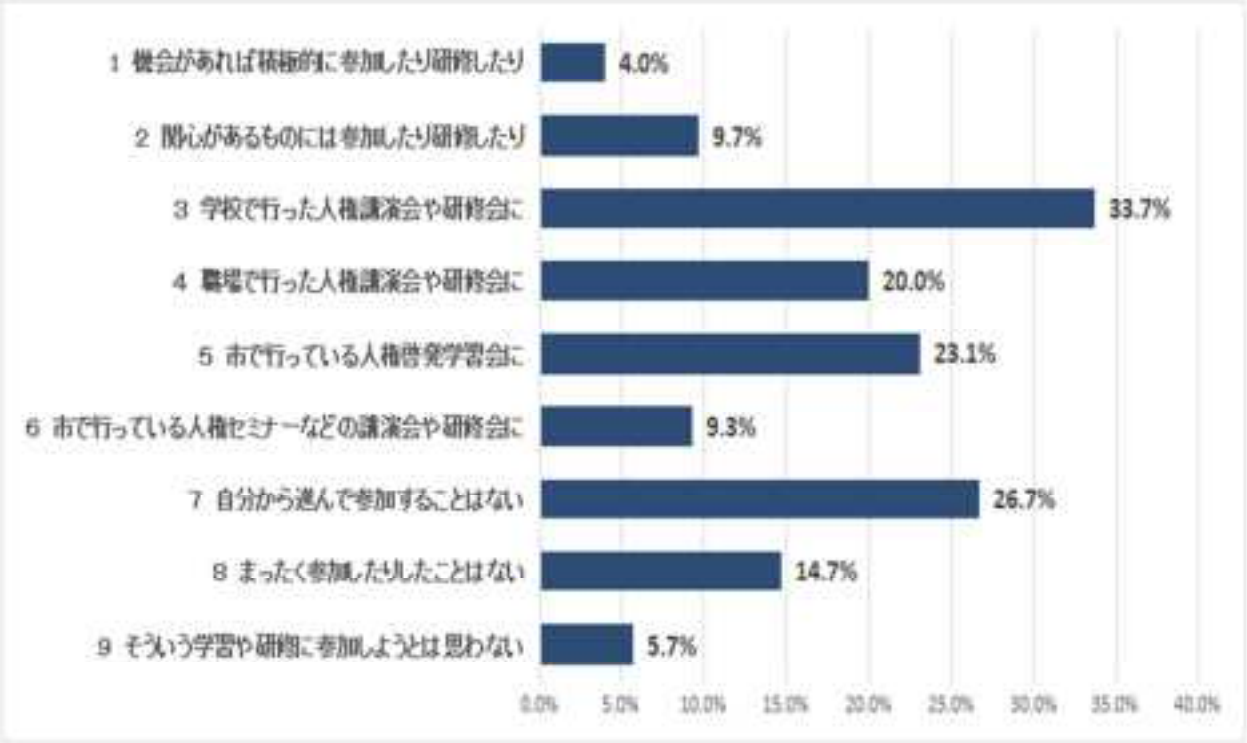
⑯性的マイノリティ
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
36.1%
16.7%
7.7%
7.3%
3.3%
2.3%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

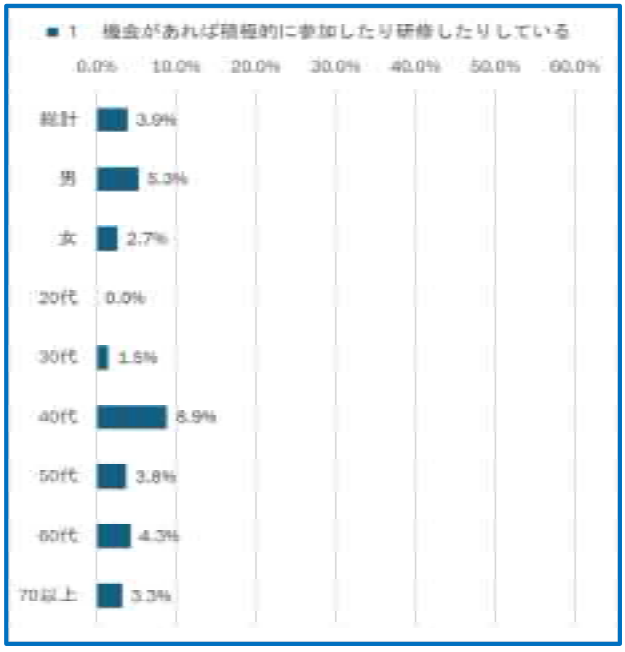
【考察】

質問5　あなたは、人権問題についての学習会や講演会に参加したり、研修を受けたりしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。（複数選択可）

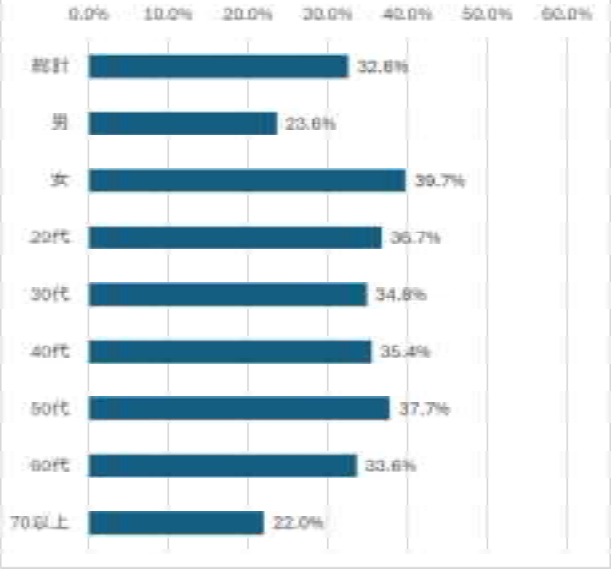
（回答者数565人：回答数件802件）

1　機会があれば積極的に参加したり研修したりしている	2　関心があるものには参加したり研修したりしている	3　学校で行った人権講演会（学習会）や研修会に参加したことがある	4　職場で行った人権講演会（学習会）や研修会にしたことがある	5　市で行っている人権啓発学習会（分館ごと）に参加したことがある	6　市で行っている人権セミナーなどの講演会や研修会に参加したことがある	7　自分から進んで参加することはない	8　まったく参加したりしたことはない	9　そういう学習や研修に参加しようとは思わない
22	53	184	109	126	51	146	80	31

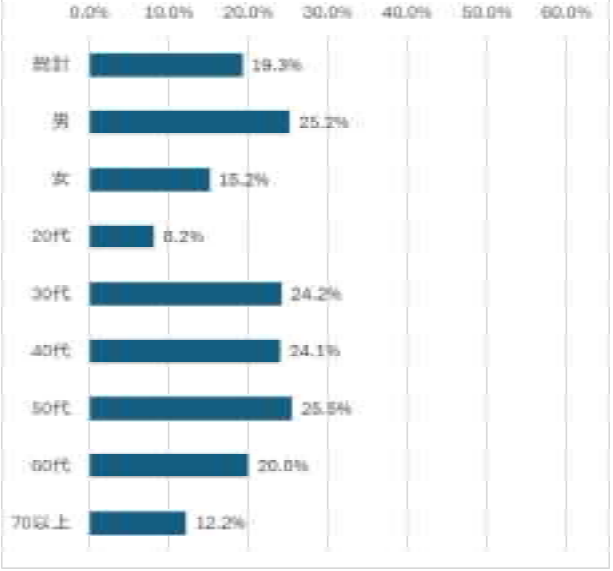




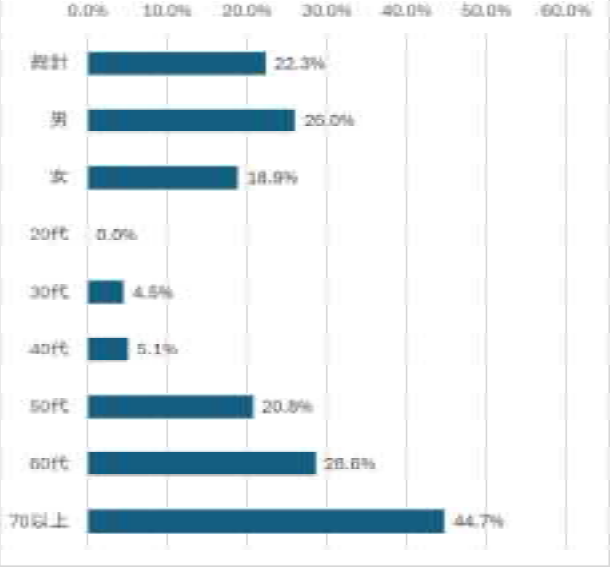
■３　学校で行った人権講演会（学習会）や研修会に参加したことがある



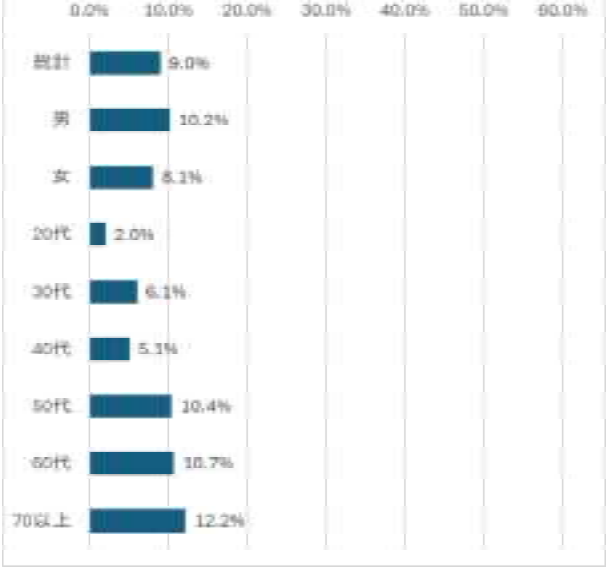
■４　職場で行った人権講演会（学習会）や研修会に参加したことがある



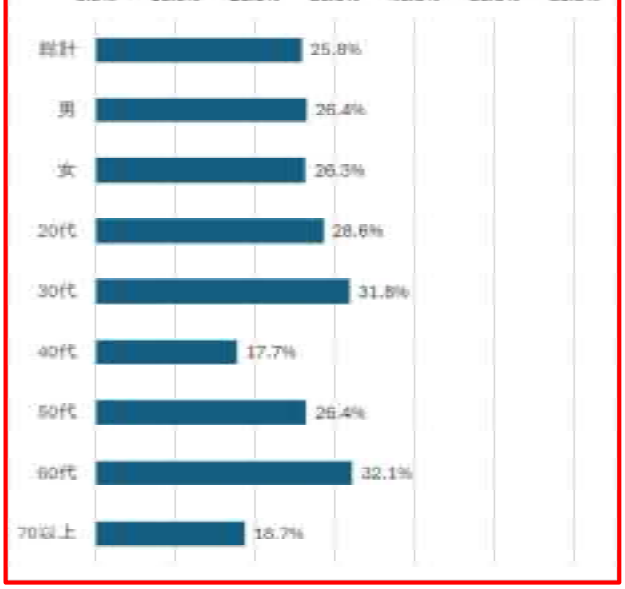
■５　市で行っている人権啓発学習会（分館ごと）に参加したことがある



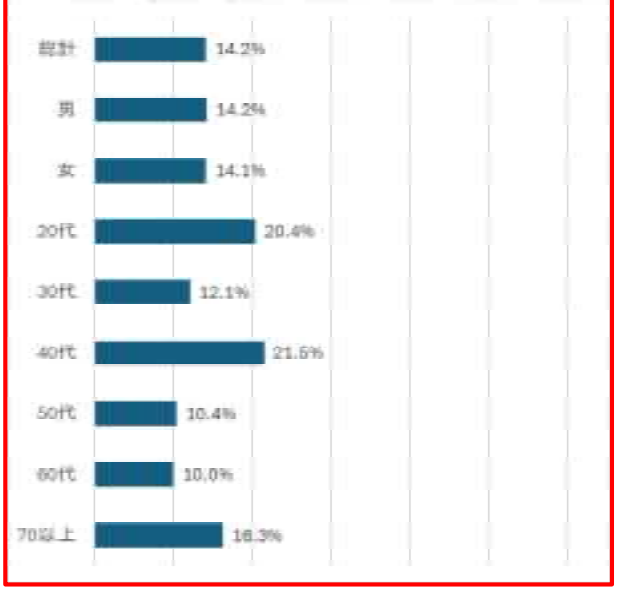
■６　市で行っている人権セミナーなどの講演会や研修会に参加したことがある

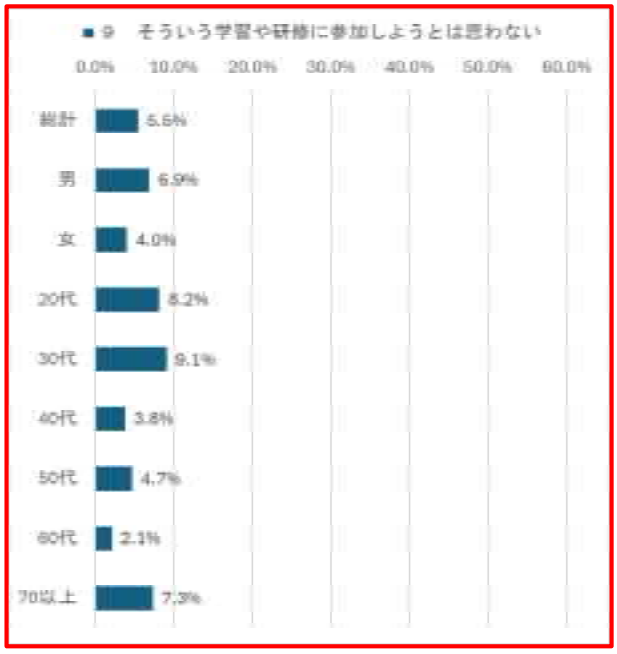


■７　自分から進んで参加することはない



■８　まったく参加したりしたことはない



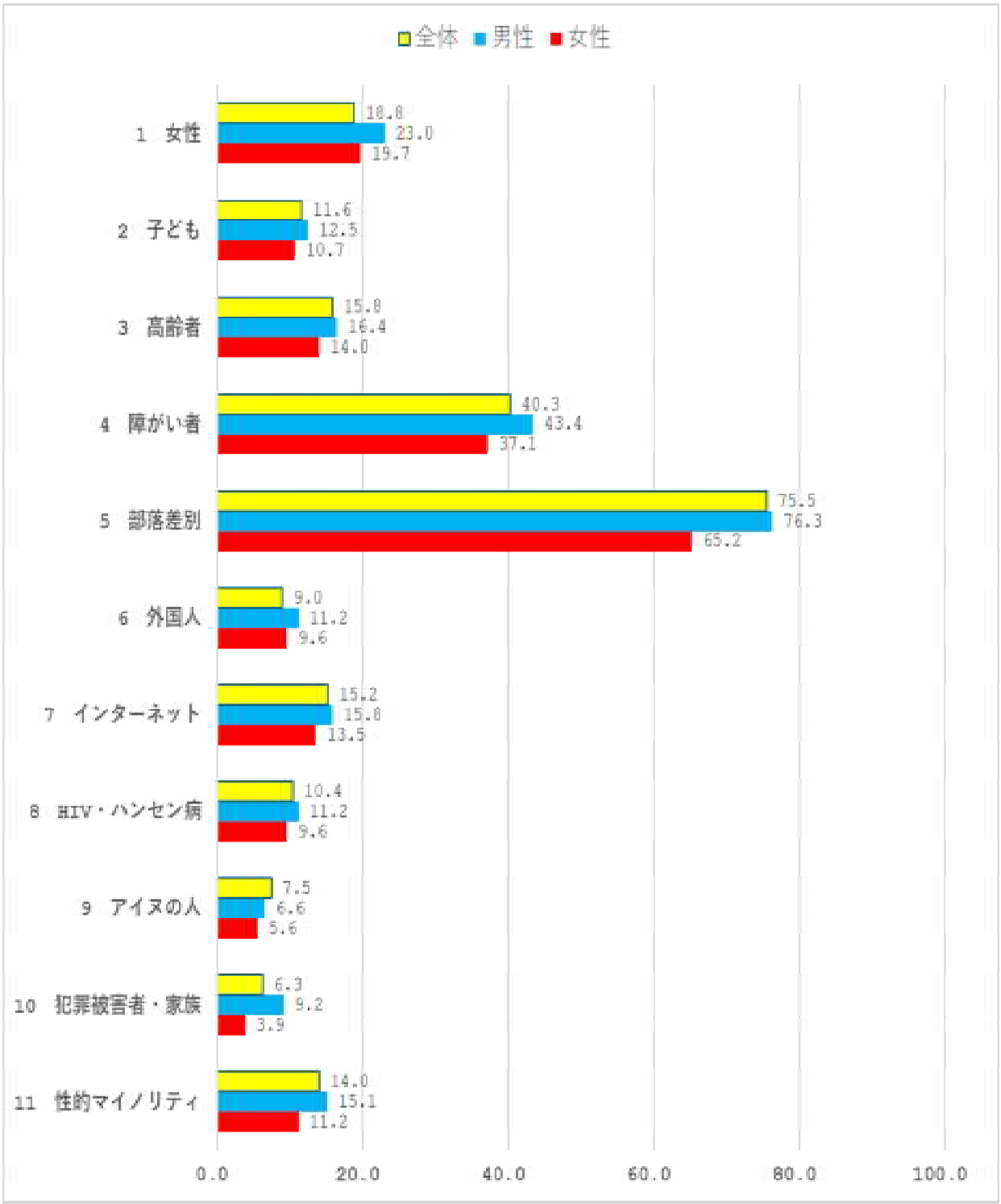

9　そういう学習や研修に参加しようとは思わない
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
総計
5.6%
男
6.9%
女
4.0%
20代
8.2%
30代
9.1%
40代
3.8%
50代
4.7%
60代
2.1%
70以上
7.3%

【考察】

質問6　質問5で、1～6に○をされた方にお聞きします。どのような人権問題の学習会や研修会に参加しましたか。あてはまるものすべてに○をしてください。（複数選択可）

（回答者数 344人：回答件数748人）

年代	回答数	① 女性	② 子ども	③ 高齢者	④ 障がい者	⑤ 部落差別	⑥ 外国人	⑦ インターネット	⑧ HIV・ハンセン病	⑨ アイヌの人	⑩ 犯罪被害者と家族	⑪ 性的マイノリティ
全体	344	63	39	52	135	251	30	51	35	24	21	47



①女性
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
23.8%
22.2%
25.5%
18.5%
18.2%
13.2%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

②子ども
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
14.3%
19.4%
19.1%
9.2%
12.5%
3.9%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

③高齢者
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
14.3%
19.4%
17.0%
16.9%
17.0%
11.8%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

④障がい者
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

⑤部落差別
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
52.4%
55.6%
59.6%
73.8%
81.8%
94.7%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

⑥外国人
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
9.5%
11.1%
6.4%
9.2%
13.6%
3.9%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

⑦インターネット
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
28.6%
13.9%
16.9%
21.5%
11.4%
3.9%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

⑧HIV・ハンセン病
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

⑨アイヌの人
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
23.8%
16.7%
2.1%
3.1%
8.0%
0.0%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

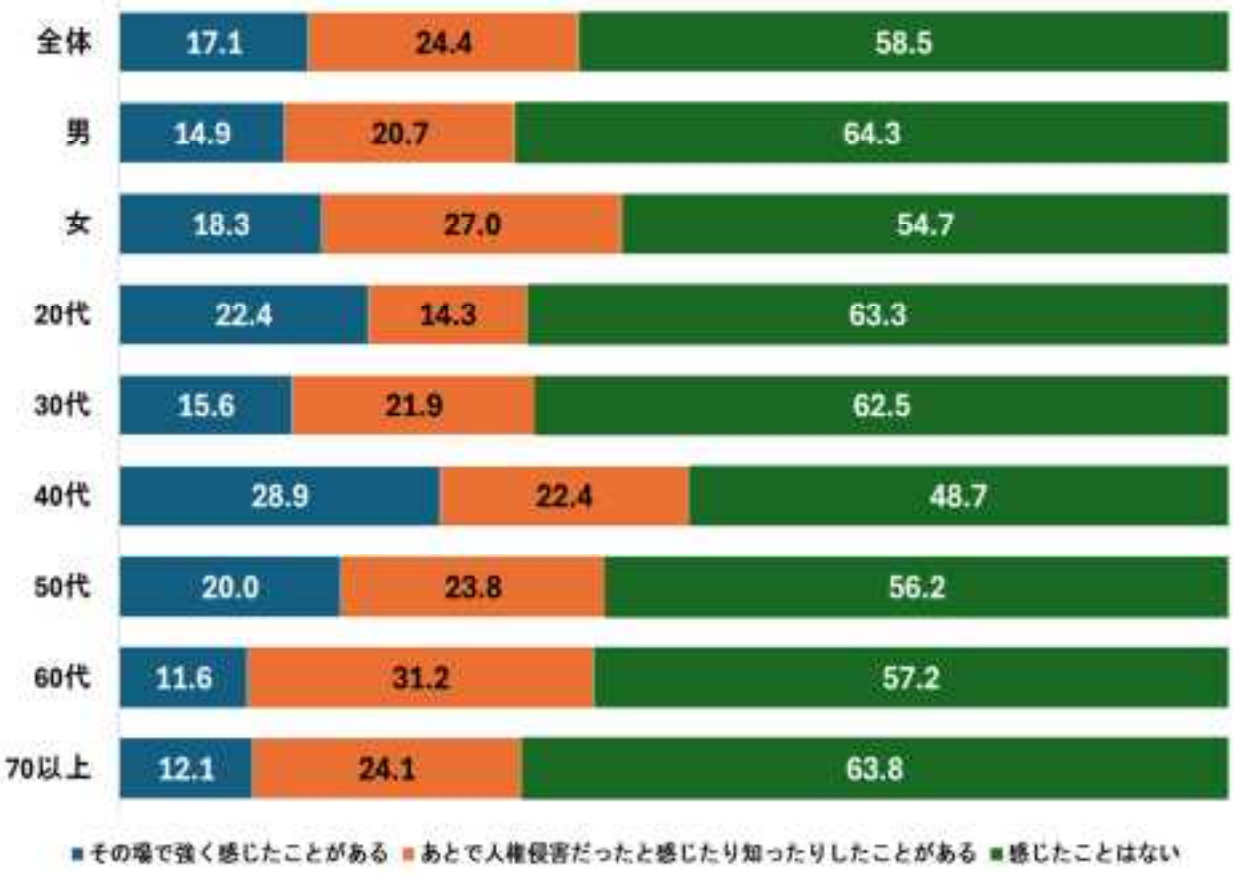
⑩犯罪被害者と家族
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
14.3%
19.4%
19.1%
9.2%
12.5%
3.9%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

⑪性的マイノリティ
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
38.1%
19.4%
27.7%
15.4%
6.8%
3.9%
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上

【考察】

質問7　あなたは、これまでに自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。あてはまるものすべてに〇をしてください。（複数選択可）　（回答者数 550 人：回答数件 585件）

1　その場で強く感じたとがある	2　あとで人権侵害だったと感じたり知ったりしたことがある	3　感じたことはない
94	134	322



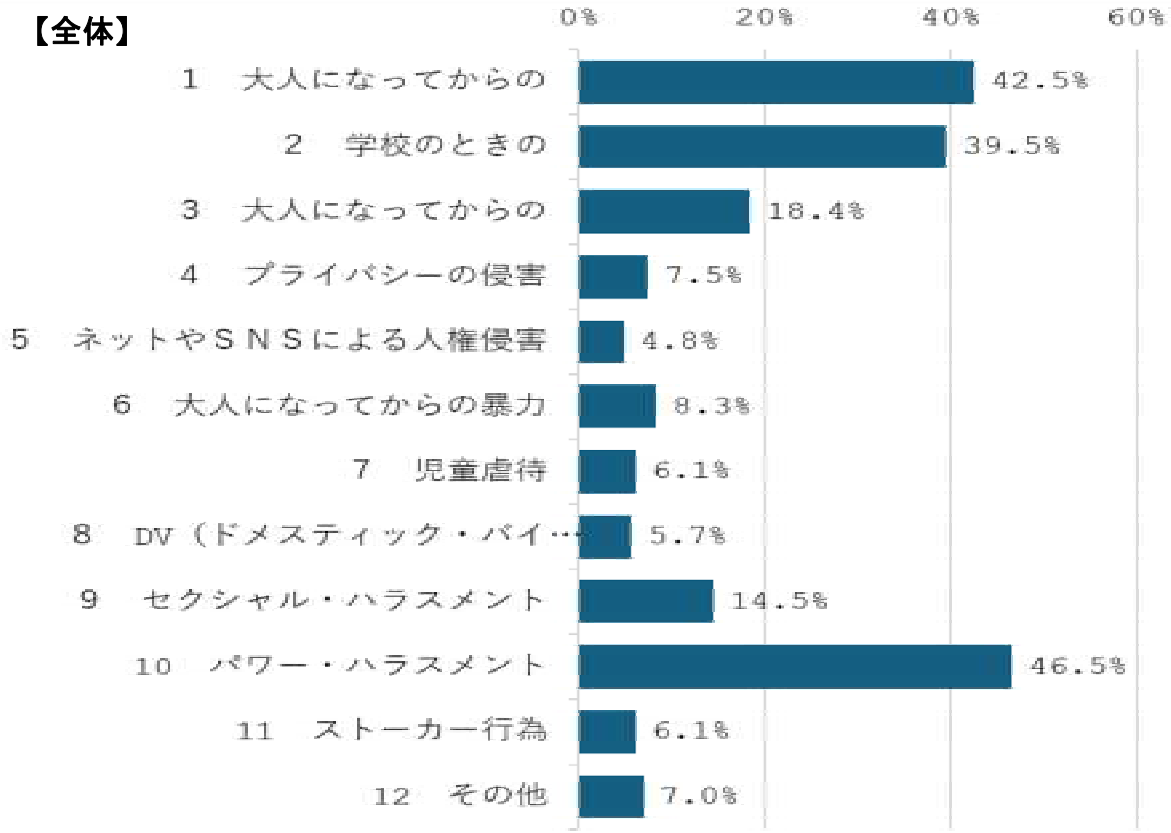
【考察】

質問8　質問7で、「1　その場で強く感じたことがある」か「2　あとで人権侵害だったと感じたり知ったりしたことがある」に○をされた方にお聞きします。その人権侵害はどのようなものでしたか。あてはまるものすべてに○をしてください。（複数選択可）（回答者数228人：回答数件472件）

1　大人になってからの悪口・うわさ・かげ口	2　学校のときのいじめや仲間はずし	3　大人になってからの仲間はずしや無視	4　プライバシーの侵害（インターネットや SNSなどの方法ではなく、じかに個人情報を暴露されるなど）	5　ネットやSNSによる人権侵害（誹謗中傷・差別的書き込み・個人情報公開など）	6　大人になってからの暴力（身近な人以外）・脅迫・強要
97	90	42	17	11	19
7　児童虐待（育児放棄や親の DV を見せることも含む）	8　DV（ドメスティック・バイオレンス：身近な人からの暴力）	9　セクシャル・ハラスメント（性的嫌がらせ）	10　パワー・ハラスメント（地位や立場の弱い立場の人への嫌がらせなど）	11　ストーカー行為（つきまとい・まちぶせ・押しかけ・うろつき・メール送信など）	12　その他
14	13	33	106	14	16

【その他】○幼少期。海外在住期に人種差別（50 代：男性）
○目が悪くなった時、見えないしぐさをされた（70 代：男性）
○部落差別。個人駅に名前で話され、聞いたことがある。今はない（70 代：女性）
○住宅。借家と持ち家（70 代女性）
○会社での“見た目”だけでの評価（40 代：男性）
○海外在住の時、日本人という理由で思い込みの仲間外れ（40 代：不明）
○人事のミーティングで、男は家庭があるから女の方が役を降りろと言われた（60 代：女性）
○マスクの強要（50 代：男性）
○小学生時代の性的行為（20 代：女性）
○家庭内のパワハラ（言葉の圧力、金銭的）夫（父）→妻、子どもへの（70 代：女性）

【全体】



【男女別】

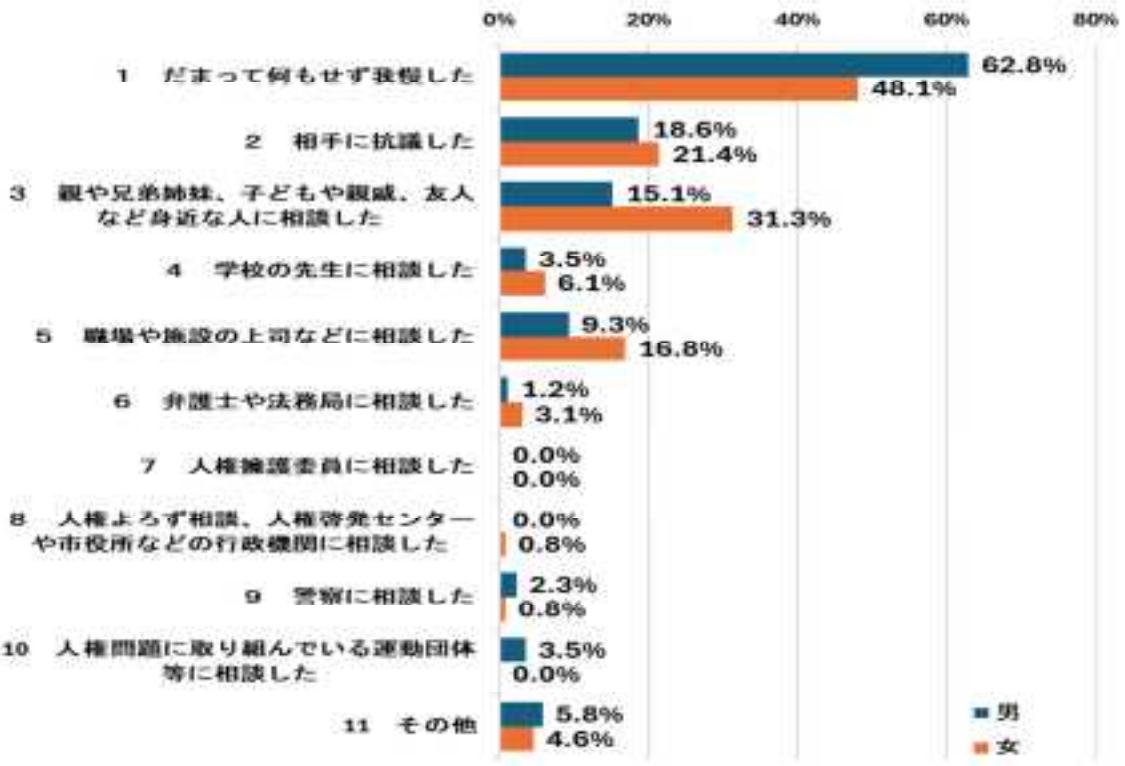
0%
20%
40%
60%
1　大人になってからの
41.9%
42.7%
2　学校のときの
36.0%
42.0%
3　大人になってからの
11.6%
22.9%
4　プライバシーの侵害
7.0%
7.6%
5　ネットやＳＮＳによる人権侵害
2.3%
6.1%
6　大人になってからの暴力
8.1%
8.4%
7　児童虐待
2.3%
9.2%
8　DV（ドメスティック・バイオレン…
7.0%
4.6%
9　セクシャル・ハラスメント
5.8%
19.8%
10　パワー・ハラスメント
52.3%
43.5%
11　ストーカー行為
3.5%
7.6%
12　その他
7.0%
5.3%
男
女

【考察】

質問9　質問8に答えた方にお聞きします。そのときどのような対応をしましたか。あてはまるものすべてに○をしてください。（複数選択可）　（回答者数228人：回答数件299件）

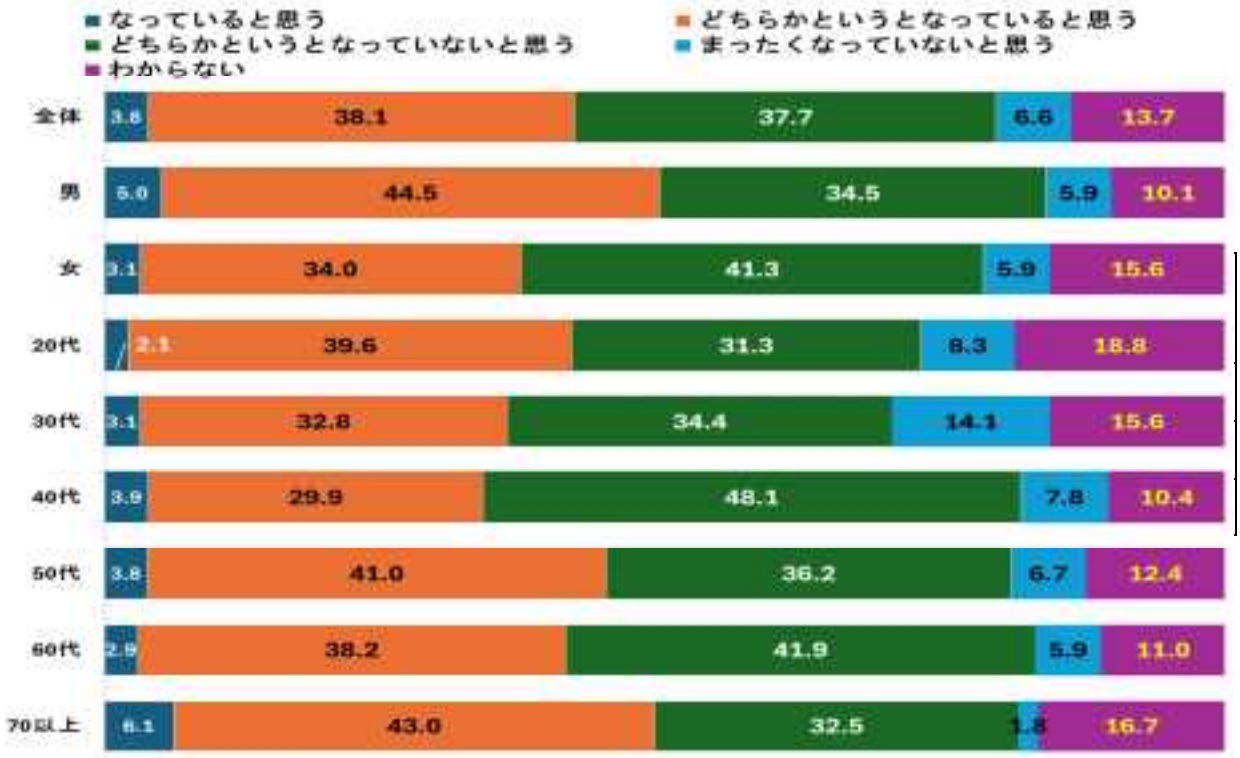
1　だまって何もせず我慢した	2　相手に抗議した	3　親や兄弟姉妹、子どもや親戚、友人など身近な人に相談した	4　学校の先生に相談した	5　職場や施設の上司などに相談した	6　弁護士や法務局に相談した
122	49	60	14	30	5
7　人権擁護委員に相談した	8　人権よろず相談、人権啓発センターや市役所などの行政機関に相談した	9　警察に相談した	10　人権問題に取り組んでいる運動団体等に相談した	11　その他	
0	1	3	3	12	

【その他】○労組に相談した（60 代：男性）　○自分のことではないので聞いていた（70 代：女性）
○会社でのことはハローワークに報告・相談できた（40 代：男性）　○労基署に相談した（60 代：男性）
○周りの大人がおかしいことだと言ってくれた（40 代：未選択）　○市会議員に相談した（30 代：男性）
○大人になって感じたことで、その時は何も思わなかった（60 代：女性）
○相手に無視、はぐらかされごまかしをされた。親族には怖くて言えなかった。傷つくだろうから（50 代：女性）　○同僚に話した。（50 代：未選択）



【考察】

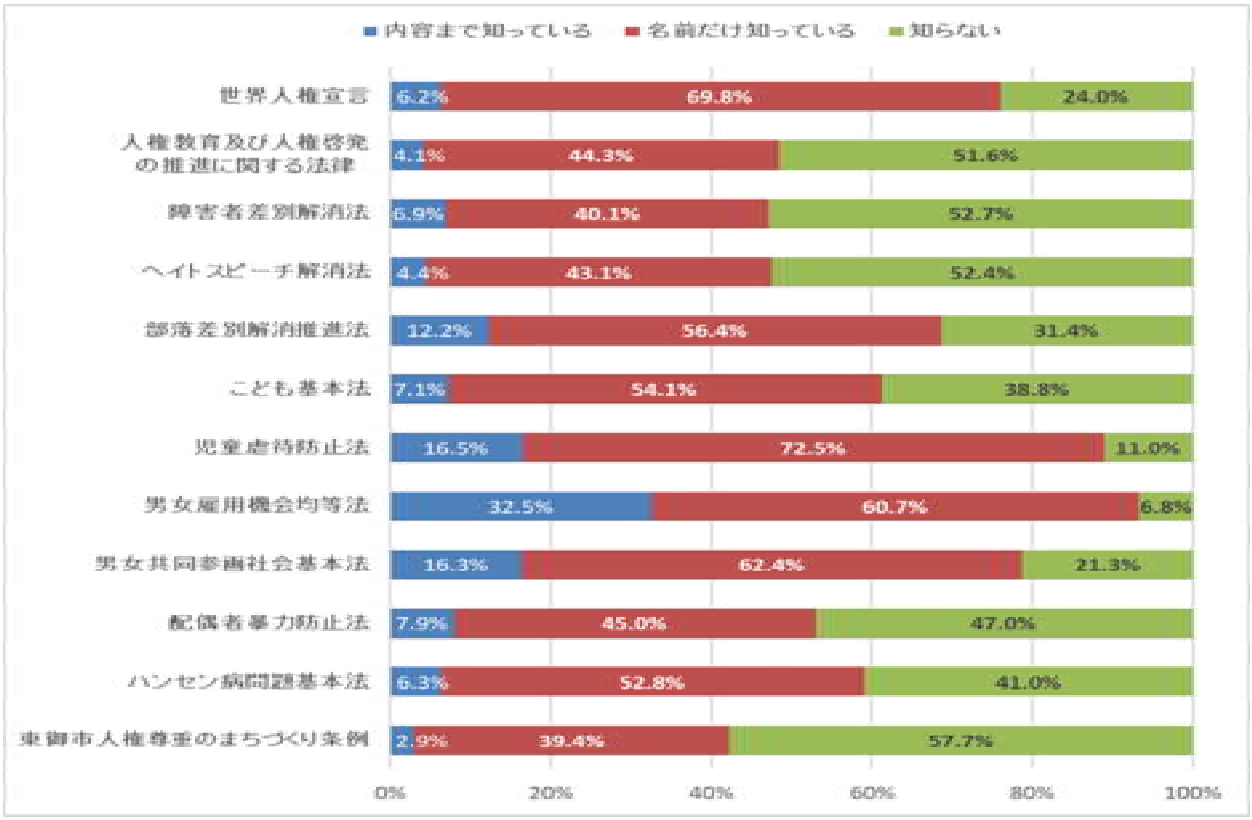
質問 10　現在の日本は、人権が尊重されている社会だと思いますか。あなたのお考えにもっとも近いもの一つに○をしてください。　（回答者数546人）

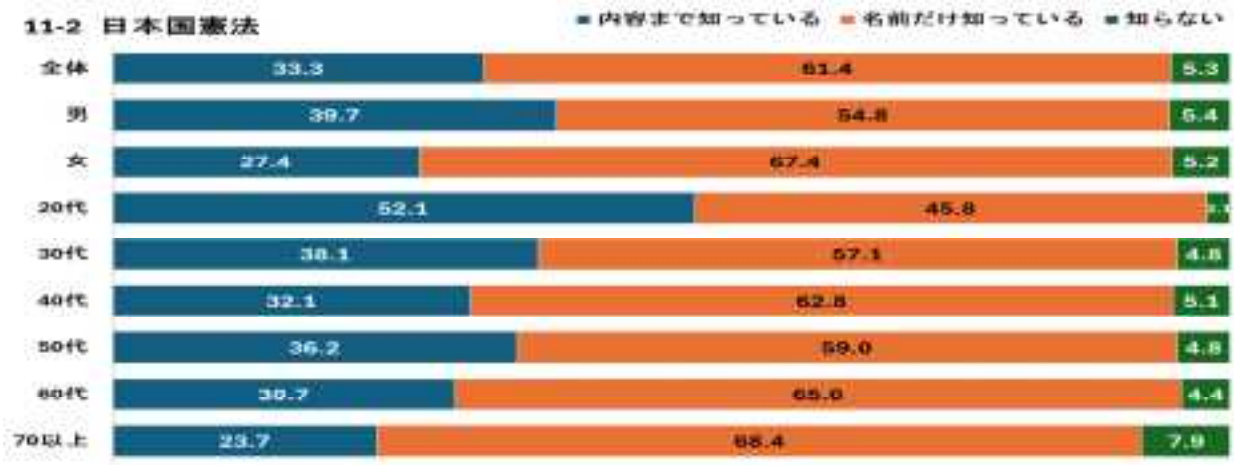


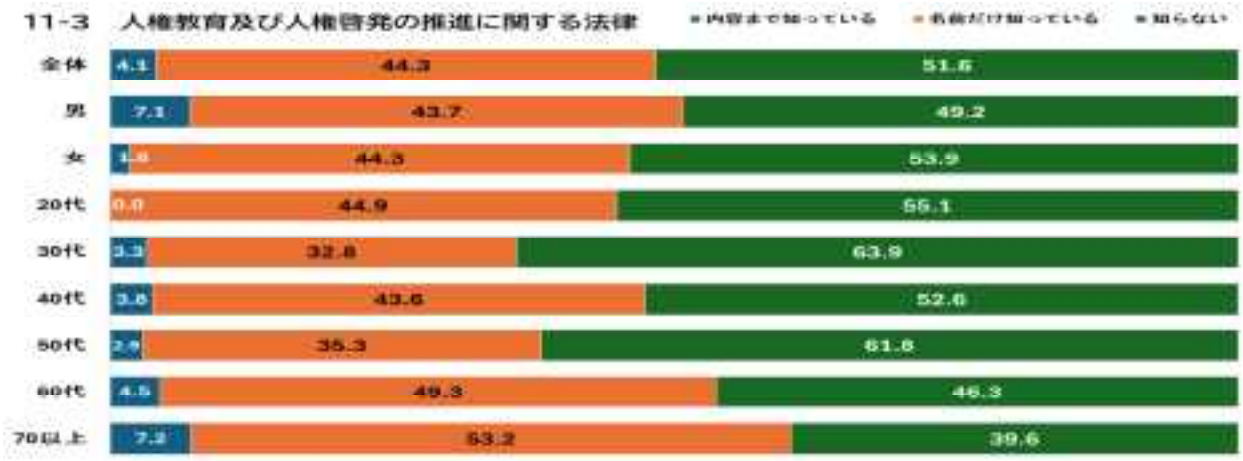
【考察】

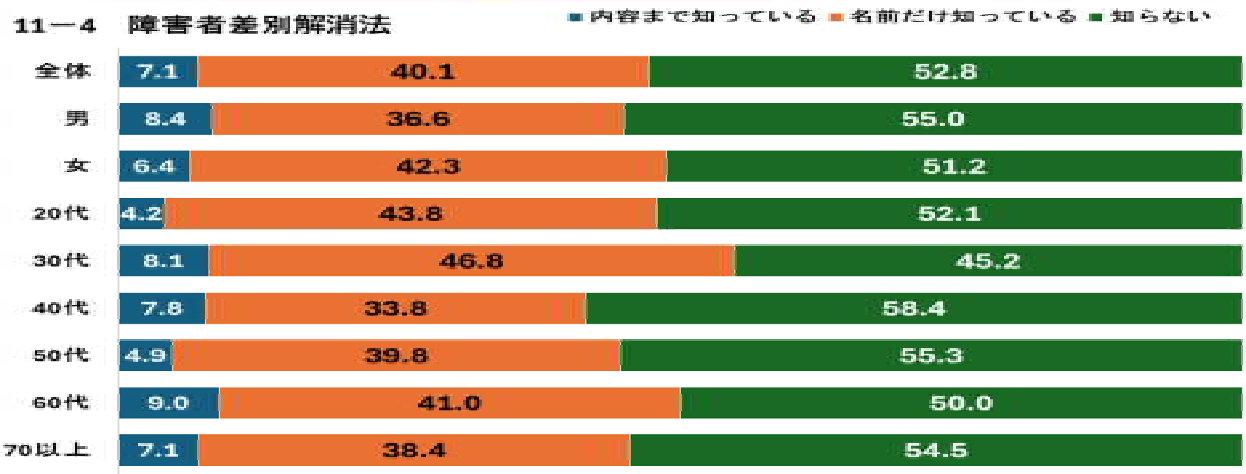
質問11　あなたは、人権にかかわる次の法律や条例を知っていますか。それぞれの法律や条例のあてはまるものに〇をしてください。（全ての法律や条例にお答えください。）

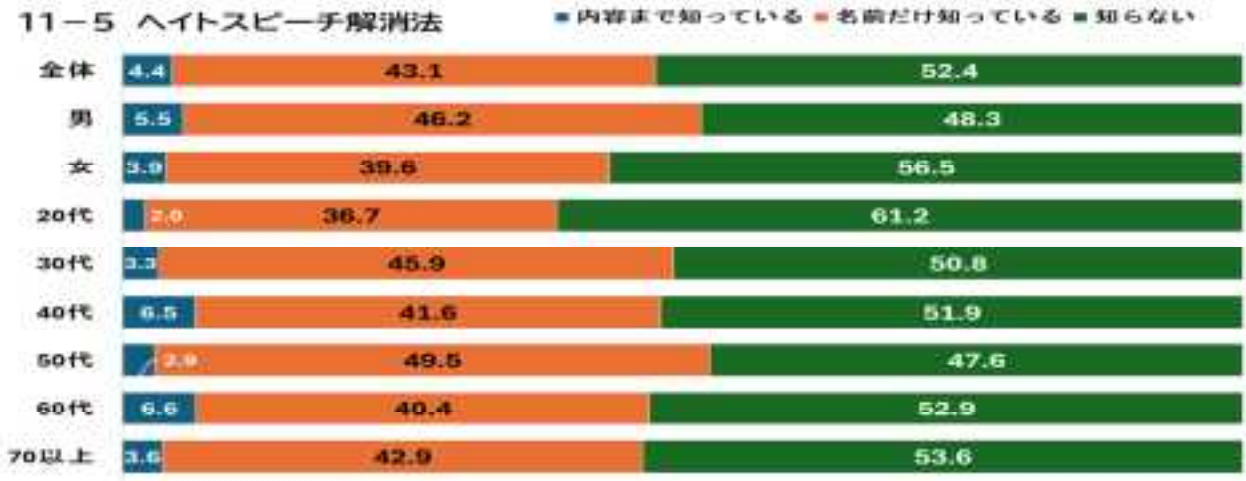
（回答者数533人～548人）

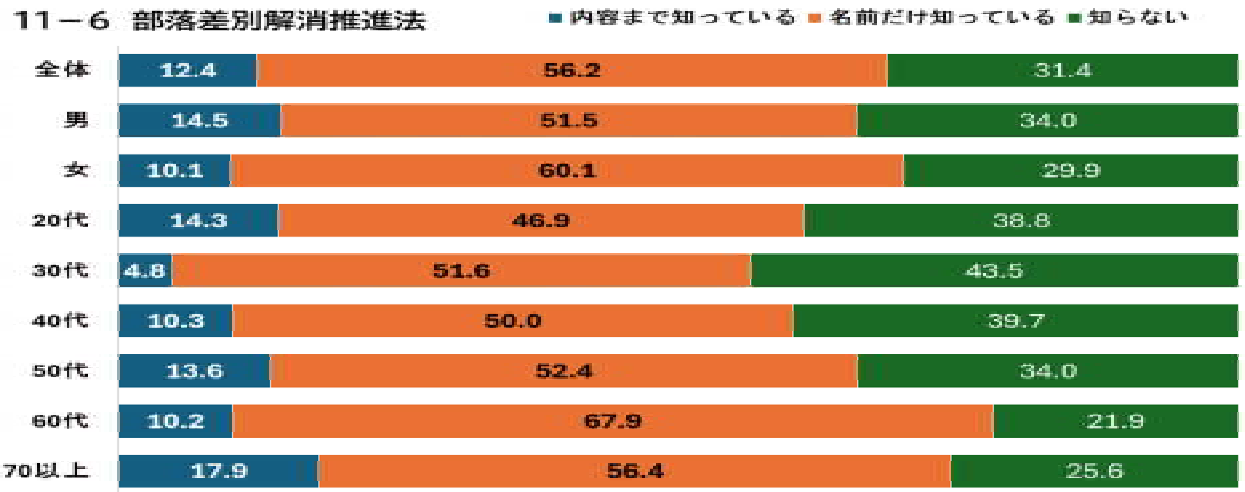




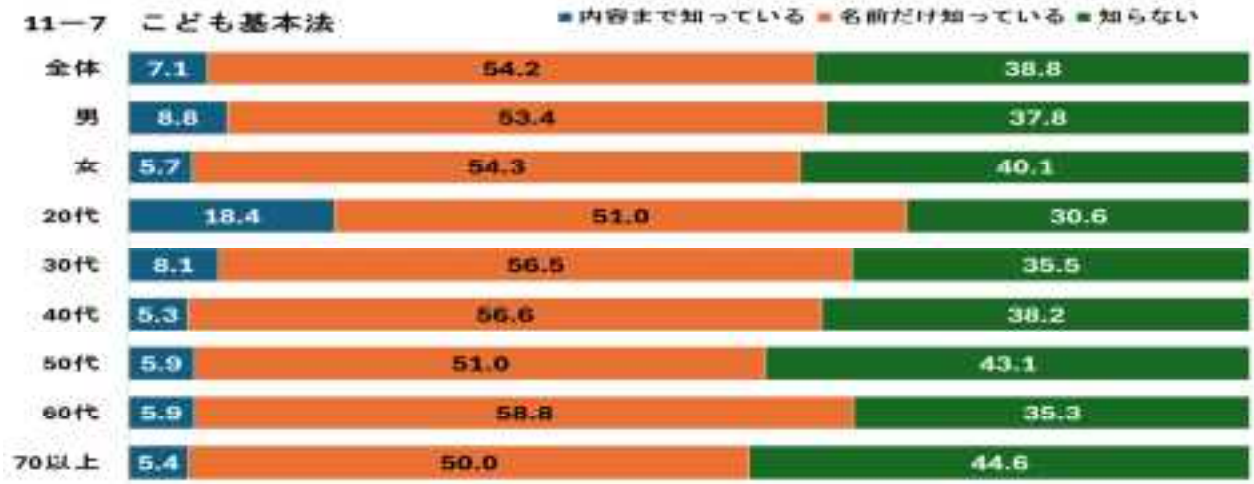

11-3 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
■内容まで知っている ■名前だけ知っている ■知らない
全体 4.1 44.3 51.6
男 7.1 43.7 49.2
女 1.9 44.3 53.9
20代 0.0 44.9 55.1
30代 3.3 32.8 63.9
40代 3.6 43.6 52.6
50代 2.9 35.3 61.8
60代 4.5 49.3 46.3
70以上 7.2 53.2 39.6


11－4 障害者差別解消法
■内容まで知っている ■名前だけ知っている ■知らない
全体 7.1 40.1 52.8
男 8.4 36.6 55.0
女 6.4 42.3 51.2
20代 4.2 43.8 52.1
30代 8.1 46.8 45.2
40代 7.8 33.8 58.4
50代 4.9 39.8 55.3
60代 9.0 41.0 50.0
70以上 7.1 38.4 54.5


11－5 ヘイトスピーチ解消法
■内容まで知っている ■名前だけ知っている ■知らない
全体 4.4 43.1 52.4
男 5.5 46.2 48.3
女 3.9 39.6 56.5
20代 2.0 36.7 61.2
30代 3.3 45.9 50.8
40代 6.5 41.6 51.9
50代 2.9 49.5 47.6
60代 6.6 40.4 52.9
70以上 3.6 42.9 53.6

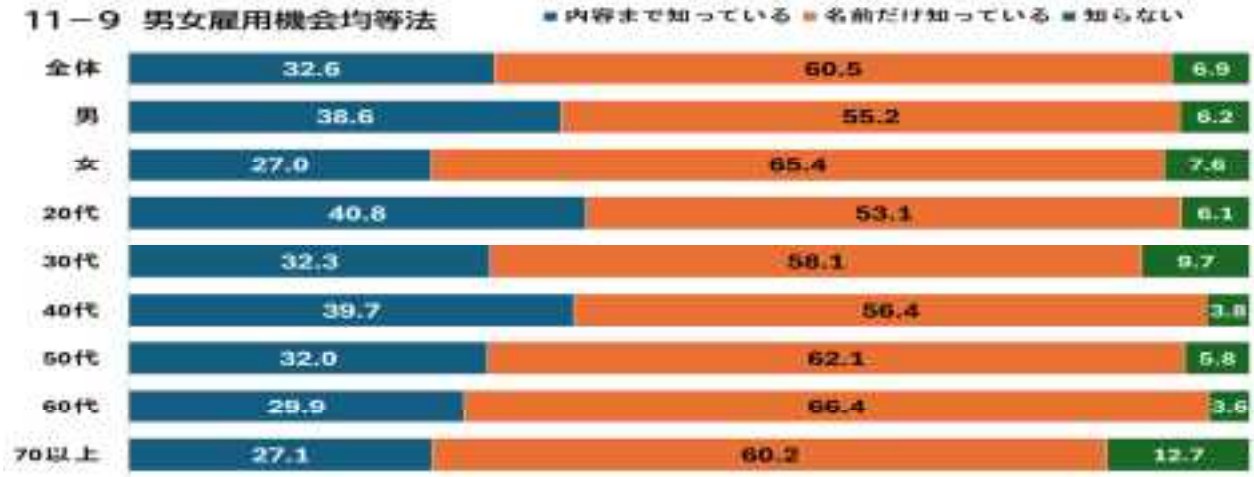

11－6 部落差別解消推進法
■内容まで知っている ■名前だけ知っている ■知らない
全体 12.4 56.2 31.4
男 14.5 51.5 34.0
女 10.1 60.1 29.9
20代 14.3 46.9 38.8
30代 4.8 51.6 43.5
40代 10.3 50.0 39.7
50代 13.6 52.4 34.0
60代 10.2 67.9 21.9
70以上 17.9 56.4 25.6

11－7　こども基本法

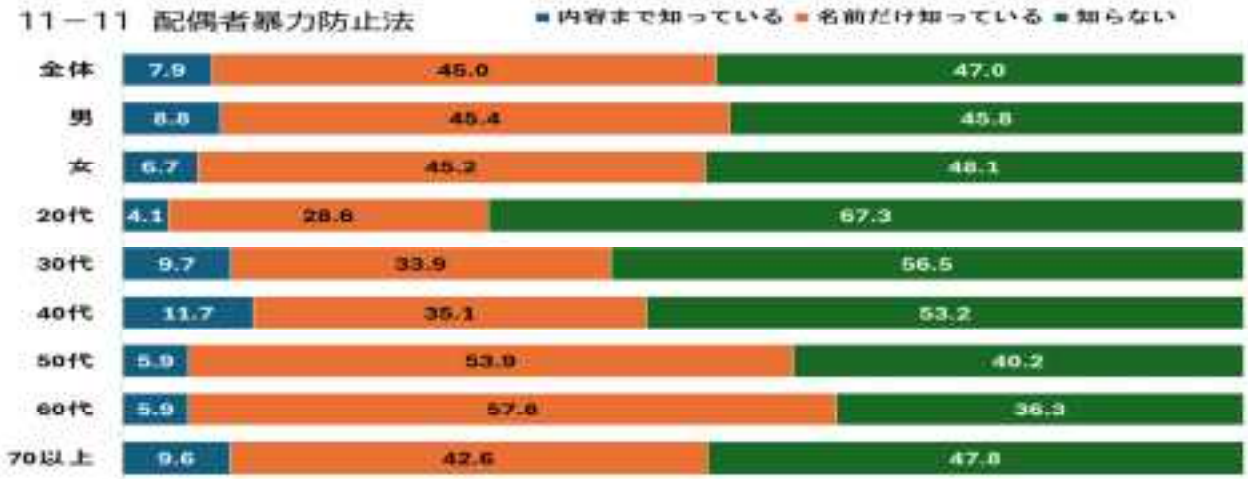


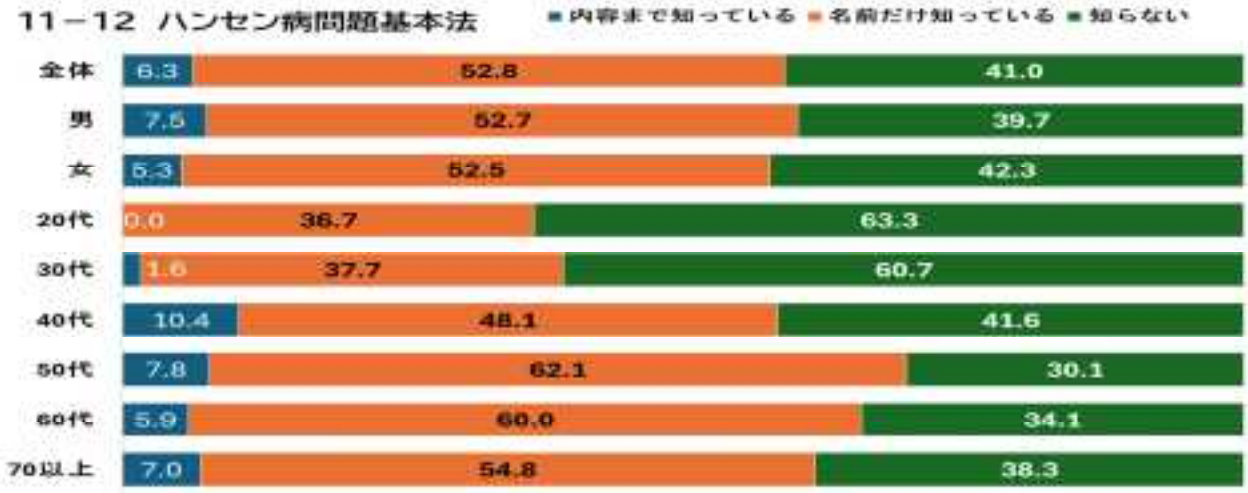
11－8　児童虐待防止法

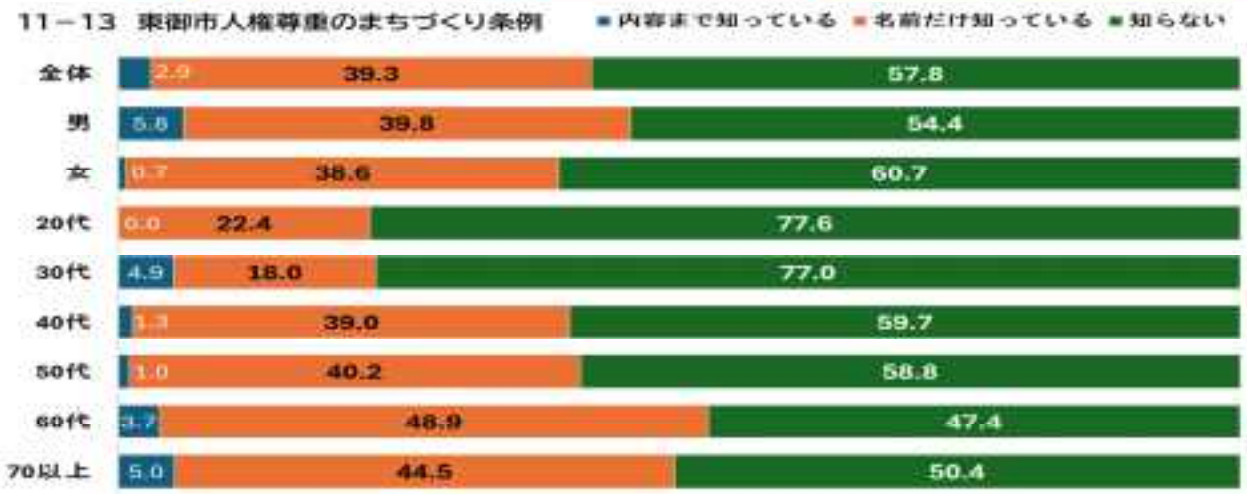
11－9　男女雇用機会均等法



11－10　男女共同参画社会基本法

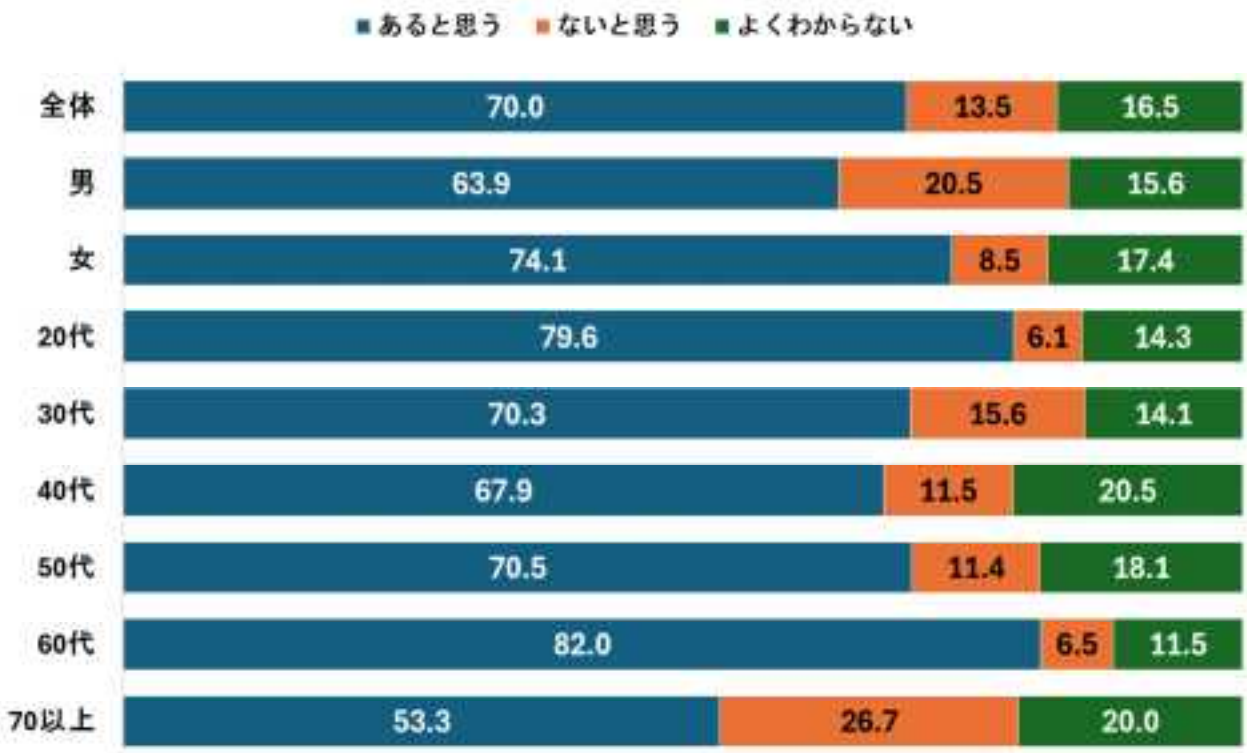

11－11 配偶者暴力防止法
■内容まで知っている ■名前だけ知っている ■知らない
全体 7.9 45.0 47.0
男 8.8 45.4 45.8
女 6.7 45.2 46.1
20代 4.1 28.6 67.3
30代 9.7 33.9 56.5
40代 11.7 35.1 53.2
50代 5.9 53.9 40.2
60代 5.9 57.8 36.3
70以上 9.6 42.6 47.8


11－12 ハンセン病問題基本法
■内容まで知っている ■名前だけ知っている ■知らない
全体 6.3 52.8 41.0
男 7.5 52.7 39.7
女 5.3 52.5 42.3
20代 0.0 36.7 63.3
30代 1.6 37.7 60.7
40代 10.4 48.1 41.6
50代 7.8 62.1 30.1
60代 5.9 60.0 34.1
70以上 7.0 54.8 38.3

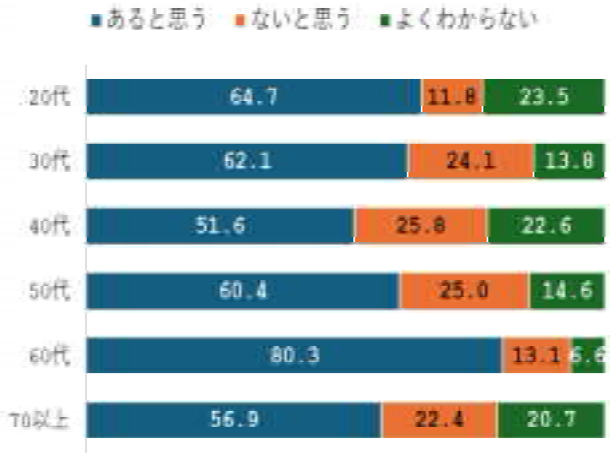

11－13 東御市人権尊重のまちづくり条例
■内容まで知っている ■名前だけ知っている ■知らない
全体 2.9 39.3 57.8
男 5.8 39.8 54.4
女 0.7 38.6 60.7
20代 0.0 22.4 77.6
30代 4.9 18.0 77.0
40代 1.3 39.0 59.7
50代 1.0 40.2 58.8
60代 3.7 48.9 47.4
70以上 5.0 44.5 50.4

【考察】

質問 12　あなたは、今の日本には女性に対する差別・偏見があると思いますか。あてはまるもの一つに○をしてください。　（回答者数557人）



【男性】

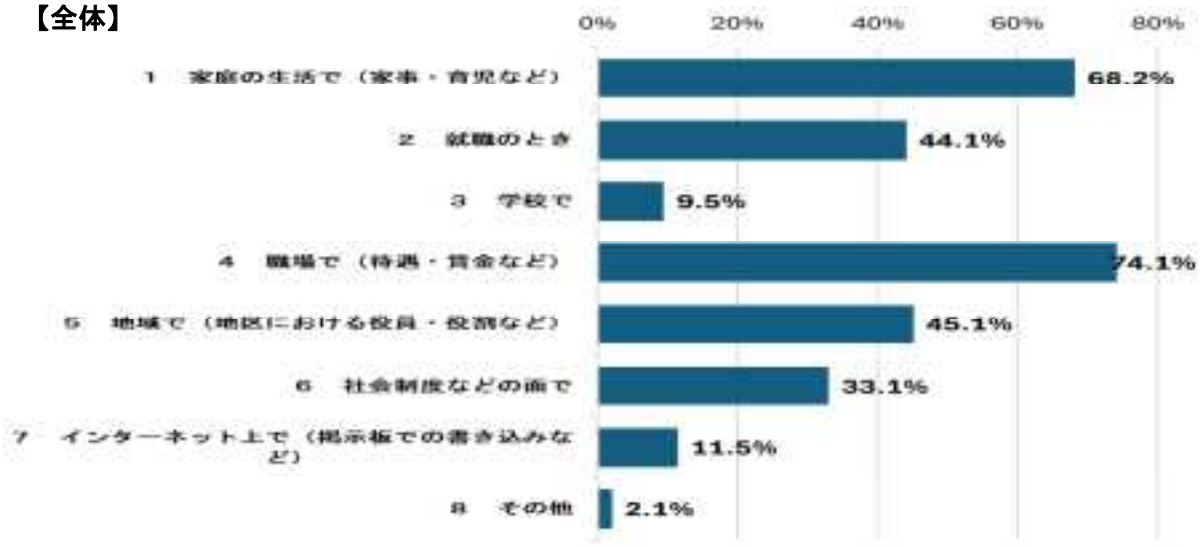


【女性】

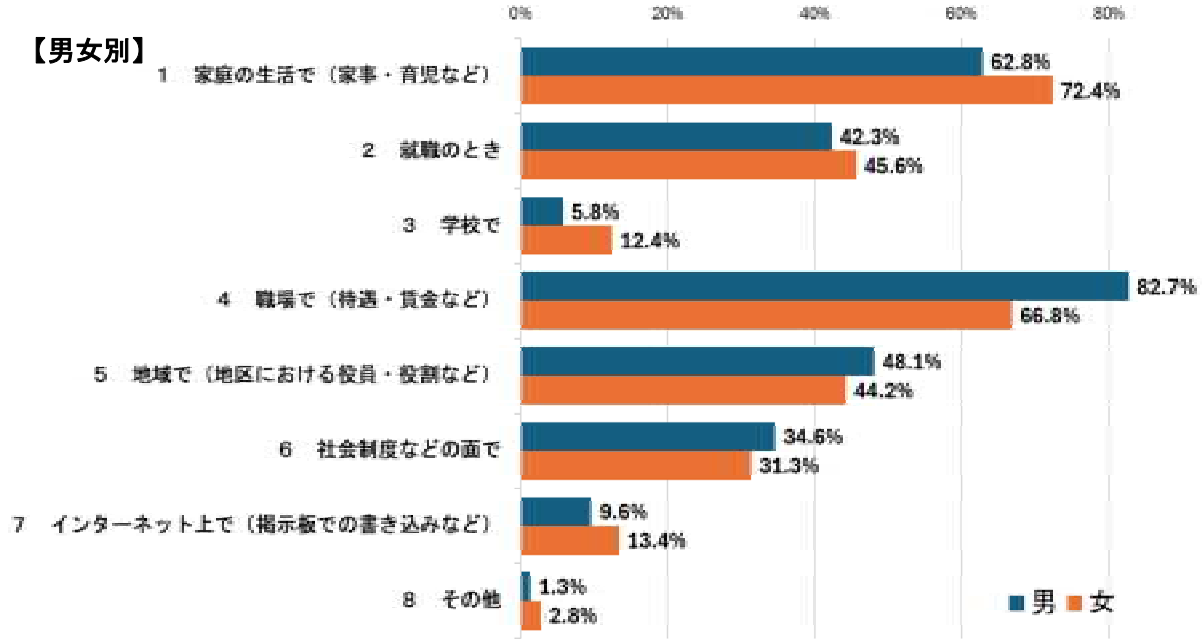
【考察】

質問 13　問 12 で「1　あると思う」に○をされた方にお聞きします。どのような差別の実態があると思いますか。あてはまるものすべてに○をしてください。（複数選択可）
（回答者数390人：回答数件1122件）

【全体】



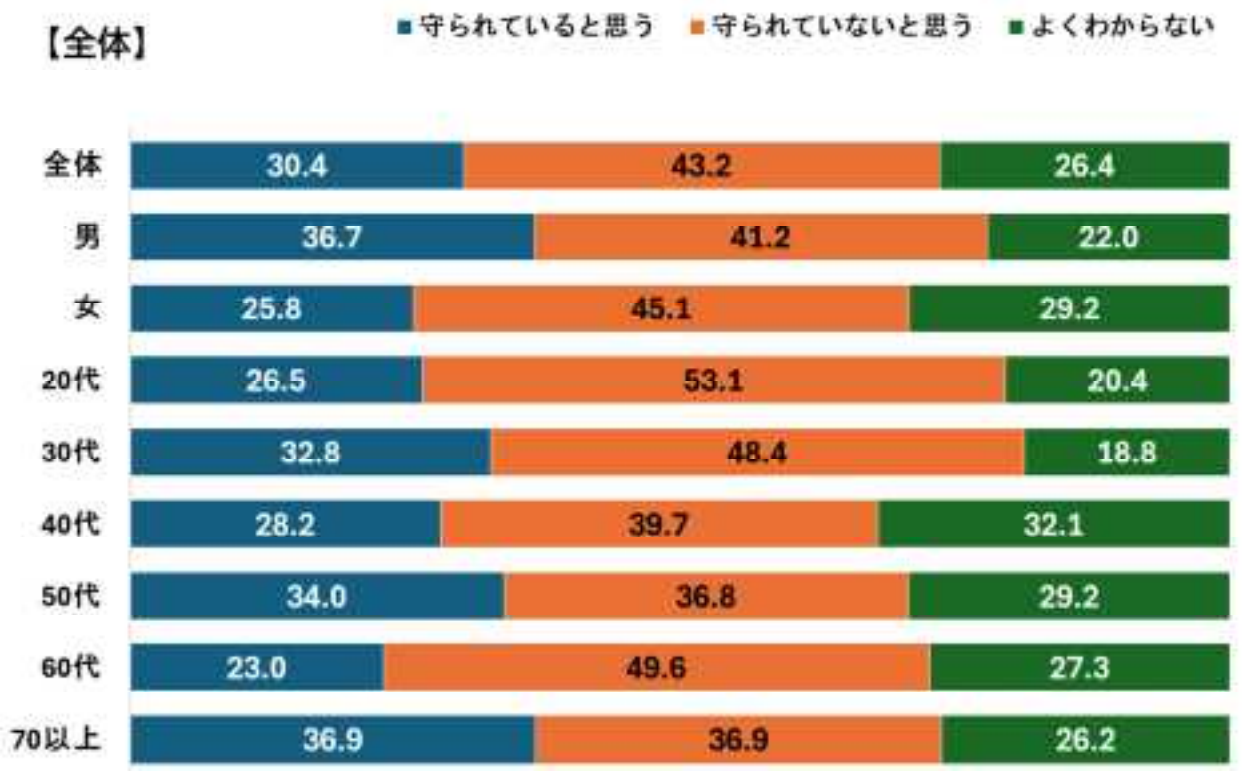
【男女別】

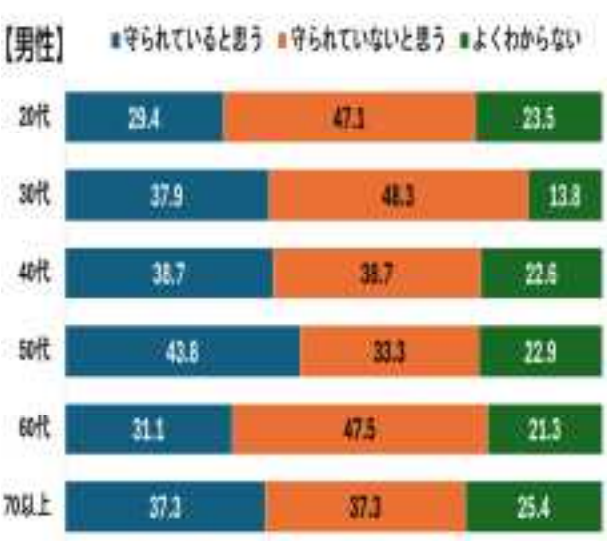


【その他】○自分の周りではない（60 代：男性）
○ピーマンとパプリカが違うように、男と女は違う。差別と区別のボーダーラインは人によって違うと思う（30 代：男）
○男性に対してもある（20 代：女性）
○家族の高齢の方から「女だから…」という言い方をされた（40 代：女性）
○年齢層によって、高齢の方には女性はこうあるべきだという主張が多い（50 代：女）

【考察】

質問 14　あなたは、今の日本では子どもの人権が守られていると思いますか。あてはまるもの一つだけに○をしてください。（回答者数560人）



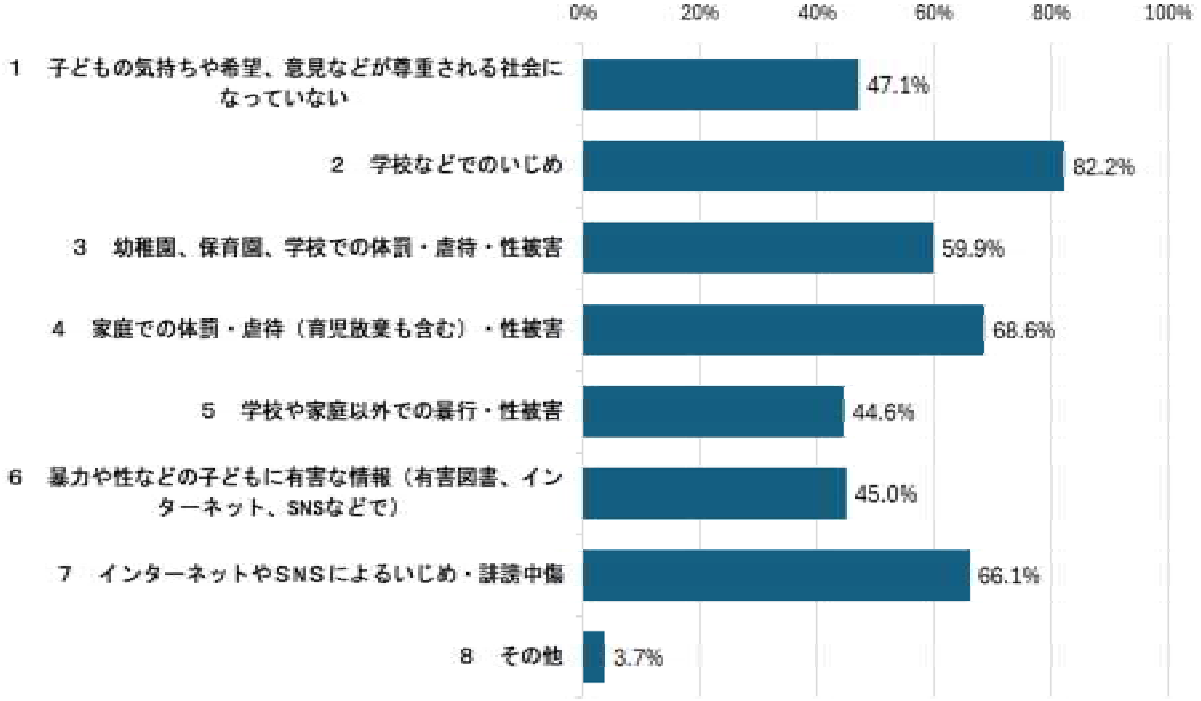


【考察】

質問 15　質問 14 で、「2　守られていないと思う」に○をされた方にお聞きします。現在、どのような面で子どもの人権が守られていないと思いますか。あてはまるものすべてに○をしてください。（複数選択可）　（回答者数242人：回答件数1010件）

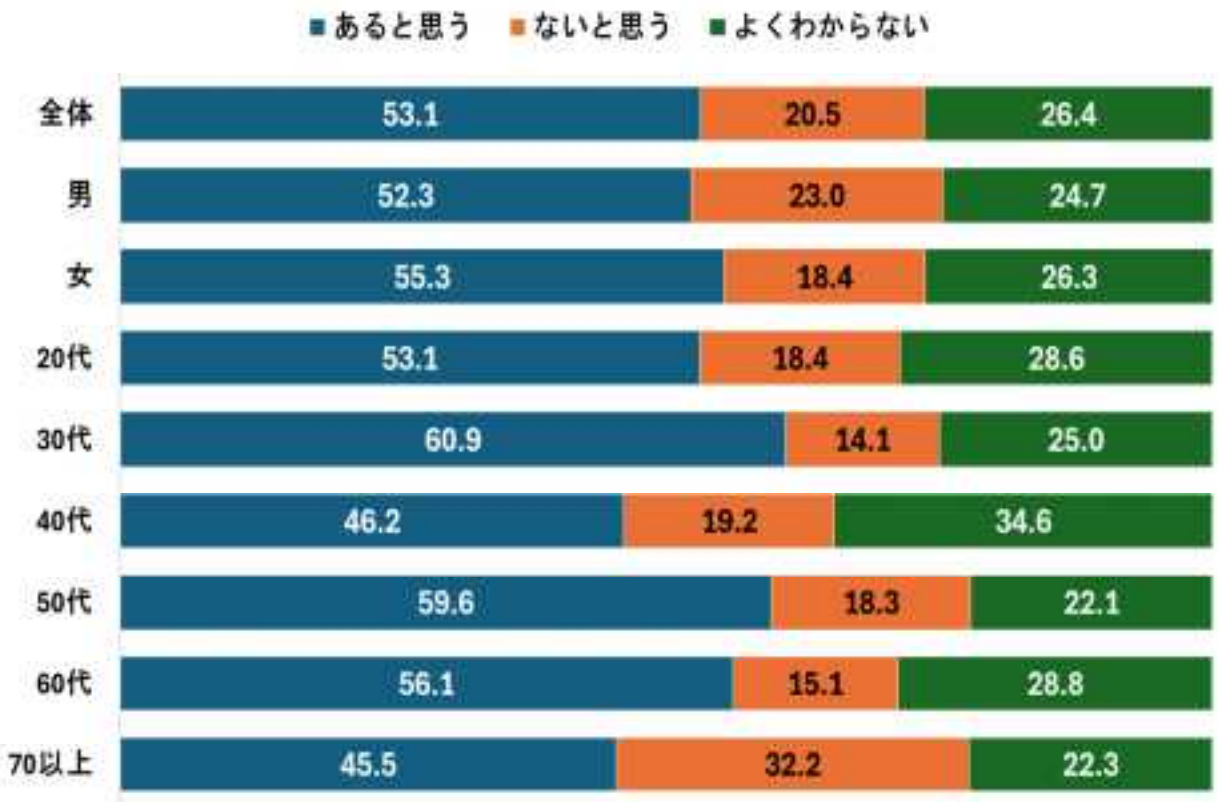
1　子どもの気持ちや希望、意見などが尊重される社会になっていない	2　学校などでのいじめ	3　幼稚園、保育園、学校での体罰・虐待・性被害	4　家庭での体罰・虐待（育児放棄も含む）・性被害	5　学校や家庭以外での暴行・性被害	6　暴力や性などの子どもに有害な情報（有害図書、インターネット、SNSなど	7　インターネットやSNSによるいじめ・誹謗中傷	8　その他
114	199	145	166	108	109	160	9

【その他】○新興宗教に入信している親子の子ども孤立（40 代：男性）
○今は聞かないが、子連れの飲食店への入店拒否（60 代：男性）
○公園の近くに住む人が「子ども声がうるさい」と言い、公園がつぶれる。赤ちゃんの泣き声がうるさいとクレームをつける（20 代：女性）
○個性や違いの理解や区別がアンバランスだと思う（50 代：女性）
○経済格差による進路。子ども食堂の存在する原因（70 代：男性）
○英会話が上達しない英語教育。勝利至上主義の体育教育などを無理やり行うのも一種の虐待だと思う（60 代：男性）



【考察】

質問 16　あなたは、今の日本には高齢者に対する差別・偏見があると思いますか。あてはまるもの一つに○をしてください。　（回答者数557人）

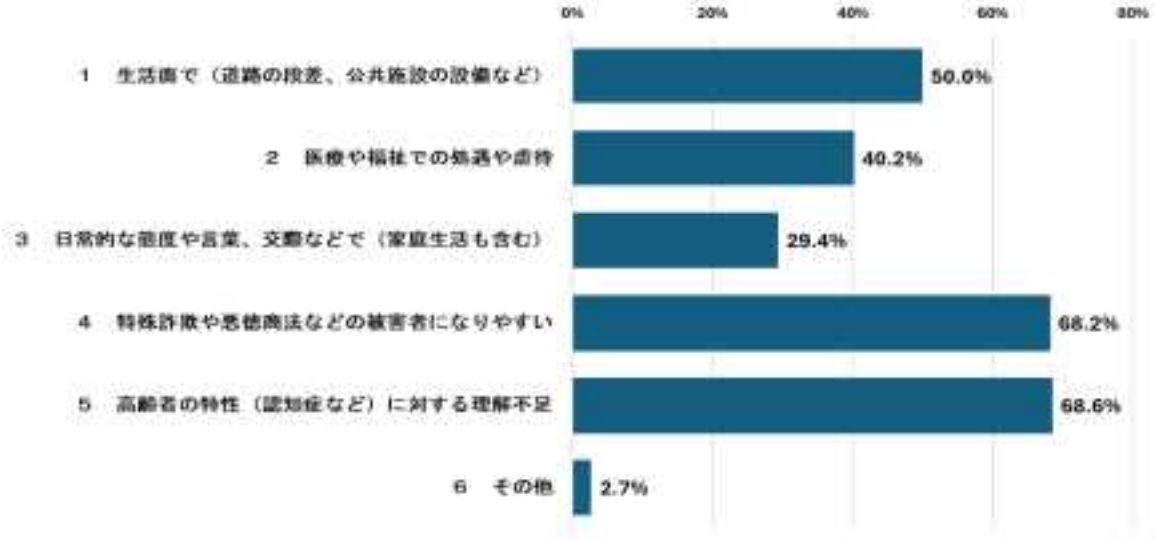


【考察】

質問 17　質問 16 で、「1　あると思う」に○をされた方にお聞きします。現在、どのような面で差別の実態や意識があると思いますか。あてはまるものすべてに○をしてください。（複数選択可）
（回答者数296人：回答件数767人）

1　生活面で（道路の段差、公共施設の設備など）	2　医療や福祉での処遇や虐待	3　日常的な態度や言葉、交際などで（家庭生活も含む）	4　特殊詐欺や悪徳商法などの被害者になりやすい	5　高齢者の特性（認知症など）に対する理解不足	6　その他
148	119	87	202	203	8

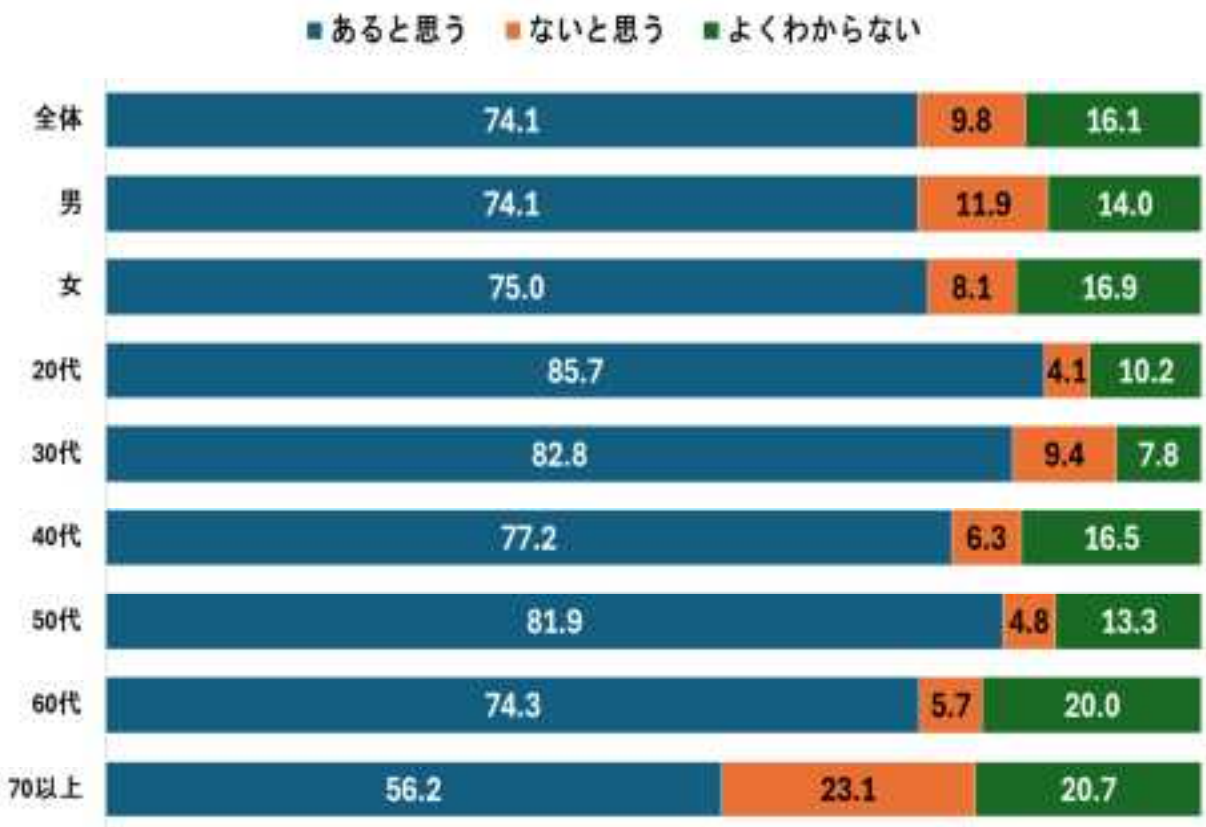
【その他】○マイナ保険証（60 代：女性）
○国民年金だけではとてもやっていけない（60 代：男性）
○他の市もそうだけど、車がないとどこへも行けず、高齢者の運転が怖い（30 代：女性）
○金銭問題（70 代：女性）
○世代的観点（価値観）の違いによるトラブル（50 代：女性）
○独身者に対する出会いや社交場がない（70 代：男性）



【考察】

質問 18　あなたは、今の日本には障がい（身体障がい・知的障がい・精神障がい）のある人に対する差別や偏見があると思いますか。あてはまるもの一つに○をしてください。

（回答者数560人）

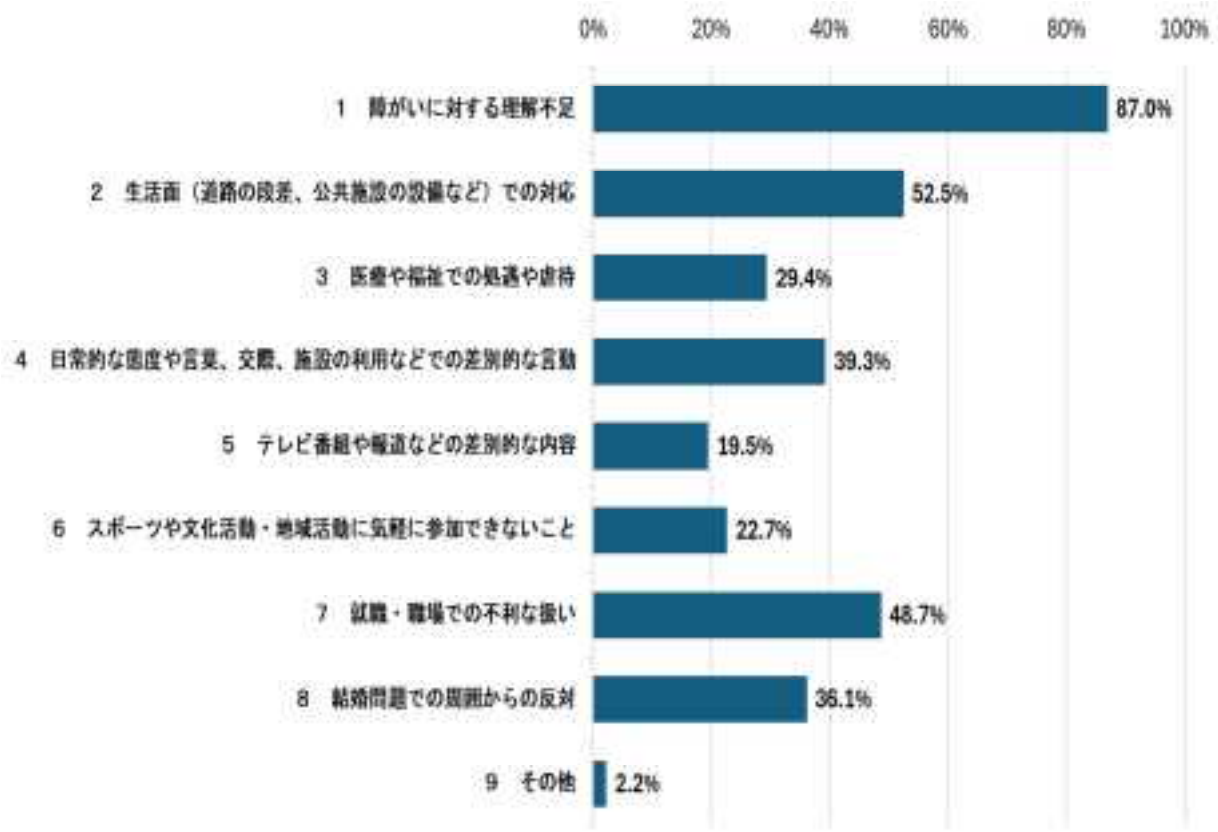


【考察】

質問 19　質問 18 で、「1　あると思う」に○をされた方にお聞きします。現在、どのような面に差別の実態や意識があると思いますか。あてはまるものすべてに○をしてください。（複数選択可）
（回答者数 415 人：回答件数 1400 件）

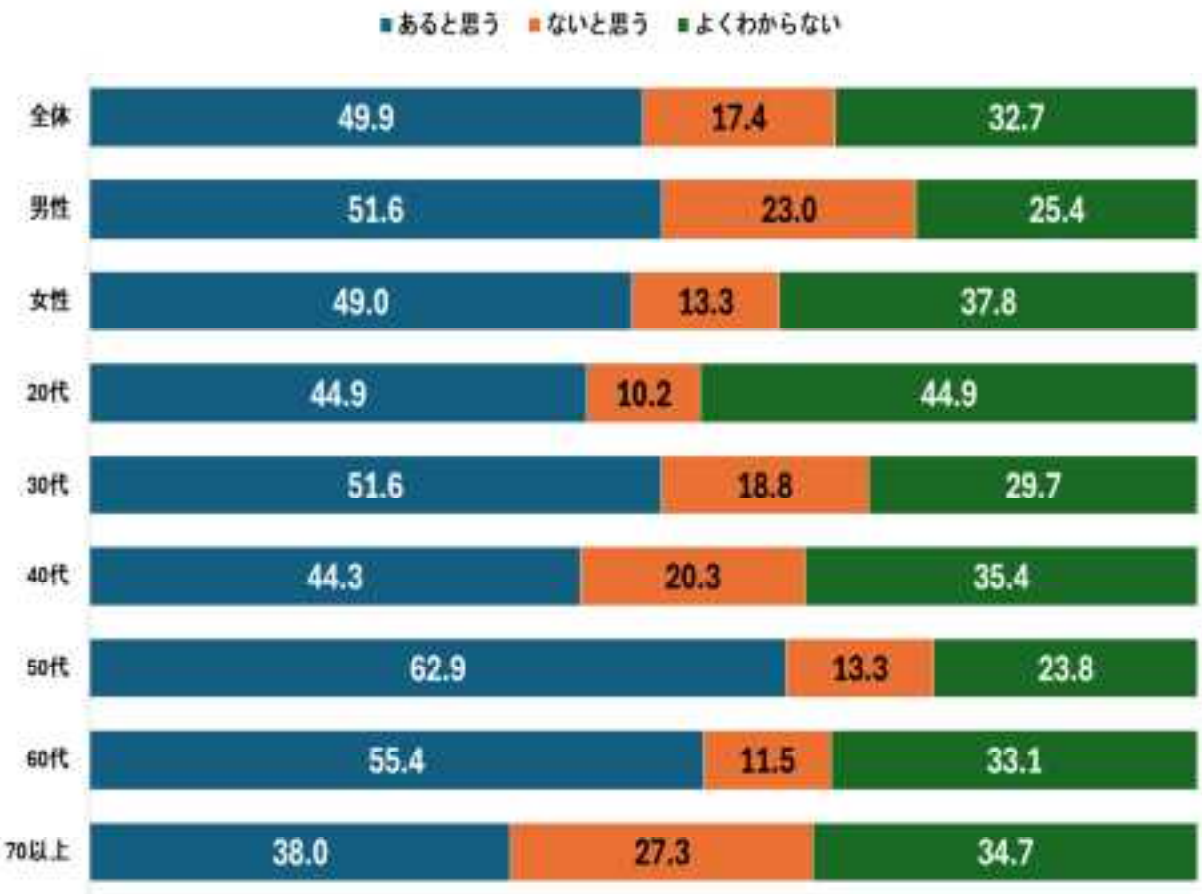
1 障がいに対する理解不足	2 生活面（道路の段差、公共施設の設備など）での対応	3 医療や福祉での処遇や虐待	4 日常的な態度や言葉、交際、施設の利用などでの差別的な言動	5 テレビ番組や報道などの差別的な内容	6 スポーツや文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと	7 就職・職場での不利な扱い	8 結婚問題での周囲からの反対	9 その他
361	218	122	163	81	94	202	150	9

【その他】○知的障がい者、精神障がい者と、いわゆる健常者の間には様々なトラブルが発生しているのが現実です。まず、この現実を直視する必要があります（60 代：男性）
○パラリンピックはほとんど放送しない。メダルを獲ったときのみ。平気で健康な人が車いすスペースに車を停めたりしている（30 代：女性）
○駐車場にコーンが立っている場所に障がい者以外の車が停まっている（70 代：女性）
○法律や条例による公共施設の利用禁止（プール、裁判の傍聴禁止）（20 代：女性）
○障がい者が働く店を利用しない（30 代：女性）
○特に結婚について、周囲からの「反対」ではなく「不理解」。当人が結婚によって本当に幸せになるそのためにはどうしたらよいかを考えてくれる人が実に少ない（50 代：女性）



【考察】

質問 20　あなたは、日本に在住している外国の人や、外国にルーツを持つ人に対する差別や偏見があると思いますか。あてはまるもの一つだけに○をしてください。　（回答者数559人）

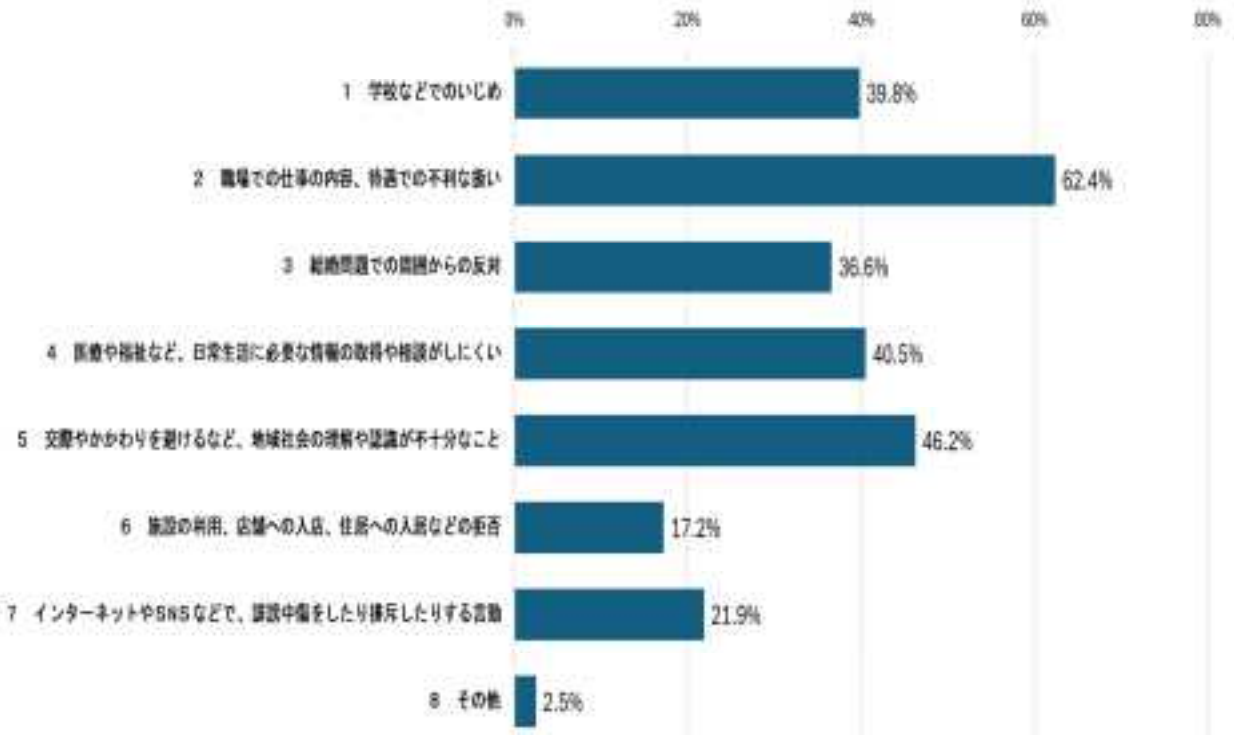


【考察】

質問 21　質問 20 で、「1　あると思う」に○をされた方にお聞きします。現在、どのような面で差別や偏見があると思いますか。あてはまるものすべてに○をしてください。（複数選択可）
（回答者数279人：回答数件745件）

1　学校などでのいじめ	2　職場での仕事の内容、待遇での不利な扱い	3　結婚問題での周囲からの反対	4　医療や福祉など、日常生活に必要な情報の取得や相談がしにくい	5　交際やかかわりを避けるなど、地域社会の理解や認識が不十分なこと	6　施設の利用、店舗への入店、住居への入居などの拒否	7　インターネットやSNSなどで、誹謗中傷をしたり排斥したりする言動	8　その他
111	174	102	113	129	48	61	7

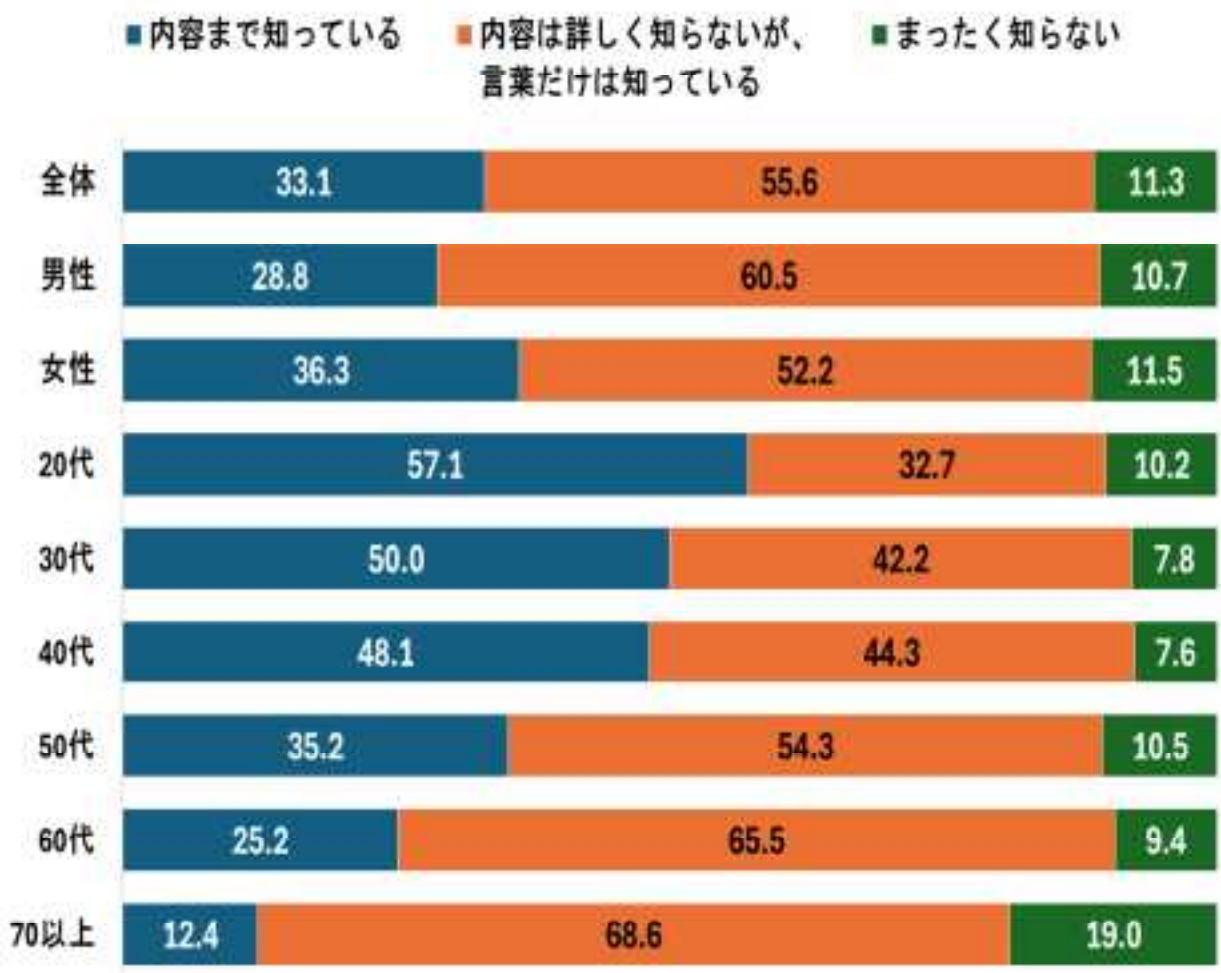
【その他】○偏見。【50 代：男性】
○日常生活で使用したクレカ・銀行口座・携帯を持つことが難しい（20 代：女性）
○選挙（50 代：女性）



【考察】

質問 22　あなたは、「ＬＧＢＴＱ」または「性的マイノリティ（性的少数者）」という言葉について知っていますか。あてはまるもの一つに○をしてください。

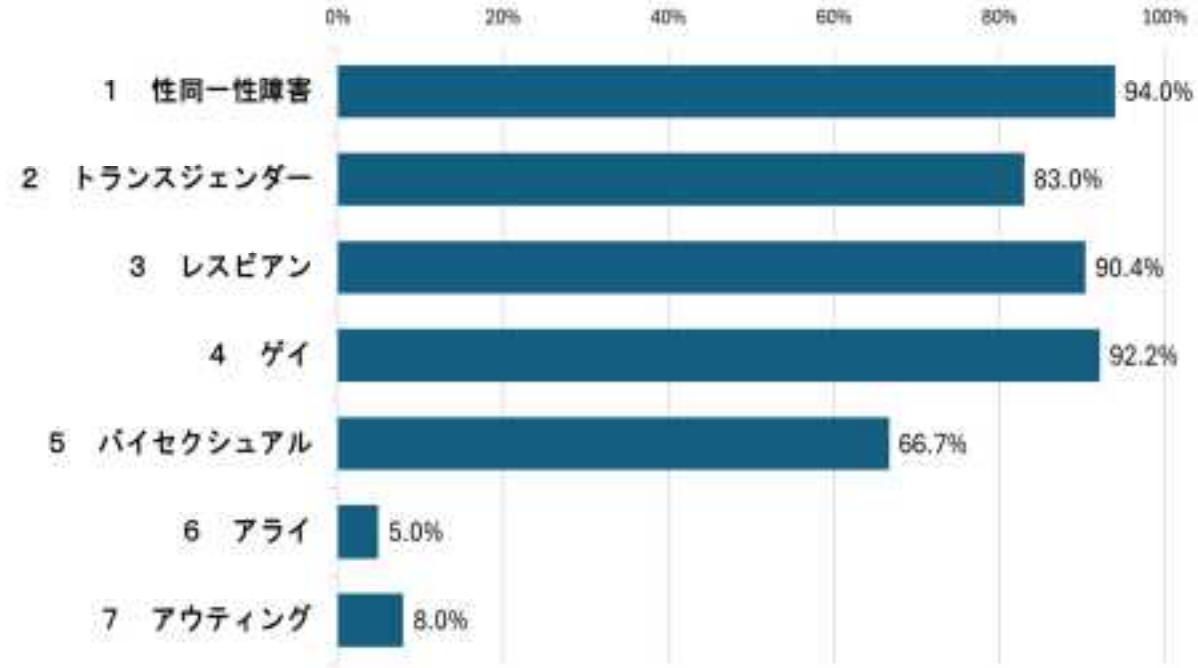
（回答者数５５９人）



【考察】

質問23　あなたは、LGBTQ（性的マイノリティ）に関する次の言葉について聞いたことがありますか。聞いたことがある言葉すべてに〇をしてください。（複数選択可）

（回答者数565人：回答件数2482件）



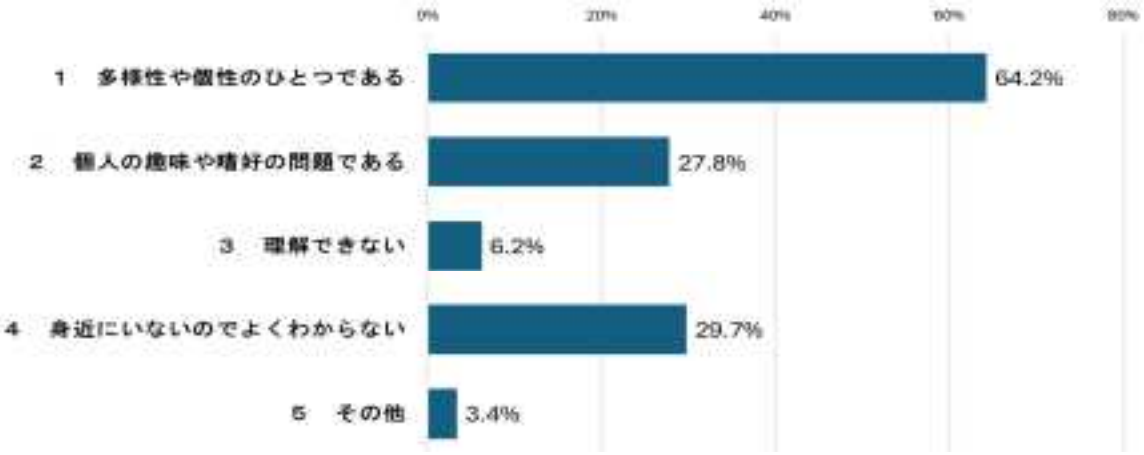
【考察】

質問 24　あなたは、LGBTQ(性的マイノリティ)についてどのような考えやイメージをお持ちですか。あてはまるものすべてに○をしてください。(複数選択可)

(回答者数565人:回答件数742件)

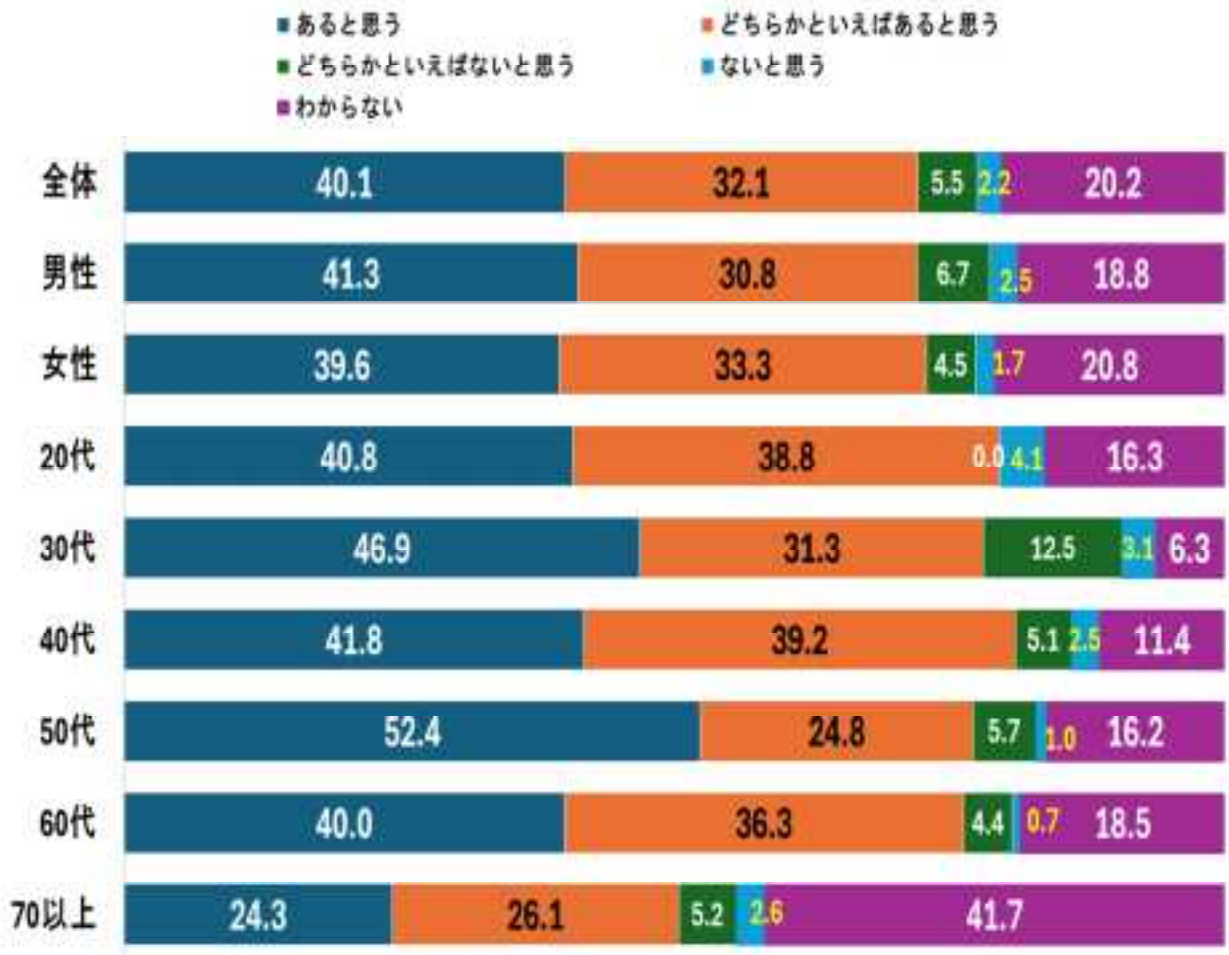
1　多様性や個性のひとつである	2　個人の趣味や嗜好の問題である	3　理解できない	4　身近にいないのでよくわからない	5　その他
363	157	35	168	19

【その他】○全体的に見れば少数になるかもしれないが、そのような人がいることが当たり前だと思っているため気にしない（20 代：女性）
○妊娠期の脳の影響（50 代：男性）
○その人自身である（20 代：女性）
○遺伝的な影響を受けている（50 代：男性）
○日本人には多様性のある民族だと思っているのに、なぜ取り上げられてるのかよくわからない（70 代：女性）
○当人の方は、計り知れない苦労をされていると思います。それが「障がい」という言葉を使っていいのか疑問です（40 代：女性）
○その人の生きる術（40 代：男性）
○理解を必要としていると思う（50 代：女性）
○横文字の意味が分からない（70 代：女性）
○偏見は持ちませんが、その方たちの行為は受け入れがたい（50 代：女性）



【考察】

質問 25　今の日本には、LGBTQ(性的マイノリティ)に関する人権問題があると思いますか。あなたのお考えに近いもの一つだけに〇をしてください。　（回答者数549人）

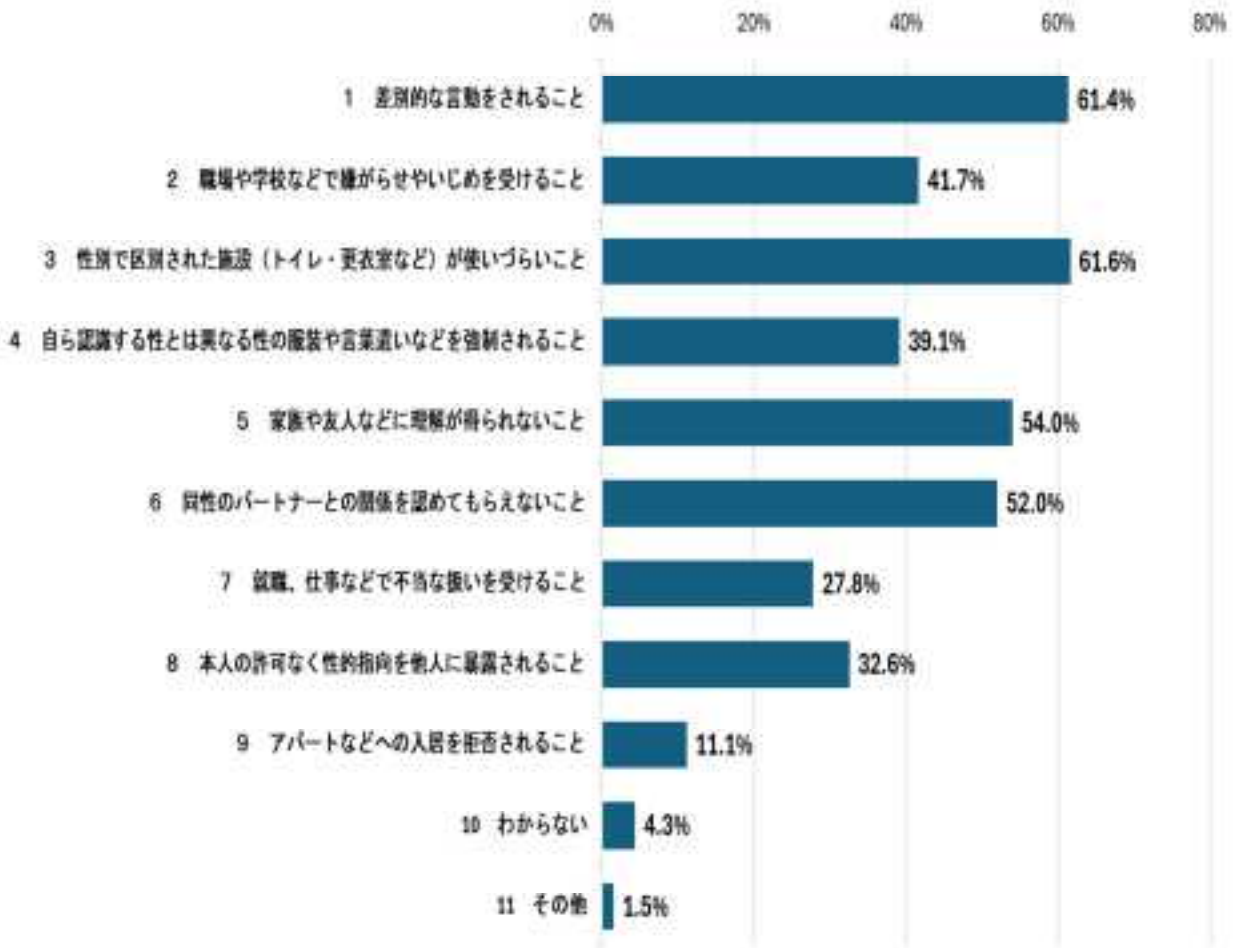


【考察】

質問 26　質問 25 で「1　あると思う」または「2　どちらかといえばあると思う」に○をされた方にお聞きします。どのような人権問題があると思いますか。あなたが考えることに近いと思うことすべてに○をしてください。（複数選択可）　（回答者数396人：回答件数1533件）

1 差別的な言動をされること	2 職場や学校などで嫌がらせやいじめを受けること	3 性別で区別された施設(トイレ・更衣室など)が使いづらいこと	4 自ら認識する性とは異なる性の服装や言葉遣いなどを強制されること	5 家族や友人などに理解が得られないこと	6 同性のパートナーとの関係を認めてもらえないこと	7 就職、仕事などで不当な扱いを受けること	8 本人の許可なく性的指向を他人に暴露されること	9 アパートなどへの入居を拒否されること	10 わからない	11 その他
243	165	244	155	214	206	110	129	44	17	6

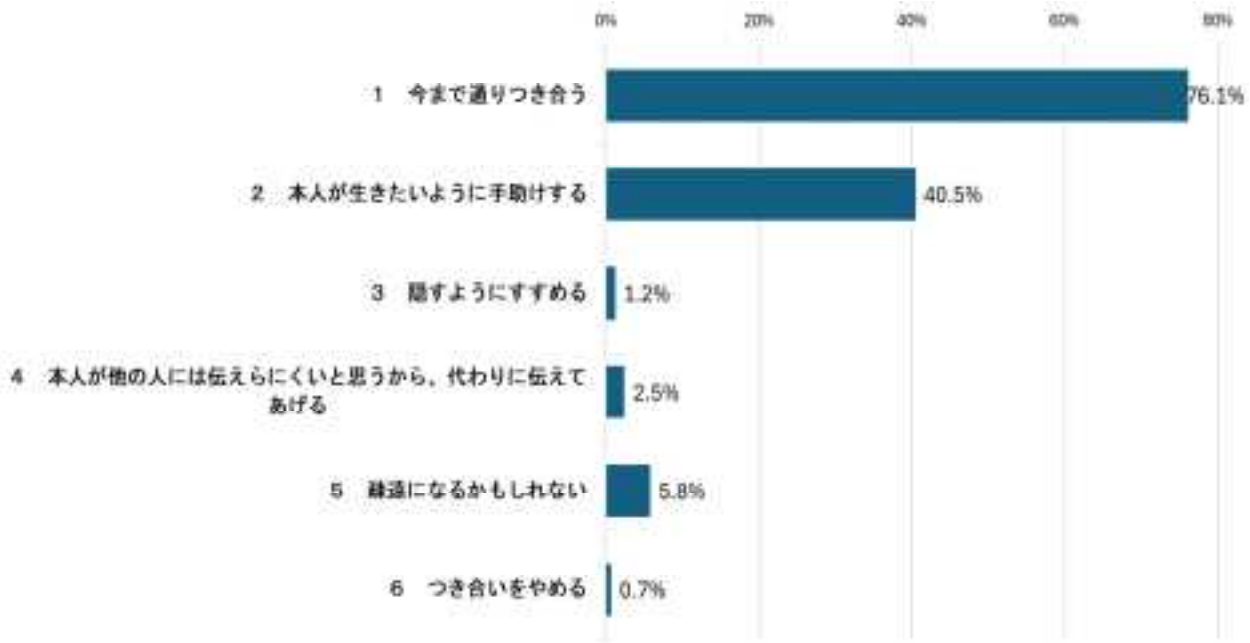
【その他】○昔は、LBGBTQ は精神治療の対象になっていました。それを考えれば世の中少しずつ変わっていると思います（60 代：男性）
○直接関係したことはないが、差別偏見はあると思う（70 代：女性）
○問題について、無視や拒否の心理が働いてしまうこと（50 代；女性）



【考察】

質問 27　あなたが、身近な人（家族や友人）からLGBTQ（性的マイノリティ）であると打ち明けられたとき、あなたはどうしますか。あなたのお考えに近いものすべてに○をつけてください。
（複数選択可）　（回答者数565人：回答件数717件）

1 今まで通りつき合う	2 本人が生きたいように手助けする	3 隠すようにすすめる	4 本人が他の人には伝えらにくいと思うから、代わりに伝えてあげる	5 疎遠になるかもしれない	6 つき合いをやめる
430	229	7	14	33	4



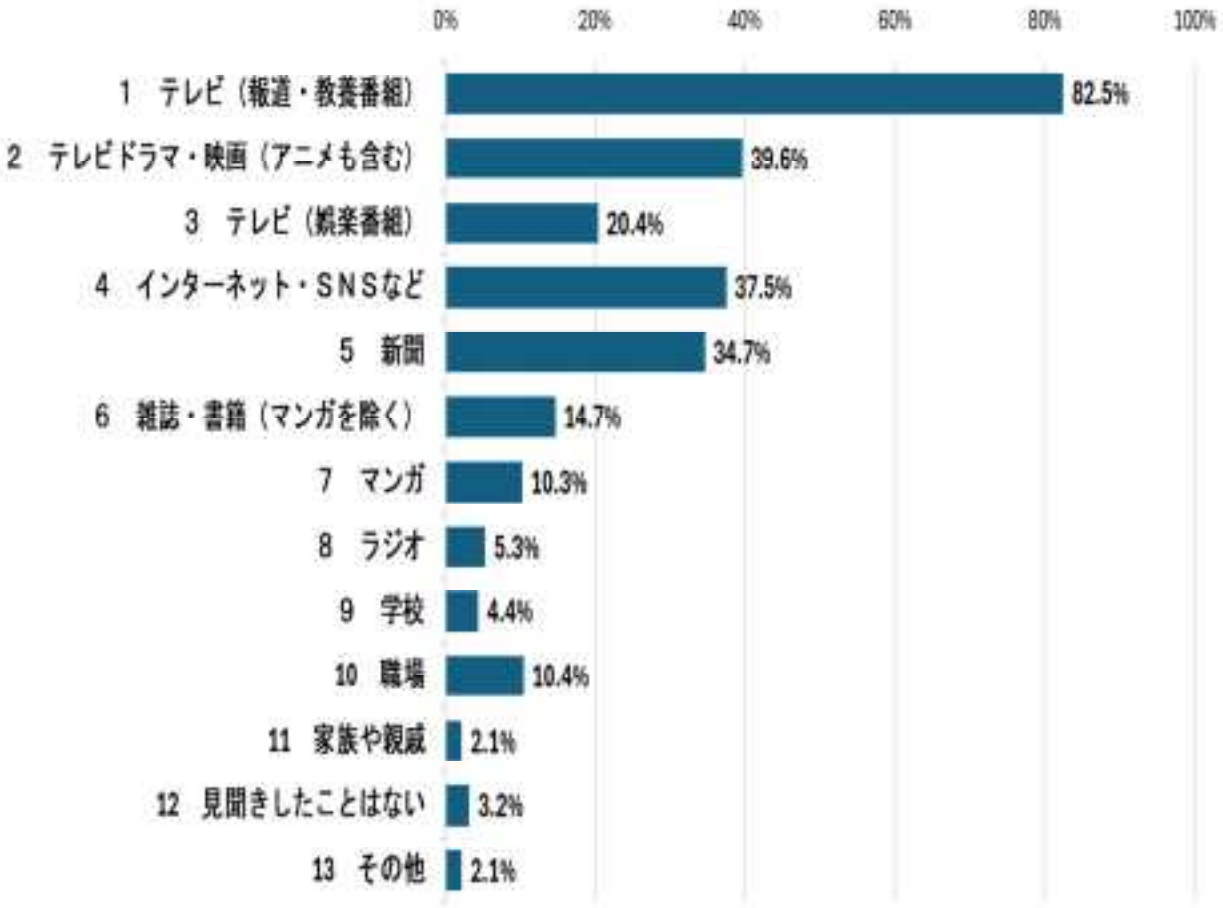
【考察】

質問 28　あなたが、最近 LGBTQ(性的マイノリティ)に関しての情報で見聞きしたものはどれですか。あなたが見聞きしたことすべてに○をしてください。(複数選択可)

(回答者数565人:回答件数1510件)

1 テレビ(報道・教養番組)	2 テレビドラマ・映画(アニメも含む)	3 テレビ(娯楽番組)	4 インターネット・SNSなど	5 新聞	6 雑誌・書籍(マンガを除く)	7 マンガ
466	224	115	212	196	83	58
8 ラジオ	9 学校	10 職場	11 家族や親戚	12 見聞きしたことはない	13 その他	
30	25	59	12	18	12	

【その他】○過去、知人にいた（40 代：女性）
○友人（50 代：男性）
○家族の友人の家族（60 代：女性）
○仕事上、患者さんの相談に乗ることもある（60 代：男性）
○友人（60 代：女性）
○友だち（60 代：女性）

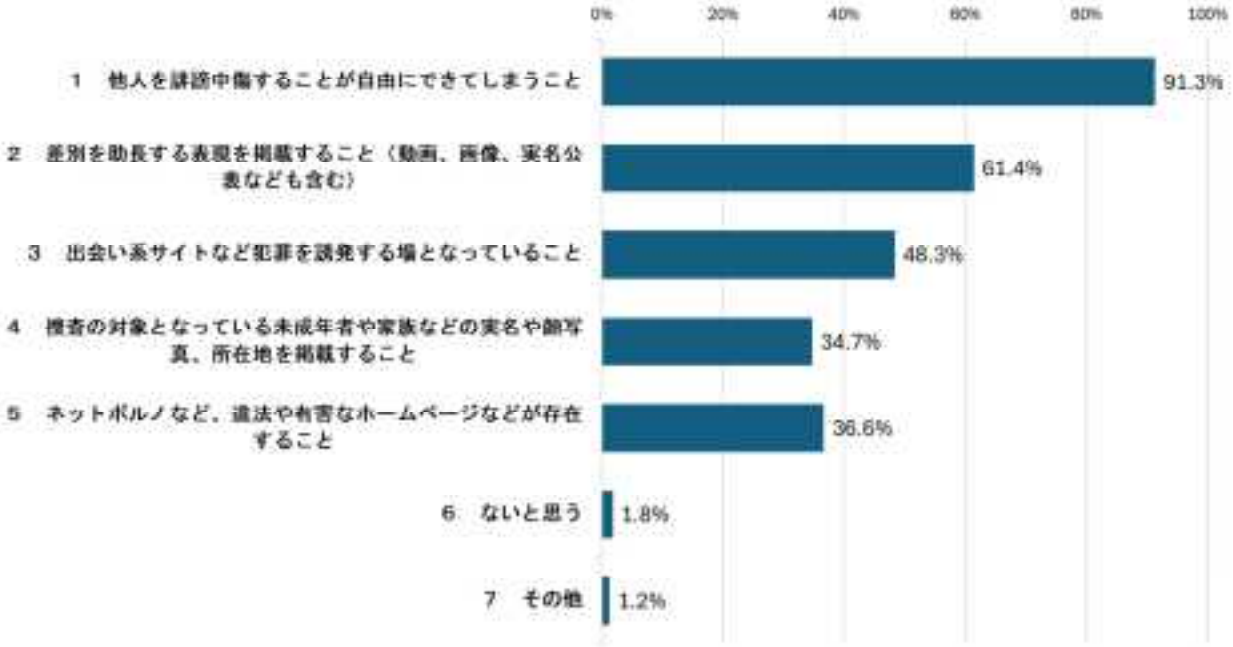


【考察】

質問 29　あなたは、インターネットやSNSによる人権侵害に関し、どのような問題が起きていると思いますか。あてはまることすべてに〇をしてください。（複数選択可）
（回答者数565人：回答件数2482件）

1 他人を誹謗中傷することが自由にできてしまうこと	2 差別を助長する表現を掲載すること（動画、画像、実名公表なども含む）	3 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	4 捜査の対象となっている未成年者や家族などの実名や顔写真、所在地を掲載すること	5 ネットポルノなど、違法や有害なホームページなどが存在するこ	6 ないと思う	7 その他
516	347	273	196	207	10	7

【その他】〇中傷合戦の後、世の中がどんなふうに考えがまとまっていくか、まだわからないことです（60 代：男性）
〇かかわったことがないので分からない（40 代：男性）
〇興味なし（50 代：男性）
〇国として規制が甘すぎる（50 代：男性）
〇そもそもテレビや新聞よりもネットやＳＮＳからの情報収集が主になっていること自体が問題。情報源としてチョイスすることが危うい（50 代：男性）

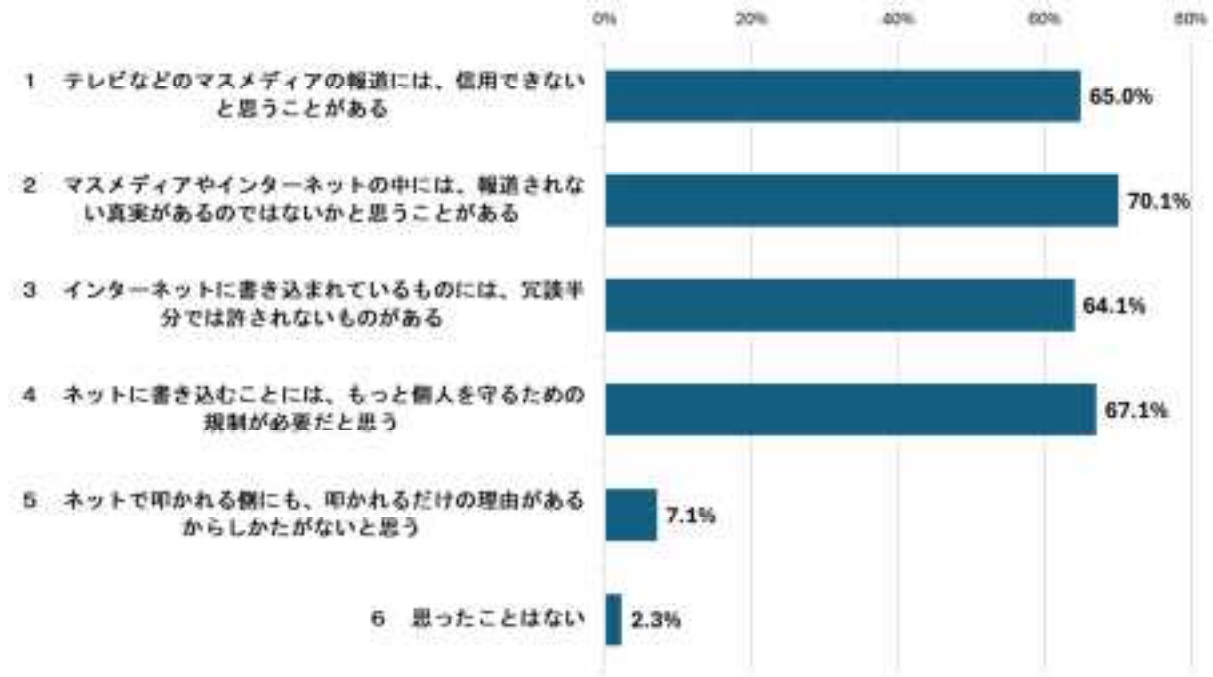


【考察】

質問 30　あなたは、今の日本のマスコミやインターネットの情報で、次のように思ったことはありますか。あなたもそう思うことすべてに〇をしてください。（複数選択可）

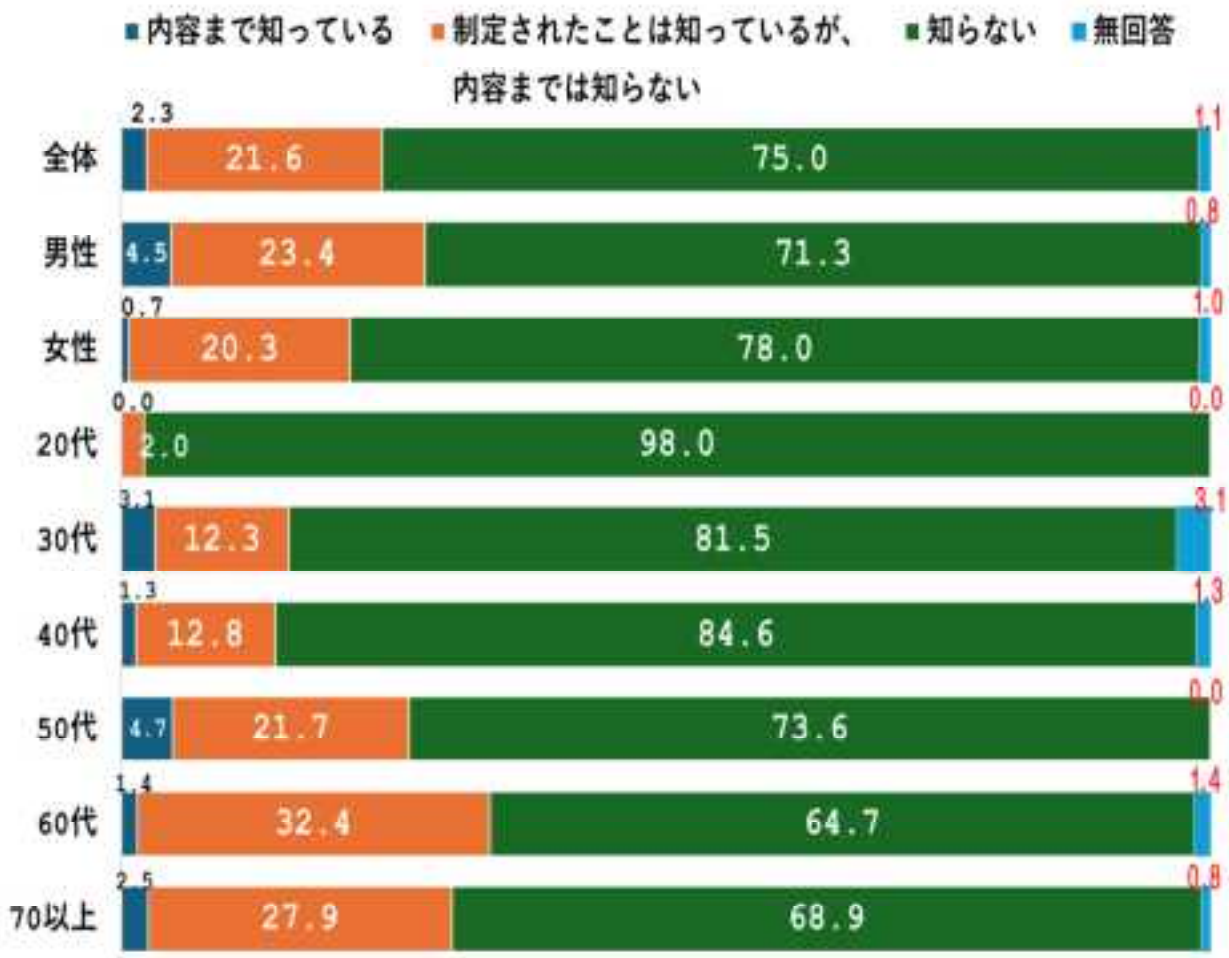
（回答者数565人：回答件数1557件）

1 テレビなどのマスメディアの報道には、信用できないと思うことがある	2 マスメディアやインターネットの中には、報道されない真実があるのではないかと思うことがある	3 インターネットに書き込まれているものには、冗談半分では許されないものがある	4 ネットに書き込むことには、もっと個人を守るための規制が必要だと思う	5 ネットで叩かれる側にも、叩かれるだけの理由があるからしかたがないと思う	6 思ったことはない
367	396	362	379	40	13



【考察】

質問 31　東御市では、令和5年10月に「東御市犯罪被害者等支援条例」を制定しましたが、ご存知ですか。あてはまるもの一つだけに○をしてください。　（回答者数561人：無回答者数4人）



【考察】

質問 32　犯罪被害者への支援として、今後、どのような取り組みの充実が必要だと思いますか。あなたのお考えと合うものすべてに○をしてください。（複数選択可）

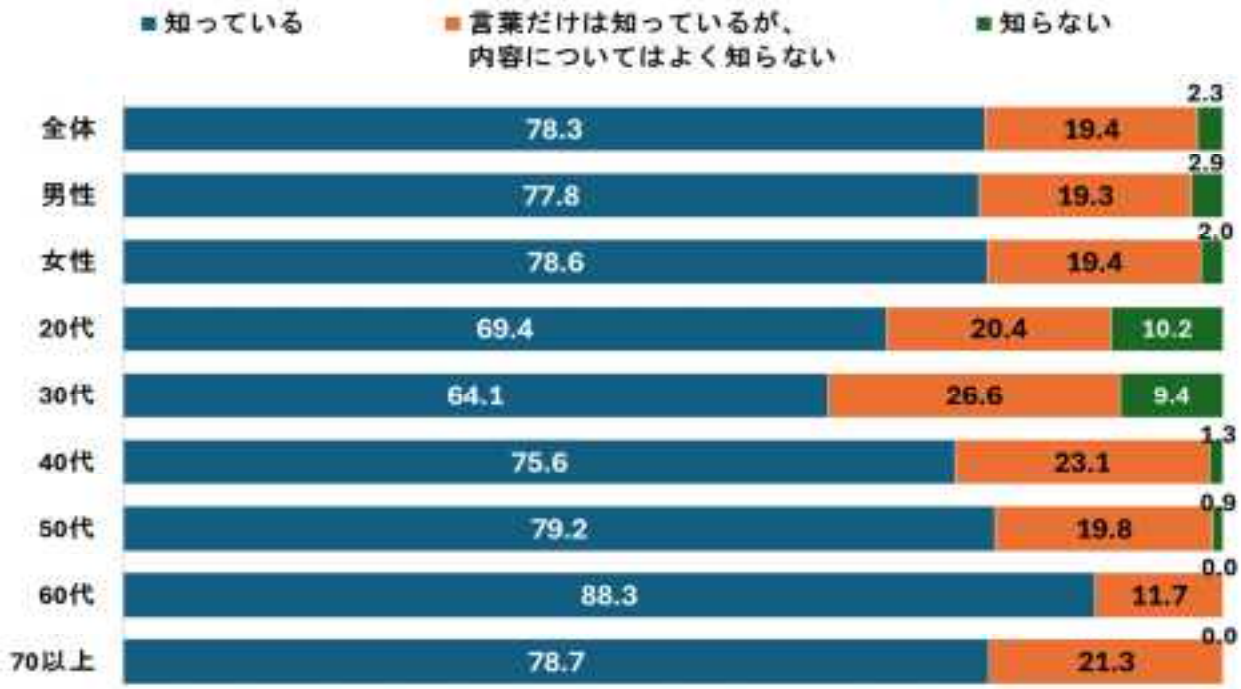
（回答者数565人：回答件数1351件）

1 学校や市民の理解を深めるための教育・啓発	2 カウンセリングや医療機関提供のケア	3 弁護士相談	4 育児や介護などを支援する福祉制度の活用	5 生活資金の貸付・見舞金の支給	6 わからない	7 その他
274	356	231	201	207	73	9

【考察】

質問 33　あなたは、部落差別を知っていますか。あてはまるもの一つに○をしてください。
（回答者数560人）

	知っている	言葉だけは知っているが、内容についてはよく知らない	知らない
全　体	437	108	13
男　性	183	47	7
女　性	231	57	6
未選択	17	4	0



【考察】

※「同和対策事業」

1961 年（昭和 36 年）に同和対策審議会が設置され、1965 年（昭和 40 年）に、同和問題の解決は国の責務であり、同時に国民的課題であると明記した「同和対策審議会答申」が出された。1969 年（昭和 44 年）には「同和対策事業特別措置法」が施行され、そこから限切れごとに新しい法律が施行され、足かけ 33 年間にわたって行われた事業。法律の中には「同和地区」という言葉はなく、「歴史的社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害された地域」となっていたが、各自治体では、事業による支援の手続きが進められた地域を「同和地区」と呼ぶようになった。したがって、同和地区＝被差別部落ではない。また、この特別措置法には「部落差別」という語句も記載されていない。

※「人権啓発学習会」

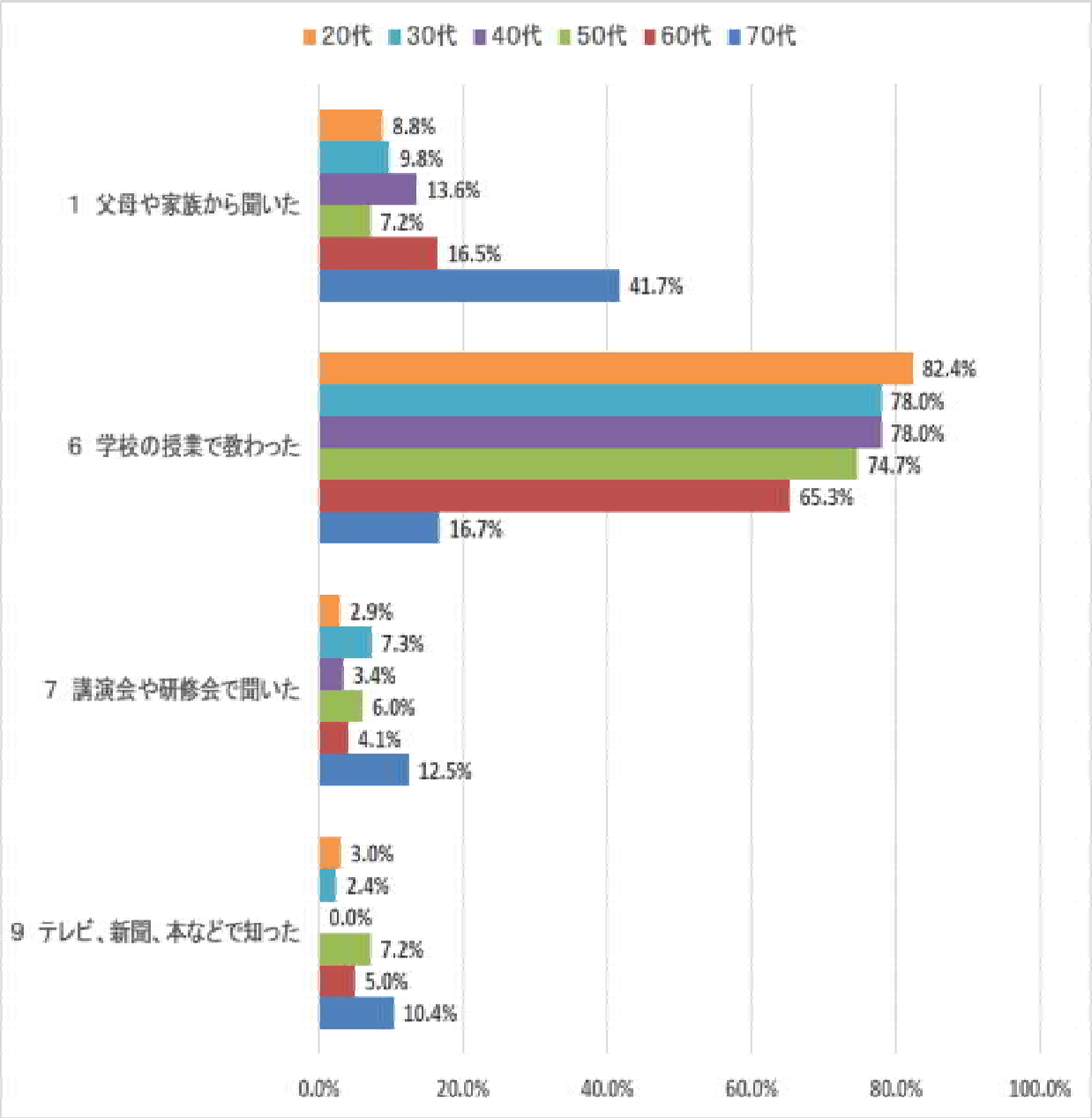
平成 28 年から令和元年まで各公民館で行われた人権啓発学習会では、研究が進んで大きく見直されてきた部落差別の歴史（小中学校で今現在子供たちが学んでいる歴史の教科書の内容を資料にして）を知っていただくことを目的に、ＤＶＤ「部落の歴史（中世～江戸時代）～差別の源流を探る～」の視聴と資料の内容説明を中心に行われた。この中で、「部落差別解消推進法」が施行された背景と法の重要性も説明した。

質問 34　質問 33 で、「1　知っている」に○をされた方にお聞きします。あなたが部落差別を初めて知ったきっかけは何ですか。一番初めに知るきっかけとなったと思うこと一つだけに○をしてください。　（回答者数436人：無回答者数2人）

	1 父母や家族から聞いた	2 親戚の人から聞いた	3 近所の人から聞いた	4 友だちから聞いた	5 職場の人から聞いた	6 学校の授業で教わった
全体	118	3	13	19	12	291
20 代	4	0	0	0	1	28
30 代	4	0	0	1	0	33
40 代	10	0	1	0	1	48
50 代	14	2	2	1	1	70
60 代	35	1	3	4	3	88
70 代～	49	0	7	13	6	22

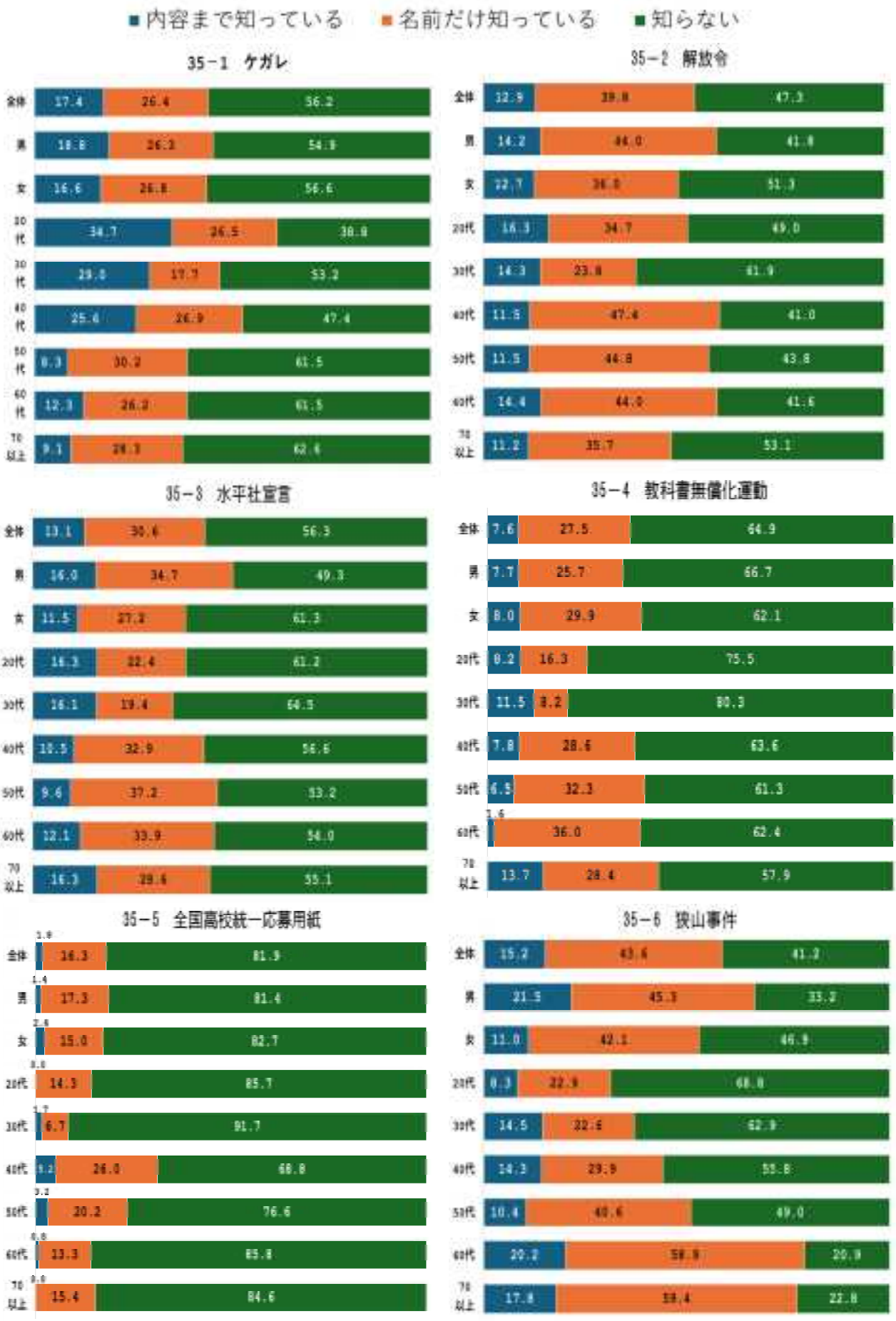
	7 講演会や研修会で聞いた	8 県や市町村の広報誌などで知った	9 テレビ,新聞、本などで知った	10 インターネットで知った	11 その他
全体	37	7	25	2	5
20 代	1	0	1	0	0
30 代	3	0	1	0	0
40 代	2	0	1	1	0
50 代	7	0	6	0	2
60 代	9	2	6	1	3
70 代～	15	5	10	0	0

【その他】○歴史的にそのようなことがあったこと。また、現在もあるであろうということ（60 代：男性）
○私は他県から来たが、子どもの頃には何も知らず、「橋のない川」が学校で映画を見てそういうところがあるのだと思っていたが、長野県に来て初めて部落差別のことを知った（60 代：女性）

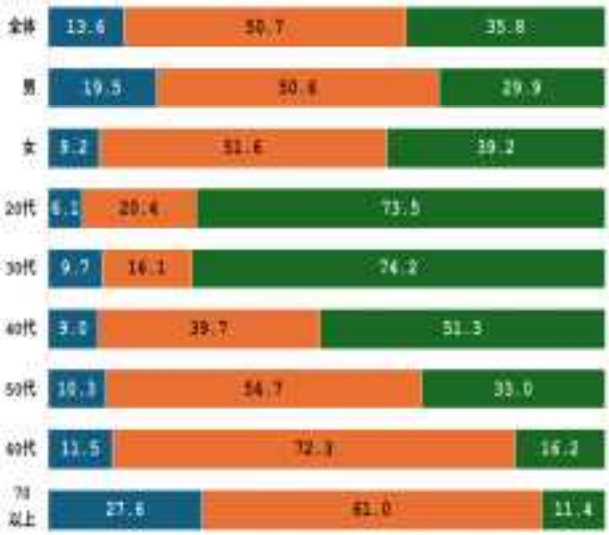


【考察】　※棒グラフは回答率が多めの４項目のみ

質問 35　あなたは、部落差別にかかわる次のことを知っていますか。それぞれあてはまるものに○をしてください。（全ての項目にお答えください。）　（回答者数491人～523人）



35－7　同和対策事業



35－8　部落地名総監事件

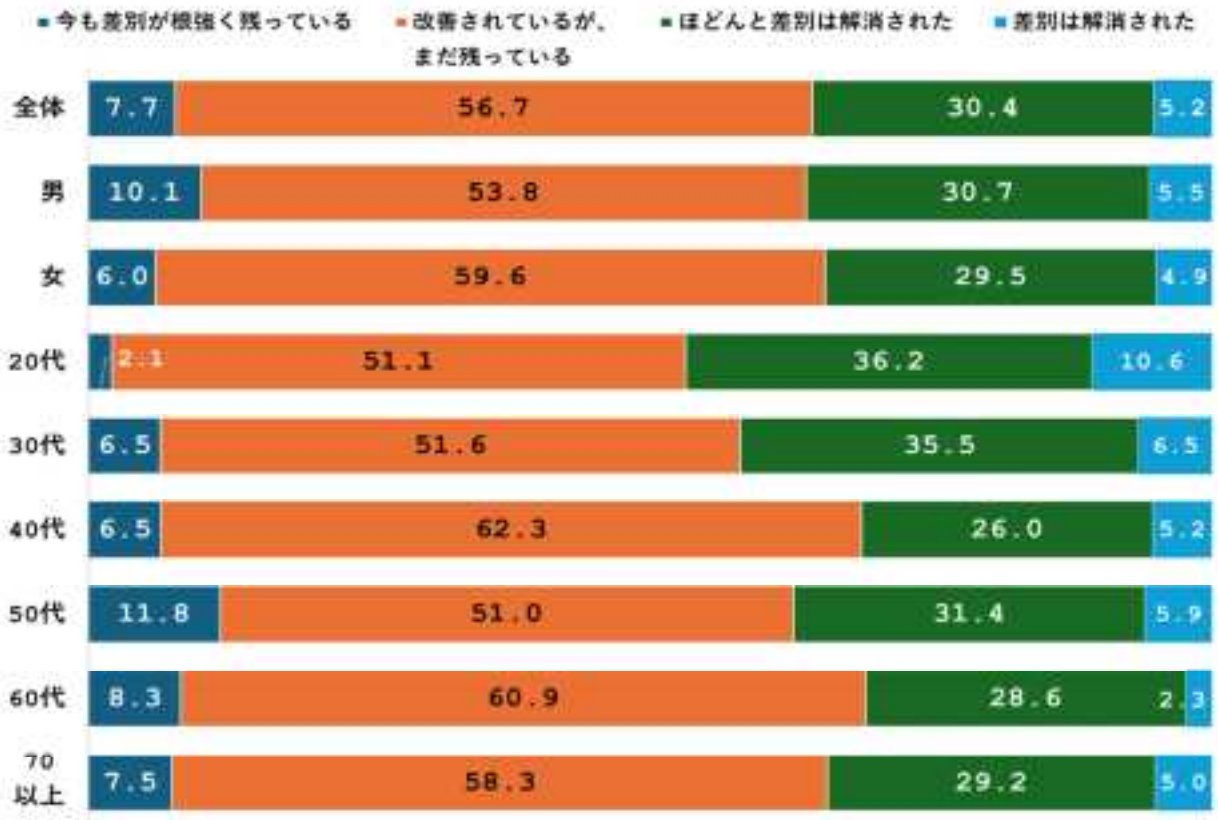
35－9　示現舎・鳥取ループ

35－10　小説『橋のない川』

【考察】

質問 36　あなたは、部落差別についてどのように考えていますか。次の中からあなたのお考えに最も近いもの一つだけに○をしてください。　（回答者数543人：無回答者数20人）

1　今も差別が根強く残っている	2　改善されてきているが、まだ残っている	3　ほとんど差別は解消された	4　差別は解消された
42	308	165	28

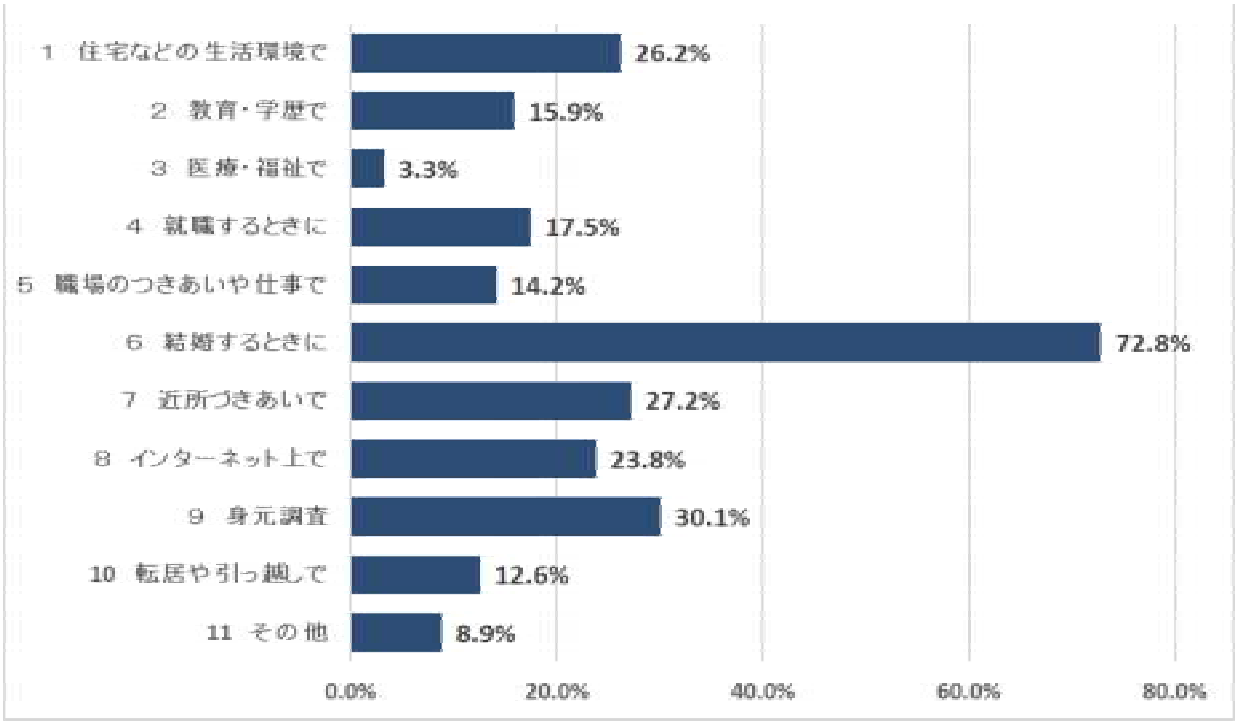


【考察】

質問 37　質問 36 で、「1　今も差別が根強く残っている」か「2　改善されてきているが、まだ残っている」に○をされた方にお聞きします。どのような面に部落差別の実態や意識があると思いますか。あてはまるものすべてに○をしてください。（複数選択可）

（回答者数350人：回答件数767件）

1 住宅などの生活環境で	2 教育・学歴で	3 医療・福祉で	4 就職するときに	5 職場のつきあいや仕事で	6 結婚するときに	7 近所づきあいで	8 インターネット上で（地域や名前の公表・書き込みなど）	9 身元調査	10 転居や引っ越しで（居住を避けるなど）	11 その他
80	48	10	53	43	222	81	72	93	40	25

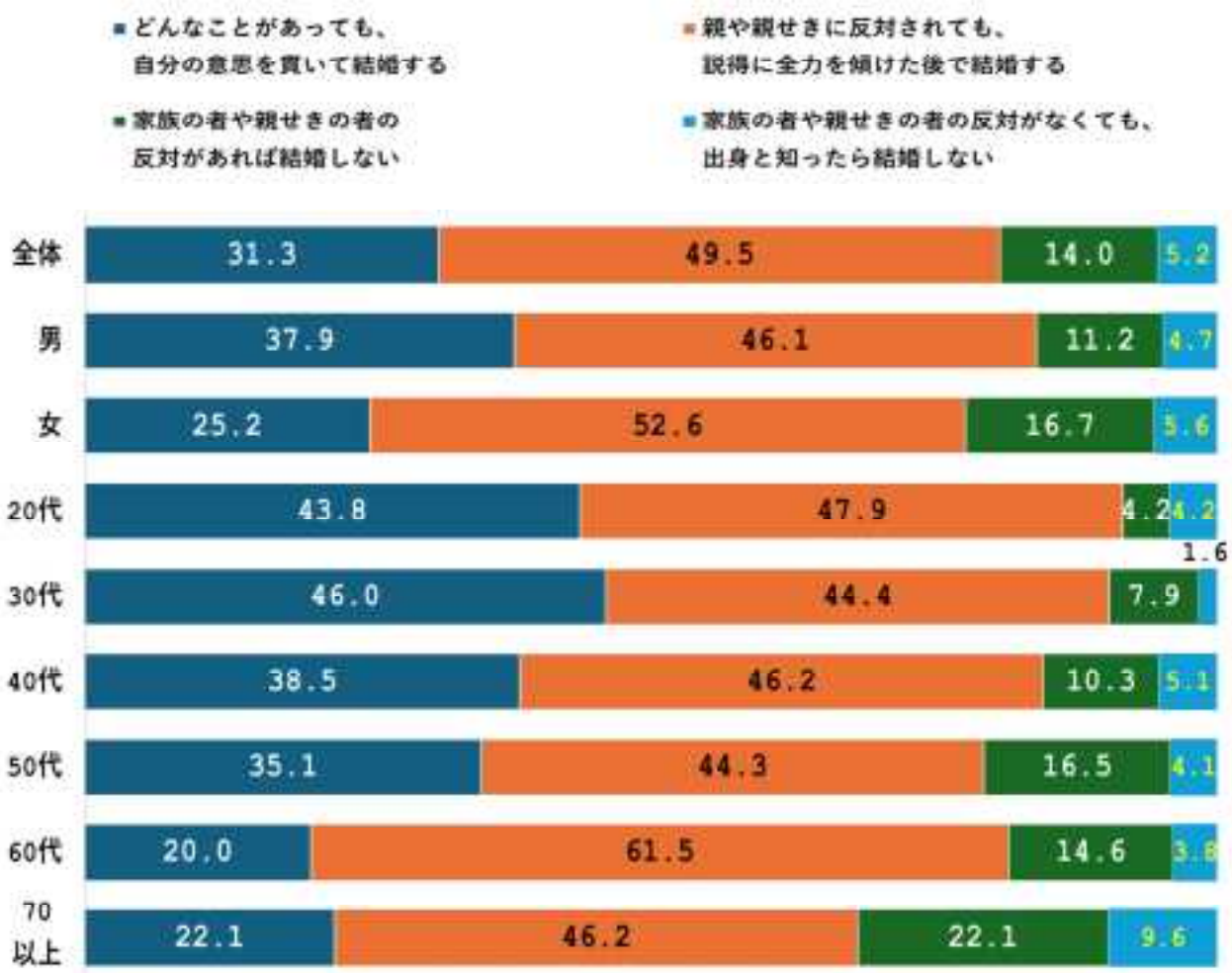


【その他】○このようなアンケートがある時点で、残っているのだと思う（40 代：女性）
○反社会的行動をした人物が、「やっぱりあそこの出身だから」と考えられてしまう（60 代：男性）
○改善されたと思うが、多分根強く残っていると思う（70 代：女性）
○年配の人がまだ差別を特にしている（40 代：未選択）　○実態は分からない（40 代：男性）
○よくわからないが残っていそう（30 代：男性）　○うわさ話で何となく（70 代：女性）
○うわさ、陰口を耳にしたことがある（60 代：女性）　○社会からの待遇（50 代：男性）
○逆差別ではないが、今まで差別されていた側から、いつまでも根強く武器にしているように思う（60 代：女性）
○解放同盟の方がいるということはそういうことかと（60 代：女性）
○若い人でも名字など言う。部落の人は遠いところへ引っ越すしか道がないのでは？（40 代：女性）
○当人の方からお聞きしたことがある（40 代：女性）
○アンケートになること（40 代：女性）
○このようなアンケートを今もあしていること（70 代：男性）
○学校教育でわざわざ掘り返すこと。若者世代で部落を気にしている人はいないのに（30 代：男性）
○部落という言葉が頭に残っている（70 代：女性）
○各地で差別事象が報告されている（70 代：男性）
○被差別部落のことは知らなかったのに、研修会や授業で知ってしまう（60 代：女性）

【考察】

質問 38　あなたの結婚相手が被差別地区（同和地区）出身と分かった時、あなたはどうされますか。あなたのお考えにもっとも近いもの一つに○をしてください。（既婚の方は、未婚だと仮定して、今のお気持ちでお答えください。）　（回答者数521人：無回答者数42人）

1　どんなことがあっても、自分の意思を貫いて結婚する	2　親や親戚に反対されても、説得に全力を傾けた後で結婚する	3　家族の者や親戚の者の反対があれば、結婚しない	4　家族の者や親戚の者の反対がなくても、出身と知ったら結婚しない
163	258	73	27



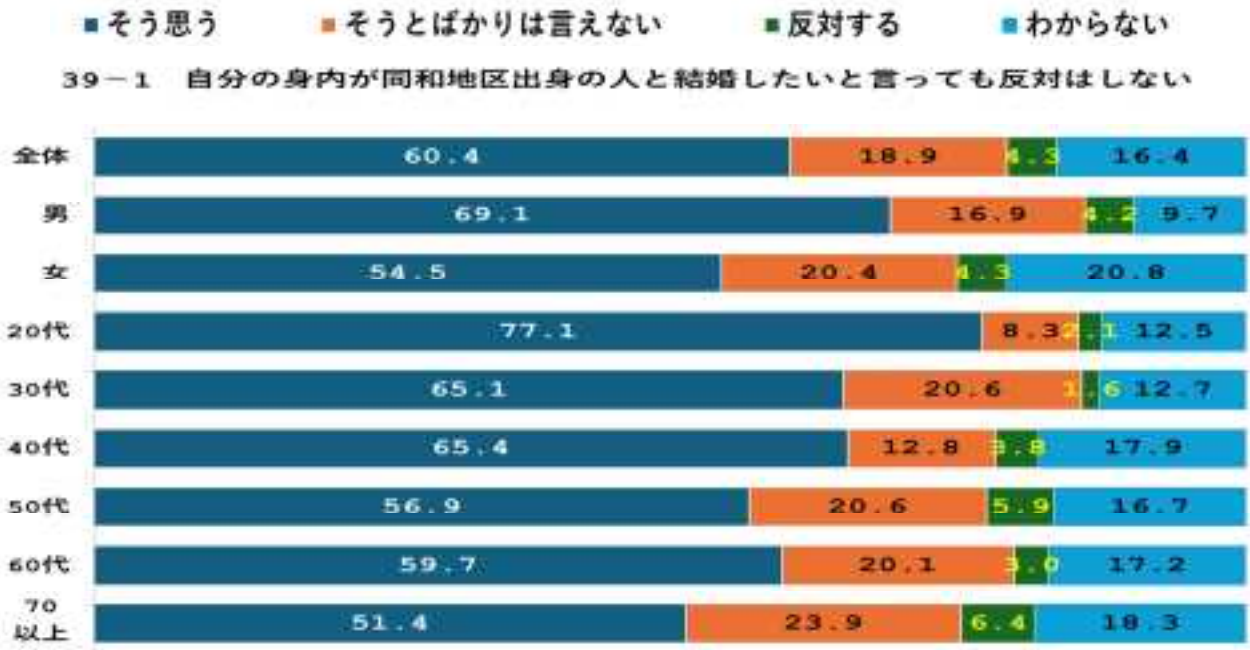
【考察】

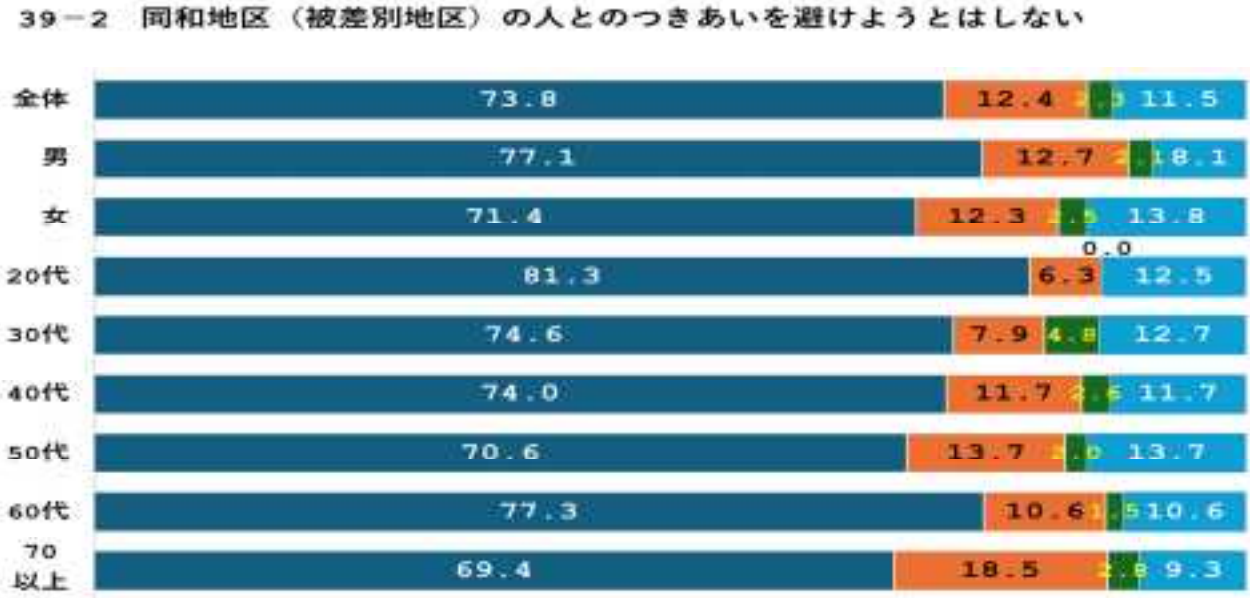
※「結婚」

結婚問題は家庭内の問題であり、プライバシーに関わる問題でもあるため、個別の事例がほとんど明らかにされることはない。そのため実態が見えにくく、対応したり解決策を見出せたりしづらい。したがって、部落差別による結婚差別も表面化されないことが多い。

質問 39　あなたに次のような出来事が起きたとしたら、あなたはどう考えますか。それぞれの項目ごと、あなたの考えにもっとも近いもの一つに○をしてください。（あなたがそういう立場になったと仮定してお答えください。）　（回答者数525人～535人）

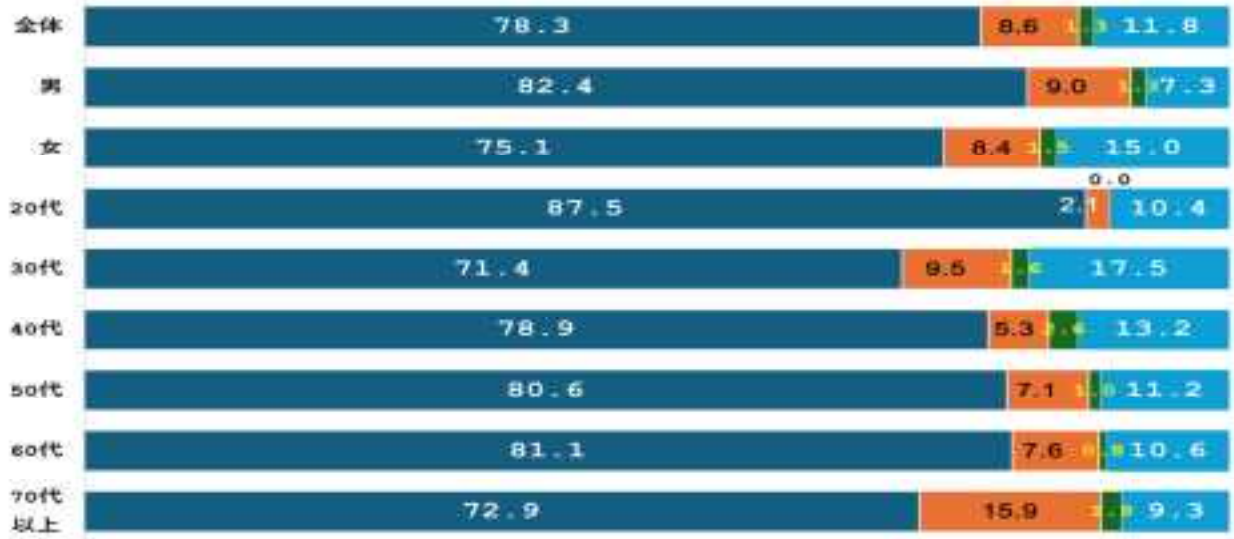
質　問　項　目	全体	そう思う	そうとばかりは言えない	反対する	分からない
1　自分の身内が同和地区出身の人と結婚したいと言っても反対はしない	535	323	101	23	88
2　同和地区（被差別地区）の人とのつきあいを避けようとはしない	531	392	66	12	61
3　住宅の購入にあたって、そこが同和地区かどうかは気にしない	533	261	142	29	101
4　人を雇う時、同和地区出身かどうかは気にしない	525	411	45	7	62





39－3　住宅の購入にあたって、そこが同和地区かどうかは気にしない

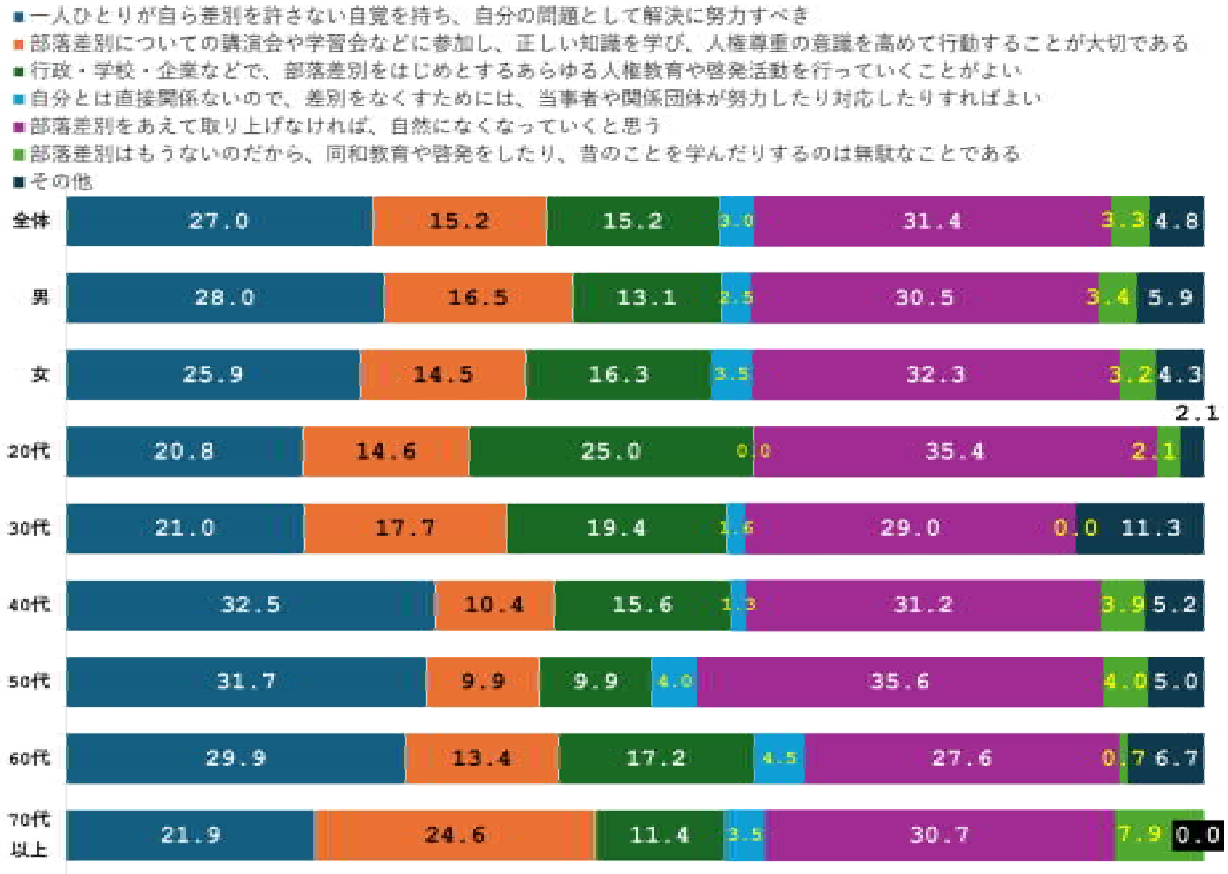
39－4　人を雇う時、同和地区出身かどうかは気にしない



【考察】

質問 40　あなたは、部落差別を解決するにはどうしたらよいと思いますか。次の中からあなたの考えにもっとも近いもの一つに○をしてください。　（回答者数538人：無回答者数27人）

1　一人ひとりが自ら差別を許さない自覚を持ち、自分の問題として解決に努力するべきである	2　部落差別についての講演会や学習会などに参加し、正しい知識を学び、人権尊重の意識を高めて行動することが大切である	3　行政・学校・企業などで、部落差別をはじめとするあらゆる人権教育や啓発活動を行っていくことがよい	4　自分とは直接関係ないので、差別をなくすためには、当事者や関係団体が努力したり対応したりすればよい	5　部落差別をあえて取り上げなければ、自然になくなっていくと思う	6　部落差別はもうないのだから、同和教育や啓発をしたり、昔のことを学んだりするのは無駄なことである	7　その他
145	82	82	16	169	18	26



【考察】

質問 41　東御市が、今後も差別のない人権尊重の社会をつくっていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたが考えるものすべてに○をしてください。（複数選択可）
（回答者数565人：回答件数1564件）

1　講演会や研修会などに参加し、自ら積極的に学ぶ	2　学校での人権尊重の意識を高める教育	3　家庭での人権尊重の心を育てる教育	4　園児・児童・生徒の保護者などへの人権啓発活動	5　地域における人権啓発推進の取り組みの充実（人権尊重のまちづくり市民のつどい・人権啓発学習会・人権セミナーなど）	6　企業などの職場における人権啓発推進の取り組みの充実	7　行政による積極的な広報・啓発活動の充実（広報・ポスター・人権作品展示など）
103	312	191	145	121	124	99
8　移住してきた人の考えや思いを積極的に聞き、行政に活かしていく取り組みの充実	9　住民組織、NPOなどの民間活動団体への活動支援	10　当事者との懇談会や交流会などの開催の充実	11　慣習や社会の仕組みを改善していく取り組み	12　市民の人権意識は高まったので、これ以上の取り組みは必要ない	13　わからない	14　その他
88	42	60	148	39	71	21

【その他】○親がどのように考えているかで、子どもたちは変わってくる（70 代：女性）
○名称にも工夫が必要。あまり「人権」「差別」等を前面に出すと、参加をためらう人もいるのでは？「どの人も大切にされる　大切にしあうまちづくり！」など、サブタイトルで（人権についてのミニ講座）など（60 代：女性）
○全ての国民の尺度を上げることが、時間はかかるようでも近道ではないかと（60 代：男性）
○差別はなくならない。取り組みをしても、全員を差別しない人間にすることはできないでしょう。（40 代：未選択）
○むやみに騒ぐのもよくない。若い人は特に何も思わないが、都市の人が未だに騒いでいると思う（40 代：未選択）
○移住だけでなく、嫁いできた人、20 代、30 代に向けた目線が、若い人に向けの取り組み（40 代：未選択）
○あまり騒ぎすぎるのもよくない（40 代：男性）
○単語にしてグループを特化することがもろ「問題」を読んでいる。すべての人が持つ人権。「自分の持つ人権」を理解できたら、やってはいけないことも分かると思うが、人権等言うと特定の言葉を並べるのが現状（60 代：女性）
○世代が変われば意識、認識も変化し、10 年先ぐらいにはほとんどなくなると思う。部落の問題に限り、これ以上の取り組みはやめた方がいい（60 代：男性）
○講演会とか一歩的に聞いているだけだと退屈だし、心に入ってこないと思う。例えば討論会などで問題を出し合い、解決の方法を探っていくとか（50 代：女性）
○70 代以上の人たちを中心に教育をしていただきたい。高齢者が令和世代、若者世代の考えを知らなすぎる（30 代：男性）
○差別のことをあまり言わない方がいいと思う。普段あまり言わないことです（70 代：女性）
○子どもの頃から触れ合いが大切。子どもに差別はないのをまわりに植え付ける（30 代：男性）

【考察】

質問４２　人権が尊重され、差別や偏見のない明るい東御市をつくるために、あなたのご意見やご要望等がありましたらご記入ください。

○記述者数　　１０７人（回答者５６５人の１８．４%）

複数の人権課題について意見を述べている方をいくつかに分けているため、下記の合計数は記述者数より多くなっています。関心がより高いという結果となった女性の方が、男性より 21%も多いご意見・ご要望をくださいました。

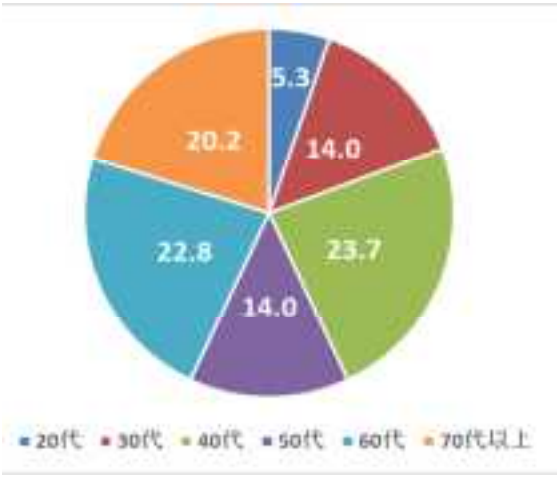
	人権問題全般	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	性的マイノリティ	インターネット	犯罪被害者	部落差別	市への要望	合　計
全体	33	4	5	1	4	2	2	0	0	21	42	114
男性	7	1	3	0	3	2	1	0	0	8	20	45
女性	26	3	2	1	1	0	0	0	0	13	22	68
未選択	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
20 代	1	1	0	0	0	0	1	0	0	2	1	6
30 代	5	0	0	0	2	0	0	0	0	3	6	16
40 代	5	2	2	0	0	2	1	0	0	4	11	27
50 代	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	16
60 代	4	0	2	1	2	0	0	0	0	5	12	26
70 代以上	11	1	1	0	0	0	0	0	0	5	5	23

○記述の内容

人権問題全般	３３人（28.9%）
女性の人権	４人（ 3.5%）
子どもの人権	５人（ 4.4%）
高齢者の人権	１人（ 0.9%）
障がい者の人権	４人（ 3.5%）
外国人の人権	２人（ 1.8%）
性的マイノリティの人権	２人（ 1.8%）
インターネット問題	０人（ 0.0%）
犯罪被害者の人権	０人（ 0.0%）
部落差別	２１人（18.2%）
市への要望	４２人（36.8%）
合計数	１１４人

【男女別】

【年代別】



―　ご記入いただいたご意見・ご要望　―

今回は記入いただいたすべてのご意見をそのままの形でまとめました。ご意見の中には他の内容にもふれておられる方おられますが、内容から判断して人権問題別に紹介します。

□　人権問題全般について

○昔からその地域に住む方と、移住してきた方とで、互いを尊重しながら良い社会を築くことが大切かと思います。（２０代：女性）

○差別や人権の啓発をすればするほど、みんな身構えるし、逆効果だと思う（３０代：男性）

○「人権」という言葉を使うから難しく考えたりしてしまい、あまり興味を持てない気がする。（３０代：女性）

○差別や偏見は無くならないと思います。無くそうとするのではなく、差別や偏見をする人たちに対してどう接するべきなのか、考える必要もあると思います。（３０代：女性）

○自分の家族だったら、自分だったらという意識を持って人と接することができれば、されて嫌なことはしなくなるかなと思う。でも、実際はストレスだとか疲れだとか収入の低さだとか自己肯定感の低さから、全員の人権が守られるという点は難しいところもあると思う。まず自分が満たされていれば、人にも優しくなっていくのかなと感じる。社会が住みやすくなれば、いじめもなくなるのかなあ。（３０代：女性）

○そもそも人権とは何なのか、差別とは何なのか、偏見とは何なのか、それぞれの定義を根拠立てで理解し、共通認識に立った同士が話し合いや活動をしないと、意味を為さないと思う。また、差別されていないいわゆる当事者ではない者が差別をなくすための活動をするのならば、その動機が本当に純粋なものであるか、金目的になっていないかを自分自身に問うて、心も実態もそうではないことを公に証明していくべき。（３０代：女性）

○学校や家庭で正しい知識を伝える。家庭からも偏見のない見方を伝えるために、大人に向けても義務的に学習会があると良いのではないか。職場でそういった学習の機会を設けると良いと思う。（４０代：女性）

○差別のほとんどはデマによるもの。部落差別の「血が穢れている」のようなことが、最近は「フクシマは汚染されている」となっている。科学的に問題ないレベルだったことが証明されて、安心するところなのに、利権者にはそうではない。ロシアですら問題無いと言っているのに、未だに処理水を汚染水と言い続けている人たちがいる。マスメディアも政権批判目的で騒ぎ続けている。傷つくのは政府ではなく現地の人々だ。コロナに関してもいろいろあった。未だにワクチンデマがあってうんざりする。マスクに関していえば、２～3 年前はマスクをしていないと叩かれ、現在はマスクをしていると叩かれる。前者はまだ公共の目的があったから仕方ないのだが、後者は本物の差別になっている。マスクをして人に会いに来るのは失礼だ！と言い出す人が本当にいる。（４０代：男性）

○職場と自宅の往復の日々なので、東御市の人権への取り組みを問われても正直「よくわからない」という回答しかできませんでした。日常人権を考えさせられる場面は、テレビから、あるいは、仕事をしている時です。特に児童ポルノの実態についてのＮＨＫ番組には、おそろしさというか不安になりました。多くの子が人の持っているスマホの活用法については、学校と家庭がそのメリットとデメリット、犯罪例など、発達に合わせた内容でていねいに学習の機会を作っていけるといいのかなと思いました。（４０代：女性）

○県外移住者の自分や知人の意見ですが、ここでは男尊女卑が目立ち、障がいのある子どものことを隠す傾向が強いように見受けられます。県外ではそのような様子はないので、社会からかなり遅れている町だなと思われているという事実を受け止めるべきではないでしょうか。

上記の問題点に対する意識を変えることで、他のＬＧＢＴＱや部落差別などに対する差別や偏見を持っている心を自ら問う力が養われ、解消に繋がっていくと考えます。（４０代：女性）

○家庭での人権にもっと取り組むべき。特に子どもたちを虐待から守ってほしい。家事の役割も、男女で差があり、男性は３割～１割、女性は７割～９割だと思う。他の人権問題も大事だが、子どもの頃から教育していくべき。大人になると、自分たちの事で精一杯。当事者になって初めて自覚する。もっと、気軽に相談できる世の中になってほしい。個人情報の漏れの心配で相談しづらいのかも。（４０代：女性）

○人間はワガママな欲の塊で、常に他と優劣したがる生物。人間が人間として生きていく上で、必ず差別区別は発生する。無くす事は不可能。心で思っても、発言や行動を抑止する人間を増やす為に、義務教育低学年時の他人を思いやる心、やさしい心を育む事が重要だと思います。大人になってから教育しても、完成された性格は変わらない。（５０代：男性）

○世間話で嫌な思いをしたことがあります。こちらが必要としていない情報をただ一方的に聞かされたのですが、結局は噂話やちょっとした一言によって人権が損なわれているところが大きいように思います。家庭でも社会でも大小関係なく、自分の発言を大切にすることが大事だと思います。（５０代：女性）

○子どもたちが色々と交流して、みんな同じ人間なんだと自然に感じてほしい。差別を受けている人たちの意見や、その人たちの希望を取り入れていってほしい。これからの高齢化が怖い。地域でも家庭でも問題になっている。知識をもっと知りたい。（５０代：女性）

○時代の流れなのか、差別という言葉が安易に使われているように感じる。何をもって差別となるのか？例えば、話し手はそう思っていなくても、受け取り手が差別だ！！と言えば、それは差別になってしまう。それと、差別用語を知っていて使うのはもちろんよくないけれど、私の年代の人たちは差別用語自体ほとんど知らない世代に近い感じがします。（祖父母がいた場合はまた違うと思いますが）何でもかんでも差別だ！！という風潮は良くないと思う。人、人種の交流、調和、コミュニケーションが大切だと思う。（５０代：女性）

○差別、人権、部落問題は、小学校中学校などで勉強してきたので自分なりに納得して生活してきたように思います。我々が勉強したころよりは、今は世の中住みやすくなったように思います。（５０代：男性）

○ラフなコミュニケーションの場があることで、次のステップに繋がって行くと思います。（５０代：男性）

○差別はあってあたりまえだと思う。どのような差別がよりいけない事かは、自分自身がよく考えて行動すれば良いと思う。（６０代：女性）

○どんな差別も正しい知識と相手の立場を自分の事として考えられる心のゆとりのある考えがもてる自分になりたい。最近日本人はやさしいとかネットによく書かれていますが、生活の豊かさが相手を思いやれる人間になれると思うので、日本人もっとがんばれ！！（６０代：女性）

○小学校入学前から少しずつ学ばせたい（紙芝居等）（６０代：女性）

○いつまでも止まっていないで、大人たちが前に踏み出さなければいけないと思う。産声を上げて、未来に希望がある子どもたちに過去にあったつらい話を根強くするのではなく、これからの未来を照らして行くことを、差別された方々が、変えていかなければ、いつまでもこ

のテーマは続くと思います。（６０代：女性）

○日常の会話の中で、差別用語や差別事例を話す人がいなくなった。何事もなかったように時が過ぎて行けばよいのだが、人の心は変わらない。今は色々なハラスメント対応も必要だ。（７０代：男性）

○昔と違い、今では部落差別ではなく、人権生活面での差別が多くなっているのではと思うが、自分自身が高齢者となった今、皆が寄り添う社会で、心優しい人間関係が強くなれば良いと思います。こころがけて地域のつながりを大切にしていきます。（７０代：女性）

○皆さん平等です。自分の立場と思って、人情のある、お互いを思いやる心で生活したいと思います。（７０代：女性）

○皆が楽しく暮らせる世の中になっていいと思う。人権差別のない暮らし。（７０代：女性）

○陰口の多い社会だ。（７０代：男性）

○家庭や学校でいじめのない教育に力を入れていければよいと思う。（７０代：女性）

○差別用語をなくしていくには一人ひとりが自覚してなくしていくことだと思います。若い人たちの世界になった時に、反省として見る時が来るようになれば良い時代になったと思えるでしょうね。そうなりたいものです。（７０代：女性）

○年代の高い人達がまだ偏見や差別をすることがあるように思います。若い人達に、正しい知識をきちんと伝えていくことが大切だと感じます。（７０代：女性）

○人が集まれば十人十色で、すべてを受け入れられる人の方が少数である。気持ちの中で差別や偏見に近い思いがあるのは人として当然で、表立って表現するのは良くないと誰しもが思っていると思う。人と仲良くしたい、人のために何かできることはないかと思うのは、人としての本質ではないでしょうか。その為には、個々の人が幸せを感じていることが大切だと思う。よって、孤立しない、させない集団になれば良いですね。（７０代：女性）

○まわりの人達と仲良くしていたら、自然と人権尊重され、良くなると思います。（７０代：女性）

○一朝一夕でどうにかなるものではないし、個人の考え方の問題なので、時間をかけて少しずつ変えていくものだと思います。市ができることは、そういう細かい事にしっかりと対応していくことだと思います。市が「人権」というものを大切にしているだけでちがうと思います。（７０代：女性）

○人間は皆平等と言う心の持ち方を忘れずに何ごとも取り組む事！（７０代：女性）

□　女性の人権について

○公衆トイレや温泉など女性が守られているのか疑問に思います。多様性多様性とここ何年か議論になっていると思いますが、実際変質者はいるので、心は女性と偽り犯罪をする人はいます。男女差では女性は絶対に男性には勝つことができません。公衆トイレや温泉だけでなく、女性と子どもが守られる社会になるといいなと思います。（２０代：女性）

○近年の若い世代は、非常に人権意識が高くて、とても良い傾向だと思う。平等や差別というのはバランスなので、常にバランスを取らないといけない。そのためにも、ある特定の要素で語ってはいけない。例えば、「女性」もそうだが、昔女性が差別されていたのは事実で解

決すべきものだった。だが、今はむしろ女性優遇で男性不遇になっている。しかし、利権化しているので、いつまでも「女性が差別されている」文脈で行われる。その結果、大学でも企業でも管理職の「女性枠」が作られて、若い男性が虐げられている。本当に現状の管理職が男女差別の男性優遇で出来てきたものだというのなら、一旦すべてリセットして選び直すべき。そうせずに、現管理職を温存して、これから管理職になる若い世代で女尊男卑を行うのはおかしい。（要は、年配男性と若い女性が結託して、年配女性と若い男性を差別している構図）（４０代：男性）

○私は女性です。母親から「女性のくせに」といわれる生き方はするな、と言われて大きくなりました。こういった考え方は、変えろと言われてもなかなか変わりません。おそらく世代がかわらないと無理でしょう。私は娘には、母に言われた言葉は言いません。男とか女とかでなく、一人の”人”として生きてほしいと思っております。（４０代：女性）

○１９７０年代に当地に嫁に来ましたが、姑にあたる人の風当たりが厳しく、嫁に対する態度は非常に冷酷なものがありました。妊娠していても、通常より厳しく当たられ、中毒症であっても家事は容赦なく押し付けられ、苦しい生活でした。いつも見張られ、中傷を言われ、主人のきょうだい達よりも見下され、これでは女中の方がましではないかとも思われ、（給金がいただけるだろうから）しかし、私は使いたい放題の人間であり、下女であり、お風呂に入らせてもらう時は、姑はお風呂のお湯をさらに水を入れてすごくぬるくして（冬なのに）いじめにあったようなことをされたり、家族の仲間に加えられずに美味しいものの分け前もごくわずかということもありました。農業でしたので、つらいこともたくさんしました。姑のいたわりの言葉はまったくなく、「ぐずぐずするな」と言われ続け、嫁に入った家を出たい気分を抑えて今まで生きてきました。私は息子の妻にあたる嫁にそんなことはしたくないとつくづく思っています。（７０代：女性）

□　子どもの人権について

○差別を隠れ蓑にした反社会勢力にも注意しないといけない。差別されているといった大義名分で、相手の権利を阻害してよいものではない。例えば、子供差別を掲げた言論弾圧。児童ポルノは問題だと言って漫画の中の性的表現を規制しようとする人たちが出てくる。しかし、児童ポルノの問題はポルノ表現にあるわけではなくて、制作のために現実の子供が被害にあうことだ。現実に被害者が存在しない絵である漫画を規制する必要は全く無い。彼らは気に入らない表現を規制したくて子供差別を利用してるだけに過ぎないので、本当の実在の子供の被害者には目もむけない。（４０代：男性）

○差別や個人個人を評価するのが生き物である。子供などを無理に押さえ込むのは後々良くない方向にも行きかねない。今の子供を見ていると、そういう事がなさ過ぎて気持ち悪い。感情を抑え込まれてしまっているように見える。勿論、全体でいじめをすることは社会でもあってはいけない。いじめっ子がいたり、いじめられっ子がいたり、助ける子がいると言う形も大事では無いでしょうか。（４０代：男性）

○小学校へあがってきた子どもは、泣いているクラスの別の子をかわいそうに思えるのか、そうでないのか、およそ決まってしまっていると思います。つまり、人権意識は就学前にはおおよその方向が出来上がってしまっているということです。それを育むのは、やはり親ということになると思います。学校、社会における人権教育に加え、家庭教育（子を育てる親に対する教育という意味での家庭教育）を充実させていくことが大切だと思います。子どもは、親の言うとおりにならない。子どもは親のするとおりになる。ということを親に理解させたい。（６０代：男性）

○子どもの頃からの人権を尊重し、差別、偏見を持たない様にする教育は大切な事だと思います。知識がないことで差別が生まれる事があると思います。（実際あります）皆が同じである必要はないです。みんな違っていいんです、機械ではないんですから。思いやりのある子

どもが増えればいいですね。年は皆平等に重ねて、高齢者になります。皆が通る道です。色々な道があっていいはずです。いろいろな道否定してはいけないと思います。悲しい思いは誰にもしてほしくないです。（６０代：女性）

○部落差別の事はよくわかりませんが、学校でのいじめで命を落とす記事があります。市・学校・親が小さい時からいじめがどんなにいけないことか教えなければいけないか考えさせられます。（７０代：女性）

□　高齢者の人権について

○寝たきりの高齢者の人権にも目を向けてください。マイナンバーカードもマイナ保険証も取得が無理です。在宅介護で、保険証がどうなっていくのかとても不安です（往診とかあるので）寝たきりの高齢者や重い障がいの方のマイナ保険証は、どう対応していくのか、東御市としての対応を広報等で知らせてほしいです。（６０代：女性）

□　障がい者の人権について

○知的障がい者のある本人には、このようなアンケートは理解できません。他の人に回答していただいた方が良いかと思います。母親（３０代：女性）

○差別を無くす。そのために健常者と差別を受けた方との扱いに差を付けてはいけない。もちろん、障がいがある方が助けを求めるのなら積極的に助けるべきだが、求めていないのに勝手に共感し、哀れみ手を貸すのは違うと思う。しかし、現状では行きすぎた対応をしている場面が見受けられると思う。（サービス業関連）行きすぎた対応はそれこそが差別に繋がると思う。障がいのある方だって、マナーや法律を破る人はいる。それを障がいのせいにして裁かれないというのは、おかしなことだと私は思う。「障がいがあるから仕方ないね」「察してあげよう」このような考えで対応することこそが差別だと思う。健常者でも家庭の事情、親の教育方針、貧困などの理由で支援を受けられず、泣き寝入りする場面は沢山ある。かたや障がいがあっても手厚い支援を受けているところをみれば、そういった人から「なぜ私も苦しいのに障がいがあるだけで助けてもらえるのだろうか」と思われかねない。その時点で差別は深刻化していくのである。障がい者、健常者全ての人は地球上に生まれた以上、どこまでいっても平等であるべきだと思う。しかし、公平ではない。その差が差別だ。誰にだって公平に思えないことは多々ある。人間には感情があるからだ。人間、十人十色、色々な人がいるからここまでの文明を築いてきた、そこには感情があったからだし、それがなければ成長もしない。人は痛みで成長する、戦争は無くさなくてはならないが、過去の大戦があったから今の日本がある。人間の感情は簡単には表せない。差別がどうだこうだ言ってる時点で差別は無くならない。そういった歴史の上に現在があるのだから。他人に迷惑をかけないよう生きてけば大事にはならない、かけてしまったら謝る。上手く空気を読めば傷つかない。結論、差別は無くならない。（３０代：男性）

○きれい事で済まされないデリケートな問題が、多々ありそうです。例えば、知的、精神的（特に人格障害者）のハンディを持つ人物から、トラウマになるような仕打ちを受けた方は、一生その心の傷を負い続けることがあります。当然、反感を持ち続けます。でも、そういう人に対して「それは良くないよ」といっても、心の傷は消えません。それだけでは何の解決にもならないのです。『トラウマ体験→心の傷』を軽くするケアも必要になります。（６０代：男性）

○いろいろと質問事項ありました。改めて物事について考えるこの頃です。ただ、私が思うのは「障がい者」という言葉がつっかかります。健常者と障がい者、言葉に表すとそのままですが、当事者としては、私が何かかけているのか（健常者との比較かもしれませんが）もっと垣根を超えた言葉がないものか日々思います。また、みんなが感じない「単語」はないでしょうか。社会のガイドラインとしては、適切な単語「健常者」「障がい者」ですが、もっと法的書類な言葉でなくないものか、考えて動く（行政として）時期ではないかと感じま

す。あなたが、私が、障がい者というくくりを感じない言葉ないものかと感ずる頃々です。（６０代：男性）

□　外国人の人権について

○外国人差別の事がありましたが、逆に優遇されてると思う。例として、在日特権（減税、通名、特別永住権）など。日本人になかなかおりない生活保護を外国人には簡単に許可する。運転免許証も簡単に許可する。難民申請中は国費（税金）で面倒を見る。税金を納めているか不明。不法滞在で何年もいられる（素性を確認しているかどうか）。訳の分からないワクチン、海外に比べて圧倒的に多い食品添加物。外国産輸入物による日本の農業者、産業、工業潰し。外国人の土地取得、害しかないメガソーラー、こういうことを踏まえて日本人の方が冷遇されていると思いませんか？こういうことを地方から徹底的に命がけでやらなければ、もう待ったなしの状態に来てると思います。私たち日本人が外国に行ったら、その国の言葉でなくてはやっていけません。外国人にも日本のルールを守ってくれる人を望みます。（４０代：男性）

○最近話題の川口市のクルド人問題。ＮＨＫが外国人差別として扱っていたが、そもそも犯罪者である。犯罪者を排除するのは差別ではない。公的機関は及び腰にならずに、きちんと対処して欲しい。今のままだと、きちんとしている外国人の方々まで不信の対象となってしまう。（４０代：男性）

□　性的マイノリティの人権について

○子供には、差別や偏見の心なく目の前の事をありのまま受け入れ理解する力があると感じます。家庭に任せず、ぜひ学校教育に人権教育を積極的に取り入れていただき、子供たちに正しい情報を適切に伝えることが重要だと思います。特にＬＧＢＴＱに関して、これは子どもたち自身が当事者である事が必至である以上、他でもない自分自身を苦しめ差別することが無いように、多様なセクシャル多様な生き方があって間違いじゃないんだよと学校教育として教えていただきたいです。女性やセクシャルマイノリティ当事者たち、障がいのある人、今まで不利な立場にいた人たちが同じ権利を獲得する未来を望んでいます。（２０代：性別未記入）

○ＬＧＢＴに関しては、近年は明らかにおかしなことになっている。「男がスカート履いていても別に良い」のが本来の多様性であって、近年の「スカートが好きなら心は女だから性転換すべきだ！」というのはおかしい。（４０代：男性）

□　インターネット問題について

※意見記述なし

□　犯罪被害者の人権について

※意見記述なし

□　部落差別（同和問題）について

○私は主に中学から大学にかけて人権問題を学んだ記憶があり、これからも授業で取り扱っていくべきだと思う。個人的には、小学校からも人権について詳しく学びたかった。部落差別が解消されつつあるからと言って、授業等で取り扱うのをやめることは反対する。現代はインターネットが普及しており、偏った情報に触れやすくなっていると思うので、行政や学校等で正しい情報を発信していくべきだと考える。（２０代：女性）

○鳥取ループ・示現舎のことをこのアンケートで初めて知りました。このように掘り返すことで、部落差別への関心が高まることもありますが、すでにループが晒してきたこともあるの

で、そのバランスが難しいと思います。あえて触れなければ消えていくのでは？助成金などを出すことで、特別扱いしていることがまだ差別を残している一因では？（２０代：女性）

○アンケートにあった差別や偏見、いじめは、学校での教育や講演会や研修会など、積極的に行うべきだと思うが、部落差別については、取り上げなければいずれなくなると思う。そういうことを気にするのは、じいさま、ばあさま世代だと思う。若い人間は全く気にしてないと思う。自分も含め、そういうのがあったっていうだけで、どこがどうとか知らないし、今生きている人にはその部落だとしても関係ないでしょう。そういうことを知っているじいさま、ばあさま世代が亡くなった時、誰も知らないことになるんじゃないかと、安易かもしれないがそう思っている。（３０代：男性）

○人権が尊重されるためにも、区別・差別は必要だと思う。基本的に何も考えずに優しい世界になればよいと思う。部落差別って言葉、はじめて聞いた。気になった。知ってしまったら差別してしまうかも。良い差別ならいいけど。あまりシゲキしない方が良いと思う。普通に困ってる人がいたら、助けるぐらいの感覚で良いと思う。（３０代：男性）

○学校などで自己肯定力や自己肯定感を上げる教育をしてほしい。いじめ、差別、偏見はそれらの低下で引き起こされると私は思う。（３０代：女性）

○部落差別って今もあるんですか？続いているんですか？東御市にもそういう地域があるんですか？あったんですか？こういうアンケート、また部落差別の質問がたくさんあるってことは今も問題が…？疑問が浮かびました。（４０代：女性）

○部落差別は学校で学ぶ事で、知ってしまうと思います。言わなければ自然と知らないで終わるものを、改めて教えている感じです。学校で部落差別を教える時間を時代にあったネットでの被害や差別のやめ方を教える時間にしてもらった方が良いと思います。むしろその様にしてもらいたいです。（４０代：女性）

○被差別部落の中には、差別問題がなくなっては困るという方もいると思います。（取得権益を守るため）（４０代：男性）

○ＰＴＡの活動で、人権研修、セミナーに参加し、とても学びに感じました。学校での人権、特に部落についての学びが少ないと感じています。人権については、義務と権利と混ざってしまっているように思いました。学習会では、インターネットのＡＩを使った印象操作、顔や名前が特定されないＳＮＳ上の暴言や差別と共に、部落の歴史についてと内容が豊かすぎるので、インターネット/部落/日常生活と分けて学習できる方が理解しやすいのではと思いました。若い方や海外の方、他県から嫁いで来られた方の中には、部落という言葉を知らない方も多くいらっしゃり、当事者の方々にも時代にあったアプローチをして欲しいなと思いました。（まったく知らない人からすると、特殊なケースとしか受け取れなかったと聞きました）セミナーでは、ちょうど豊殿の認知症の方がテレビで特集されていたのを見た後だったので、よりお話がわかり良かったです。（４０代：女性）

○差別や偏見のない社会とは平等にすることであり、それができないため人権・差別問題の窓口（相談所）があると思います。様々な人々がいるため、問題を解決することは困難であり、意識調査の必要性が感じられません。大きく感じたことですが、部落差別について未だに取り上げられることなのか、私の中では疑問です。差別については続いていることは承知していますが、もともとの始まりから考えても今の若い世代へ発信して差別問題を継続させたいのか？現社会においても行政自身が一般と棲み分けし、差別化されている以上は差別をなくしたくないように思えてしまいます。私の友人も部落の方でしたが、今回のアンケートで嫌な思いをする人の人権も守ってもらえたら幸いです。（５０代：男性）

○私個人としては数百年前の社会制度のことを引きずることは非常にナンセンスなことだと思っています。部落差別の意識が解けない人たち、また自分は常にマジョリティの側にいると思い込んでいる人たち。このような人たちは当時の社会的背景を冷静に分析することも、また自身とは異質な移民やＬＧＢＴへの理解も困難と思われ、新たな差別や人権問題の火種になるのでは！？と危惧しております。対策としては、まずは年齢が高い層の意識を変えることではないでしょうか。生まれたばかりの子供たちは何も知らない。上の世代が不正確な情報を下の世代に吹き込む。それが繰り返されると、いつまで経っても差別や人権問題は解消しない、進展しない。歳をとればとるほど考えを変えるのは難しいですが、「自分が常識と思っていることは、実はどこかの誰かの都合で決めたこと、発言したこと」、ただそれに乗っかっているだけ。そういう目の覚めるようなセミナーなり活動を地道に続けることが必要だと思います。（５０代：男性）

○人権や差別問題に関しては、テレビやネットで騒がれているので、世間でも問題視されているが、部落問題に関しては、現在、昔のことを知っている年配者が知っているだけで、若い人は知らないと思うので、時と時間がたてばそのうち無くなると思います。また、人権問題に関して活動されている方々には、今後も頑張って活動される事を望みます。（６０代：男性）

○同和教育の事は、これから生まれてくる子どもに改めて伝えていくのが良いのかわからない。同和の話をしなければわからないまま育っていくのではとも思ってしまう。難しい問題です。（６０代：女性）

○平和な生活を過ごすには、相手の気持ちを考え、発する言葉を大切に行動することが良いと思います。あいさつも大切なこと。よい習慣になる。（６０代：女性）

○知人ですが、15 年ほど前に解放同盟の方が事務所を訪問され、書籍の購入を求められ断ったら、後日、何人かの同盟の人たちが事務所に押しかけて来て、大変怖い思いをされたと聞いたことがあります。50 年ほど前には、八鹿高校事件など暴力的糾弾があり、少数者は常に正しいわけではないと考えたことがありました。いずれにしても差別反対です。そこからは憎しみか生まれないからです。しかしながら、「差別」というワードを悪い意味で武器に使う人達もいるのが今の社会です。日本人は「差別」というと引く人が多いからです。なんとも難しい問題です。（６０代：女性）

○部落差別は知っている人が少なくなり、改善されてきていると思います。実際は、どうなんでしょうか。でも色々な差別、いじめ、ＳＮＳでの誹謗中傷など人権侵害な事がたくさんあると思います。特に最近、人を傷つける事が平気な人が多くなったと思い残念です。学校でも人権に関する授業はしていると思いますが、小さい時から学ばせる事が大切だと思います。（６０代：女性）

○かつて、行政のその道の責任ある立場の人が、自分の娘の結婚に反対（家柄）し通し、結婚式にも出なかった例があった。口では差別はいけないと言い、実際には差別していた。恥ずかしい話だ。自分はそういうことはしたくないと考えている。（７０代：男性）

○生まれがどうであれ、一人の人間なのだから、そっとしておけばそのうち何もなくなるのではと思う。このようなアンケートを取ることが、そもそも間違い。知らなくて良いことを知ってしまう。特に若い人たちには必要ないことなのではと思います。ぜひ、講演会、勉強会などはしないでほしい。そうすれば知らないまま忘れるのでは…。人として平等として生きましょう。（７０代：女性）

○高齢者は部落差別等に拒否反応を示す方が多いように思う。若い方々を対象に勉強会を行い、家庭内や学校で子ども達に差別や偏見とは何かを学ぶ機会を与えることが必要だと思

う。（未来に期待したい）悲しい事だが今後も差別や偏見はなくなる事はないと思うが努力していくことは必要だと思う。（７０代：女性）

○人権、差別は歴史的に長い間改善されずに社会の仕組みとして解決されずにいました。戦後、国が新しい憲法を設置し人権宣言をしましたが、社会に根付いた思想は簡単には解決しません。時間をかけて根気よく取り組んで、国民一人一人が肝に銘じて解決し、明るい希望のある国にしたいと思います。娘は部落出身者と結婚し、2 人の孫がいます。愛する家族です。（７０代：男性）

○みんな忘れているから、あまり言わない方が、皆さん普段思ってないから。どうかすると悪いことをするから、あらっと思う。後は、人と人との思いだと。こういうアンケートはいかがなものかしら。（７０代：女性）

□　市への要望

○人権同和についての講演会などについての周知を強めていくことが必要だと思います。（２０代：男性）

○今の子どもたち、若い世代は多様性を知っています。高齢者の方々の昔からの考え方を押し付けたり、偏見を改めればもっと良くなると思います。時間のある７０代から上の方々への啓発が大切だと強く思います。東御市の条例については、全く目にする機会がありません。ＰＲしていないように思います。（３０代：男性）

○羽毛山地区の住民全体への説明は無く、一部の区長等役職の人達だけから了承を得て、建てたとされるバイオマス発電所は人権侵害と言えるのでは？しかも、放射能汚染されている木材を燃やし、東御市広域に広がる可能性のある煙を排出するのは人権侵害といえるのではないでしょうか。（３０代：男性）

○市内で何らかの差別を見たとき、役場のどこへ伝えたらいいのか、広報などで SOS 電話番号を周知させるべきではと思います。（３０代：女性）

○男女の性別記入は必要ない。（３０代：女性）

○色々な考えがあり、言論の自由があることを踏まえて、講演会を開くべきだと思われる。安易に今のトレンドを抑えた講演会を企画しがちだが、講演会を開催することが、実績づくりとなっているのでは。それは誠実な対応とは言えない。言論の自由があることの意味、日本の歴史的成り立ちや背景を踏まえて（神話の世界から女装、男装の物語が始まること）、欧米の考えを無条件で輸入することが本当に正しいのか考えるべき。（３０代：女性）

○制度作成時には必ず当事者に意思決定に関わってもらうこと。また、マジョリティが特権を自覚すること。特に、男性で働き盛り、家事家庭を女性に任せているような方こそ、自覚を促すような取り組みが必須と考えます。一人ひとり同じ権利を有しているという前提が共有されており、それを侵害されたらきちんと声をあげられる、健やかな関係性がある東御市により進んで行けることを願っております。（３０代：男性）

○実際に講演会に参加した際、お二人講師の先生がおりましたが、限りある時間だったためお一人のお話ししか聞けず…時間の配分がなぜなかったのかと思いました。時間を取れなければお呼びするのは失礼なのではないかと思います。呼ばれたのに話ができなかった講師の方の気持ちを考えると、どんな思いで講師にこられたかといたたまれない気持ちになりました。（４０代：女性）

○差別や偏見を「暗い」とし、暗さを消すという意味での「明るさ」を目指すなら、根本的に考え方を改めた方が良いと思う。明るい、暗い、混ぜこぜで、どんな人が居てもよい、そう

思える場所（ある意味、逃げ場作り）が必要だと感じる。そのためには、どんな人間が居ても「大切にされている」と思わせる空気感がなければならない。首都圏から移住したが、東御市には風通しの悪さ、窮屈さを感じる。原因は逃げ場がない。図書館、文化施設、古い街道の一角、裏街道、公園‥つまらない。勿体無いくらい放置されている。（なぜ？）そもそもマイノリティの方が自由に表現できる場所を作ってみては？ライブハウス、映画館、芝居小屋、イベントハウス、ギャラリー。街角に発信拠点が出来れば、自ずと魅力が伝わっていく。気軽に誰でも足を運べて楽しめる、どんな人でもここに居ていいんだ、佇んでいたいと思える心のオアシスのような場所や企画、ノリがあって良いと思う。移住者が営む飲食店、カフェ、民泊などには良い場所がたくさんある。地域おこし協力隊の方も魅力的なのでノウハウは得やすい方。まずは暗い部分を肯定し、認め、存在して良いとすること。多種多様な存在を認め合う空気感は、ベンキョーじゃなく肌感覚。（４０代：女性）

○もちろん、差別をなくすことは大切だと思いますが、このアンケートにもあがっている高齢者、障がい者、ＬＧＢＴＱの方への支援が多く、普通に一生懸命暮らしている一市民の人権も大切にしてほしい。他の県では、多目的トイレを作るために女性トイレをなくすとか、高齢者が放課後の学校のグラウンドを使用するため子供のボール遊びを禁止するとか、ＬＧＢＴＱの方が入浴するため、男性や女性が入浴するのが躊躇するなど、一市民がまず人権を犯されない街づくりもこれからも続けていただきたいです。新しいアパートに越してきた時も、ご近所の長らく住んでいる方が野焼きや歩きタバコをしていて、長く住んでいる方のため、狭い地域だし言ったことがバレれば何されるかわからないと思い、誰にも相談できないこともありました。ルールを守っている一市民がまず守られていると感じていると、他の方が優遇されていたり環境改善に費用がかけられたりして反対やずるいなどの意見がなくなり、差別や偏見もなくなっていくのではないでしょうか。（４０代：女性）

○「差別や偏見をなくす」活動に労力を使うのではなく、思いやりの心を育む教育と、助け合える仕組み作りを目指して行くべきだと思います。（４０代：男性）

○人権と一言で表すと簡単そうだが、その中身は実に広範囲であるという視点から、具体的な政策を実行していってほしい。（４０代：男性）

○日頃から市長始め、職員の皆さんの懸命な働きに感謝しております。しかし、一部職員の方で精神病で休職されている方へ期限付きで約８割の給料が出ていると思いますが、通常、大企業を除く民間会社でそういう人は辞めていただかなければ経営に影響するはずですが、そういう方に役に立ててないのでやめてくださいと言うと、権利を主張されて、逆に辞めさせられたりして、誰も自分が大事で当人に言えないと思いますが、税金から出てることをお忘れなく制度改革してほしいです。（４０代：男性）

○年配の議員達が保護者を馬鹿にしている。保護者達との話し合いの場でも上から目線で、話をしていても「今さら何を言っても変わらない」と笑う。これも差別や偏見ではないだろうか。何期も議員として居座っている年配議員は早くやめていただきたい。（４０代：女性）

○東御市は、人権については特に力を入れている市だと思っています。しかしながら、一歩家から出ると、学校や職場など見えない部分で差別や偏見、いじめなどが未だにあるのは事実ではないでしょうか。こうした部分が少しずつなくなって行けば良いと思います。自分自身は、東御市が他の市町村と見ると安心して生活できると思っています。しかし、実際に自分の身に危険を感じた時に、身を守れる法律がもっと充実すればと思います。今後とも、市民にとってより良い生活をしながら安心できるようにしていってほしいと思います。（４０代：男性）

○時間の都合や機会がなく、大人になってから人権教育に参加することができません。広報や市からのチラシは読むので、そういうので学習出来たらと思います。一人ひとりの意識で変

わると思うので、いろんな情報に触れることができたらありがたい。（４０代：女性）

○今回のアンケートのように、市民の声（意見）を出せる場所があるといいと思います。（思っていても、どこで誰に伝えればいいのかわからないので…）忙しい人が多いので、講演会や研修会の参加はなかなか難しい気がします。他の形で学ぶことができるとうれしいです。（４０代：女性）

○職場や結婚でのトラブルが多いのではないかと思います。そのため、相談窓口があるかと思いますが、普段はあまり知る機会がないため、いざというときのために市の方から積極的に窓口があることをアピールしていただけるとよりよいと思います。（４０代：女性）

○アンケートを定期的に行って下さい。（５０代：女性）

○人は自分達と異なる相対に対して、違和感を感じるもの。そこから生まれる差別意識を消すことは決してできない。それでも、教育によって差別的な行動を辞めさせることはできると考えます。地道に着実に啓発事業を行っていってください。取り組み事業を続けて入れば、少しずつでも必ず良い方向に結果は出てくると思います。（５０代：男性）

○大体、人権啓発とか（たとえば″人を大切にする″とか)固い言葉で言われても入ってこないし、講演会聞きに行こう～とか思わない。それよりもなんでもお悩み聞きますカフェとかあったら、ふらっと入りやすいと思う。私も以前職場でどうしようもなく年下の先輩にいやがらせをされているときにそういう場所があったら相談できたのにと思う。学校でのいじめとか、来る人は多いと思う。当事者はとにかく思いつめて、まわりも見えず、死ねば楽になるかな、とか思っちゃう。最近になって広報とかで相談できることを知って、”あの時行っていればなー”と思った。本気で救いたいと思っているなら、もっとよく見える所に救いの手を差し出していてほしいと思いました。（５０代：女性）

○セミナーや研修会への参加はハードルが高いと思われるので、学校や職場において啓発を支援する活動が有効だと思われます。（５０代：男性）

○小学校における教育者の対応が、児童の生活（心）に影響があるので、小学校１年生から（初めの）対応は特に重要であると考えます。個人として、どうしても喫煙者（タバコ、新型タバコ）を避けるようにしてしまう。喫煙者は低所得者が多いそうですが、喫煙することにより脳などへの血流が阻害され、受動喫煙の影響も健康上かなり大きくなっています。うつなどの心身の影響もあります。たばこ・新型タバコを吸う人が少なくなるよう、特に東御市は工場も多いので、企業への働きかけ（医療者、カウンセラー等）が重要だと思います。（５０代：女性）

○両親が亡くなり、東御市から都内に新幹線通勤している同級生がいます。区費は納めていますが、ゴミは出してはいけないと近所の人から言われています。掃除当番ができないからという理由らしいです。まとめて月１回、三井まで運んでいます。私の近所にも県外から越してきた人々がいますが、区費が高いので（田舎は？）払わない人がいます。なぜなのか、ゴミは出していません。庭先で燃やしています。こちらのが悪質では？何かおかしいです。有料のゴミ袋を購入しているので良いではないですかねえ。（５０代：女性）

○大人になってから考えを変えるのはなかなか難しいです。お金の教育がされるようになったように、小さいころからの意識を高めることが大事だと思います。少子化や先生方の負担増など、学校教育も難しい点は多々あると思いますが、その辺りを考えてはいかがでしょうか。セミナーや広報（チラシ）などに反応する人はそもそも意識のある人です。「やってるんだ」という体裁を整えるために税金を使うことはせずに意味のある活動を望みます。（５０代：女性）

○差別や偏見を持ってしまうことは誰にもあると思う。だからこそ、そうしてしまう弱い心に気づき、なくそうと努力していくことが大切。こうした努力の積み重ねを一人ひとりがしていきたい。というのは当たり前のことで、いかに気づけるか、努力できるか、そうした心情と地域づくりができるかということだと思う。「人の痛みが理解できるだけでなく、本当の意味で感じられる心」どうしたら人は持つことができるのでしょうか。例えば、保育園・学校では職員を増やし、より多くの目で子どもたちの成長を支援することが必要だし、地域社会、家庭では、世代間交流等で風通しを良くしていきたい。若い世代の話をよく聞き、伝統を押し付けたりせずに、住みやすい新しい東御市に向けての意欲を高めていきたい。（６０代：女性）

○人権啓発学習会への参加が少ない。せっかくの機会を活かす必要があると思うので参加者を増やす取り組みがほしい。（６０代：男性）

○アンケートを集計して、市民の現状理解を測り、次の計画策定に生かしたいという趣旨はわかるが、設問の並びや回答の選択肢をもう少し練ってほしい。三択では回答しにくい内容があり、微妙な思いを（ある・ない・知らない）程度で集計されると市民の抱いている思いやゆらぎが反映されない（汲み取れない）ように感じる。内部で一度試してみて、回答しにくい選択肢の数、表現を今後改良していってほしい。市役所職員対象に一度実施してみてほしい。（回収の必要なし、結果非公表）取り組むことで、市役所の一員としての課題も見えてくるし、意識も変化すると思う。（６０代：女性）

○一人ひとりの生命は違わない。生命を大事にする教育が大切だと思う。地域、社会で支えあえる東御市を目指していきたいと思います。（６０代：女性）

○「ほどよく田舎、とうみ」らしく、地域の住民同士が、コミュニケーションや地域イベント等を通じて、みんなが笑顔で生活できる環境づくりを継続してください。（６０代：男性）

○現代の社会において、差別や偏見が現に存在していること、各個人の心の中に差別や偏見をする気持ちがあることを、まず一人ひとりが自覚することが第一であると思います。他人事でなく自分事としてまず己の心を正直にみて、差別や偏見の心は誰もがあることを自覚し、そのうえで、その心をいかに修正していくか、その過程が大事だと思うのです。どういった心が差別や偏見の心、態度に繋がっていくのかを正しい理解によって、自分自身が気づいて、そこからどう自分を変えていくかが大事であると思います。ですから、市や団体において、こまめにかつ、継続的に研修会等を開催し、住民一人ひとりが自分自身の誤った理解や認識不足を各自が自覚し、そこから各自が変えて行こうと思えるような機会を作っていくことが大事だと思います。ただ単に差別や偏見はなくしましょうと、一方的に言っても一人ひとりがそのように自覚しない限りは、何も変わらないし、なくならないと思います。（６０代：男性）

○正しい知識が学べる場や、広報活動をより積極的に、かつ、継続的にやってほしい。（６０代：男性）

○ネットについては、行政はアナログ対応を絶対に怠らないこと。アイヌや部落はそもそも、国、つまり、行政が生み出した差別だ。侵害したのは行政。アイヌなどは、民族侵略ぐらいに思えるひどいもので、行政が反省して償うことがまずやらねばならないし、そこをおいて解決はムリ。市民レベルで解決しろということが、行政の無責任。その他は、人権侵害を受けた人の声を個々にちゃんと聞いて、侵害した人にきちんと責めを負ってもらう。場合によっては、ちゃんと警察を入れる。窓口はそれは行政がやる。小中学校でのいじめは、保護者が学校に遠慮せずに警察に言える空気があると良い。ＬＧＢＴＱ…同性パートナーシップがあればカップルが明確になるので、ストレートの人間が困ることがなくなる。そうなれば、

手当たり次第同性を口説くえげつない人もいるのは確かである（実体験）。もうおどろおどろしいよ。見て見ぬふりはしないつもりだが、交流に距離を置く権利は誰にでもある。お互いに距離を置くというやり方。「侵害」の断定と「侵害者」に責めを負わせること。（６０代：女性）

○やはり一人ひとりの意識改革が必要。そのためにも、学校、職場、自治会などでの勉強会を根気強く続けていく事が大切だと思います。これからもより良い市を目指して頑張ってください。また、頑張っていきましょう。（６０代：男性）

○人間には、本来仏教で説くことの十二因縁の中に「取（しゅ）」というものがあり、これは、差別もあり、人間は差別を本来持っています。法律、道徳ルールでは、もう人間をコントロールはできません。信仰→信じ仰ぐの意味ですが、宗教より他の方法はないと思います。東御市でも関係のあるお寺や仏教者（正しく教える方）家庭教育研究所など、市民へのお勉強会など必要な時期。市の行う人権学習会等は、限界が来ているように思われます。（６０代：男性）

○行政の積極的な広報・啓発活動として「人権が尊重され、差別や偏見のない明るい東御市」の宣言旗を市役所入り口に長期間掲げる。（６０代：男性）

○明るく楽しい町。過ごしやすく差別を感じさせない人々がいつも助け合える。ご近所が仲良く助け合えるまちづくり。災害が起きても他人を思いやれる、自然に行動がとれるよう、普段から市での活動を増やす。（６０代：女性）

○他人事とは思わずに、社会全体が後世に残して課題として、市民が話し合って行くべきだと思います。（７０代：男性）

○現在の市の取り組みで良いと思います。（７０代：男性）

○差別や偏見されている人達との交流や、話を聞く機会が少ないから増やしたほうが良いと思う。また、人権啓発推進の取り組みに参加している方々は、差別や偏見に対して意識しているから良いと思うが、そういう取り組みに関心がない人に対してどう伝えるかが大切になってくると思う。学校の授業だけでなく、社会に出たときにも差別や偏見に対してのちょっとした講義を受けたり、障がいに対してなら、体験する機会を作ったり等すると良いのではないか。ジェンダー系は、若い子は多様性をもともと持っているから何も思わない子が多いと思う。だが、多様性文化で育っていない方々は、やっぱり抵抗があると思う。人権が尊重され、差別や偏見のない街にするためには、差別や偏見の対象になっている人達が住みやすい街にし、そういう人が多くなっていけば、それが普通になって、そういうことは少なくなるんじゃないか。（７０代：女性）

○問 33 以後、このアンケートの内容が「部落差別」の件に片寄っているのではないかと感じ、アンケートの内容が「偏見あり」と思えました。（７０代：男性）

○中学生になると、不登校になる人がいますよね。そういう生徒には、本人に理由を、静かに寄り添うように聞いて、確かめた方がいいと思います。その理由によって、学校の先生だけではなくて、市の方も力をかしてあげてほしいと思います。たとえば、フリースクールを市で考えて、施設を作ってもいいんではないでしょうか。不登校になると 3 年、5 年もしくは 10 年位ひきこもりになってしまって、家族は大変悩んでしまいます。福祉でも考えてくれていますけど、より力を市で考えてほしいと思います。若い人は未来があります。明るい東御市を作るには若い人の力が絶対必要です。若い人の意見を取り入れる機会、つどいを考えて、若い人に頑張ってほしいと思います。北御牧まで入れて五つの町、もっと発展するように、意見をもっと取り入れて発展したいですね。（７０代：女性）